

V 教育の内容と方法

1 教育学部各課程のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー

1-1 カリキュラム・ポリシー

全学のカリキュラム・ポリシーに即しながら、教育学部のディプロマ・ポリシーで示す教育目標を達成するためのカリキュラム・ポリシーを以下に示す。

- ①（体系的教育課程編成）全学の基盤教育科目と整合させながら、教育職員免許法に示す各種教員免許取得のための専門科目を4年一貫で体系的に編成する。
- ②（専門的知識・技能と主体的な学習）講義、演習、実技においては、専門知識・技能の基礎を習得させるとともに、学校や子どもを巡る教育問題を把握し、課題解決のための思考力、判断力、表現力を育むアクティブ・ラーニング科目を充実させる。
- ③（地域を志向する実践力）初年次から地域の学校現場と関わり、教員を目指す意欲を高めながら3，4年次の教育実習につなげることによって、実践的指導力を身につけさせる。

1-2 ディプロマ・ポリシー

教育学部は実践的指導力のある教員を養成する。そのために全学のディプロマ・ポリシーで示されている能力に加え、次の知識、能力を身につけることを卒業要件とする。

- ①（教員としての姿勢と基本的知識）教員としての倫理・使命観および教員の権利と義務に関する基礎的知識
 - ②（学校教育に関する基本的知識）学校教育の理念、制度、運営に関する基礎的な知識
 - ③（子どもの心理に関する基本的知識・技能）子どもの内面や多様性に配慮しながら成長・発達を促すための基礎的な知識
 - ④（学習指導・生徒指導に関する基本的知識・技能）初等中等教育の各学校における各教科、領域、専門分野に関する基礎的な知識・技能
 - ⑤（教員としての協働性）同僚教員や保護者、地域社会の人々と連携、協働する力
- 上記に加え、各課程・コースでは以下の能力を身につけることが求められる。

1) 学校教育教員養成課程【教育実践科学コース】

小中学校における学習指導や生徒指導ができるとともに、カリキュラム・マネジメントやいじめ・不登校などの今日的課題への対応に主導的役割をはたすための基礎的知識・技能

2) 学校教育教員養成課程【教科教育コース】

小学校における全教科と中学校における選修の教科に関する学習指導および小中学校における生徒指導のための基礎的知識・技能

3) 学校教育教員養成課程【特別支援教育コース】

小学校の通常学級および特別支援学級ならびに特別支援学校における学習指導と生徒指導ができるとともに、障害のある児童生徒の指導に関する支援・助言のための基礎的知識・技能

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

4) 養護教諭養成課程

学校における児童生徒の保健指導・管理のための基礎的かつ実践的知識・技能

2 学部の教育内容と方法

以下は茨城大学教育学部「履修要項 2018 年」から引用した。

2-1 教育課程

2-1-1 専門科目と基盤教育科目

本学の教育課程は、専門科目と基盤教育科目から編成されている。

専門科目と基盤教育科目の目的

専門科目	各学部・課程等の専攻に係る専門の学芸を教授する
基盤教育科目	幅広く深い教養及び総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養する

2-1-2 卒業資格

(1) 卒業の要件

それぞれの課程毎に卒業に必要な修得単位数等が定められている。

課程・コース等毎に定められた教員免許状を取得するのに必要な条件が満たされなければ、卒業することができない。

(2) 単位の修得

単位は、授業（講義、演習、実験、実習又は実技）を履修し、期末試験（及び追試験）のほか研究報告、随時行う試験、出席及び学修の状況等により合格と判定された場合に修得できる。ただし、卒業研究等の単位については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合に修得できる。

(3) 学位・教員免許状・各種資格

本学の学則で規定された修業年限（4年）以上在学し、卒業に必要な授業科目等を履修し、卒業に必要な単位（基盤教育科目を含む）を修得した者には、学長が教授会の審議を経て卒業を認定し、学士（教育学）の学位が授与される。

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(4) 取得に配慮のある教員免許状の種類

課程	コース	系	選修	小学校	中学校	高等学校		特別支援学校	養護教諭	幼稚園
						情報				
学校教育教員養成	教育実践科学			◎	△*	△*	△			△
	教科教育	言語・社会教育	国語	◎	国語	国語書道	△			△
			社会	◎	社会	地理歴史 公民	△			△
			英語	○	英語	英語	△			△
		理数教育	数学	◎	数学	数学	△			△
			理科	◎	理科	理科	△			△
		音楽教育	音楽	◎	音楽	音楽	△			△
		美術教育	美術	◎	美術	美術	△			△
		保健体育教育	保健体育	◎	保健体育	保健体育	△			△
		技術教育	技術	○	技術	工業	△			△
生活科学教育	家庭	◎	家庭	家庭	△			△		
特別支援教育				◎	△			◎		△
論養護教					保健	保健			◎	

◎：最も適している ○：適している △：配慮されている

※ 教科については各自選択する。

(5) 取得に配慮のある各種資格

資格の種類	配慮のある課程・コース・系・選修	
学校図書館司書教諭	全課程	
学芸員	博物館	教科教育コース（社会選修）
	美術館	教科教育コース（美術選修）
公認スポーツ指導者	教科教育コース（保健体育選修）	

2-1-3 単位制度

(1) 1単位の時間数

各授業科目は、45時間の学修を必要とする内容（予習・復習などの自宅学習を含む）をもって1単位と定められている。授業は、講義・演習（1時間の授業につき、2時間の予習又は復習を必要とするもの）と実験・実習及び実技（2時間の授業につき、1時間の予習又は復習を必要とするもの）によって構成されている。

1 単位の時間数と学期の単位設定

授業の種類	1 単位時間数の内訳		週 1 講時		週 2 講時	
	大学等での 学習	自宅学習 (予習・復習)	8 回	1 5 回	8 回	1 5 回
講義・演習	1 5 時間	3 0 時間	1 単位	2 単位	2 単位	4 単位
実験、実習 及び実技	3 0 時間	1 5 時間		1 単位	1 単位	2 単位

(2) 学期と時間割

茨城大学では、4月1日～9月20日までを前学期、9月21日～3月31日までを後学期とし、1年間の授業可能日は学年暦で定められている。

授業の実施については、前学期・後学期それぞれ16週（15週＋期末試験）にわたって行う方式（セメスター制）と、各学期をさらに半分に分けて8週で完結する方式（クォーター制）を併用して開講する。

1日の授業時間は、5つの時間帯に分けられ、それぞれ1講時～5講時と呼ばれる。

(3) 評価基準

当該科目の修得内容から、下記の「評価の基準」に基づき、「区分」に示される評価が与えられる。「区分」における各評価は右側に示される「評価の内容」が達成されたことを示す。「評価」はA⁺、A、B、C、Dの評語をもって表す。A⁺、A、B、Cを合格とし、Dは不合格とする。合格者には所定の単位が与えられる。なお、授業の出席時数が、その授業の総授業時間数の3分の2に達しない場合は、評点は0点となり評価区分は「D」となる。

評価の基準

評価区分	評 点	評 価 の 内 容
A ⁺	90 点以上 100 点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A	80 点以上 90 点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B	70 点以上 80 点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C	60 点以上 70 点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	60 点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

(4) 履修登録単位数の上限（CAP 制）

1単位の学修に要する時間は45時間とされていることから、単位の過剰登録を防ぎ、十分な予習・復習時間を確保し単位の実質化を図るため、1年間に履修登録できる単位数の上

限を設定している。これを **CAP (キャップ) 制** といい、本学部では年間の履修登録上限を 46 単位としている。ただし、卒業要件外の授業科目及び集中講義は上限単位数に含まれない。

また、46 単位を超えて履修を希望する場合、授業担当教員の許可を得て、担任又は教務委員等と面談の上、追加登録を認めることもある。

(5) GPA 制度

GPA (Grade Point Average) とは、個々の学生の学修時間当たりの学習到達度を表す指標となる数値で、履修した授業科目の GP (Grade Point) に当該科目の単位数を乗じた値を履修した全科目について総計し、その値を履修した総単位数で除して算出する平均値 (Average) をいう。

本学では、学生自身に学内での成績の相対的な位置づけを認識させることにより、学生の学習意欲を高めるとともに、学生の学習支援に資することを目的として GPA 制度を導入している。

GPA は、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての「学期 GPA」と在学中の全期間における指標としての「通算 GPA」に区分される。

GP 及び GPA は下記の方法により算出される。

$$GP = (100 \text{ 点満点の得点} - 55) / 10 \quad (\text{ただし } GP=0.5 \text{ 未満は } 0.0 \text{ とする})$$

$$GPA = (\text{履修登録科目の } GP \times \text{当該科目の単位数}) \text{ の総和} / \text{当該学期の履修総単位数}$$

(小数点第 3 位を四捨五入し、第 2 位までを表示)

なお、卒業要件外の授業科目及び他大学、大学以外の教育施設等における学修により単位認定された授業科目については GPA に算入されない。

(6) 試験

前述したとおり、授業の出席時数とその授業の総授業時間数の 3 分の 2 に達しない場合は、評点は 0 点となり評価区分は「D」となる (期末試験の受験、レポート提出等の資格がない)。また、試験を受ける際には、学生証を携帯しなければならない。

a. 期末試験

期末試験は、セメスター制で実施される授業では 16 回目に、クォーター制で実施される授業では 8 回目の後半 45 分 to 実施されることになっている。

b. 追試験

病気又はやむを得ない理由により期末試験を受験できなかった場合は、所定の願書に診断書その他証明書を添付の上、学部長に願い出て追試験の許可を得なければならない。この

願い出の期間は、期末試験期間終了後一週間以内である。追試験の期日はその都度指示される。

(7) 卒業研究

卒業研究とは、4年次において各自テーマを設定して自ら行う研究活動のことを指す。通常の授業のように学修の時間は定められていないが、学修の成果が評価され、指導教員によって単位を授与することが適切であると認められた場合に単位が修得できる。

卒業研究の提出期限

提出期限	課 程	
1月10日 17時まで	学校教育教員養成課程 養護教諭養成課程	教科教育コース（国語選修・英語選修） 特別支援教育コース
1月31日 17時まで	学校教育教員養成課程	教育実践科学コース 教科教育コース（上記以外）

(8) 教育実習（養護実習）

教育実習は、所定の科目の単位を修得した後、3・4年次に本学部附属小・中学校及び幼稚園を中心に協力校（実習者の出身校を含む）で一定期間行われる。取得する免許の種類に応じて実習校・実習期間等が異なる。また、実習には実習校での実習の前後に学内で行われる事前・事後指導等が含まれる。

(9) 介護等の体験

小学校又は中学校教諭普通免許状を取得するためには、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（介護等体験）が必要である。これは授業ではないので単位認定は行われませんが、大学が指定する施設において適切に実施し、その証明を受けなければならない。

(10) 他大学における学修単位等の認定

他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む）において修得した単位及び入学前にすでに修得した単位は、60単位を限度として本学卒業の所要単位として認められる。

この中には、実用英語技能検定及び日本漢字能力検定の合格に係る学修の単位認定（10単位以内）も含まれる。

(11) 大学間単位互換協定

「福島大学・宇都宮大学・茨城大学との単位互換協定」、「放送大学との単位互換協定」、「茨城キリスト教大学との単位互換協定」及び「茨城県立医療大学との単位互換協定」を締結している。

(12) 他学部開設授業の履修

他の学部で開設されている授業（教育学部の「授業科目一覧および授業時間割」に掲載されていない授業）を履修する場合（自由履修単位となる）は、希望する授業科目の担当教員に必ず相談すること。学部によって履修申告の際の手続きが異なるので、希望する授業の当該学部学務係にその詳細を問い合わせること。

2-1-4 課程ごとの履修基準

(1) 学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、小学校・中学校・特別支援学校の教員を養成する課程で、以下に示す3つのコースからなる。いずれのコースも卒業のためには「日本国憲法2単位」「体育2単位」「外国語コミュニケーション2単位」「情報機器の操作2単位」の取得が必要となる。さらに、教育実践科学コース及び教科教育コースでは、「介護等の体験」の実施が必要となる。

【教育実践科学コース】

教育実践科学コースでは、小学校教諭一種免許状と中学校教諭二種免許状の両方について取得可能な要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。これらの免許状取得のための4年間の授業履修計画を立てること。

なお、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の両方で一種を取得することも可能である。

【教科教育コース】

教科教育コースでは、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状（各選修で定められた教科）の両方について取得可能な要件を満たすこと（小・中学校教諭どちらか必ず一種免許状の要件を満たすこと。両方二種免許状では不可。）を、卒業に必要な条件としている。小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の組み合わせは、以下2種類のタイプがある。

Aタイプ＝小学校教諭一種免許状と中学校教諭二種免許状の取得

Bタイプ＝小学校教諭二種免許状と中学校教諭一種免許状の取得

このタイプとは別に、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の両方で一種を取得することも可能である。

【特別支援教育コース】

特別支援教育コースでは、小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状の両方について取得可能な要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。なお、中学校教諭普通免許状を取得することも可能である。

学校教育教員養成課程の履修基準

科目区分			所要単位			
			教育実践科学	教科教育		特別支援教育
				Aタイプ	Bタイプ	
基盤教育科目	入門科目	大学入門ゼミ		2		
		茨城学		2		
	共通基礎科目	プラクティカル・イングリッシュ		6		
		情報リテラシー		2		
		心と体の健康（身体活動）		2		
		科学の基礎		1		
	リベラルアーツ科目	多文化理解	異文化コミュニケーション		2	
			ヒューマニティーズ		2	
			パフォーマンス&アート			
		自然と社会の広がり	自然・環境と人間		2	
グローバル化と人間社会			3			
キャリアを考える	ライフデザイン		1			
合計修得単位			25			
専門科目	教職に関する科目		49 (3)	49 (3)	47 (7)	45 (3)
	教科に関する科目（小学校）		16 (8)	16 (8)	4	16 (8)
	教科に関する科目（中学校）		10	10	28 (8)	0
	教育実践科学に関する科目		10	0		
	特別支援教育に関する科目		0			28
	卒業研究		4			
合計修得単位			89	79	83	93
自由履修			10	20	16	6
卒業に必要な合計修得単位			124			

注) () 内の数字は、教員免許状取得の際「教科又は教職に関する科目」として申請される科目の単位数を示す。

詳しくは、以下の該当する項目を参照すること。

a. 教職に関する科目

「教職に関する科目」とは、教員にとって必要な教育に関する専門的知識・技能を習得するための科目群である。これには、教科指導、生徒指導等に関する科目、教育実習など学校での教授・指導に直接資する知識及び技能を習得させるための科目が含まれ、受けようとする免許状の種類（小・中学校、教科、一種・二種）に応じ、単位を修得しなければならない。

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

教職に関する科目（学校教育教員養成課程）

免許法科目		教育実践 科学	教科教育		特別支援 教育
			Aタイプ	Bタイプ	
教職の意義等に関する科目		必修科目 2 単位			
教育の基 礎理論に 関する科 目	教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	必修科目 6 単位			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達 及び学習の過程				
	教育に関する社会的、制度的又は 経営的事項				
教育課程 及び指導 法に関す る科目	教育課程の意義及び編成の方法	必修科目 2 単位			
	各教科の指導法 (小学校)	必修科目 9 教科 1 8 単位	選択必修 6 教科 1 2 単 位 (音・図 工・体のうち 2 教科 4 単位 以上を含む)	必修科目 9 教科 1 8 単位	
	各教科の指導法 (中学校)	取得する教科の 指導法 2 単位	取得する教 科の指導法 6 単位	0	
	道徳の指導法	必修科目 2 単位			
	特別活動の指導法	必修科目 1 単位			
	教育の方法及び技術に関する科 目	必修科目 2 単位			
生徒指導、教育相談及び 進路指導等に関する科目		必修科目 4 単位			
教育実習		必修科目を含み合計 8 単位			必修科目 を含み合 計 6 単位
教職実践演習		必修科目 2 単位			
合計修得単位		4 9	4 7	4 5	

b. 教科に関する科目（小学校）

「教科に関する科目」（小学校）とは、小学校で設定されている各教科の内容に対応させて大学が開講している授業科目群のことである。これには、初等教育段階での教科内容の背景となる専門的な知識及び技能の修得を目的とする科目が含まれる。大学の授業科目すべてが対応しているのではなく、小学校の各教科に相当する科目「〇〇科内容研究・〇〇科の内容と実践」と「教科又は教職に関する科目」の一部が、教員免許状取得のために使用できる科目として認定されている。

個々の授業科目が、「教科に関する科目」（小学校）のどの科目に対応しているか確認し、免許状取得のために必要な内容と単位数を満たさねばならない。

教科に関する科目（小学校）の履修方法

コース	最低条件	選択履修	合計
Aタイプ 教育実践科学 特別支援教育	「〇〇科内容研究・ 〇〇科の内容と実践」 のうち各自選択した 8単位	「教科に関する科目」のう ち小学校の教科に対応す る科目 「教科又は教職に関する 科目」のうち小学校の教科 に対応する科目	8単位 16単位
Bタイプ	「〇〇科内容研究・ 〇〇科の内容と実践」 のうち各自選択した 4単位		4単位

Aタイプ・教育実践科学コース及び特別支援教育コースでは、「〇〇科内容研究・〇〇科の内容と実践」と題された9教科の科目のうち8単位を、Bタイプでは9教科のうち4単位を各自選択して修得する。

なお、Aタイプ・教育実践科学コース及び特別支援教育コースでは、上記の条件に加えて16単位のうちの8単位分を「〇〇科内容研究・〇〇科の内容と実践」か「教科又は教職に関する科目」のうち小学校の教科に該当する科目を履修して修得しなければならない。これらの単位は教員免許状取得の際に「教科又は教職に関する科目」として申請される。

Bタイプでは、上記の条件に加えて必要単位数以上修得した単位は、卒業要件としては「自由履修」の単位数として、教員免許状取得の際には「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

c. 教科に関する科目（中学校）

「教科に関する科目」（中学校）とは、中学校及び高等学校等の学校で設定されている各教科の内容に対応させて大学が開講している授業科目群のことである。これには、中等教育段階での教科内容の背景となる専門的な知識及び技能の習得を目的とする科目が含まれる。大学の授業科目すべてが対応しているのではなく、中学校・高校の免許教科に相当する科目及び「教科又は教職に関する科目」のうち一部が、教員免許取得のために使用できる科目として認定されている。個々の授業科目が、各教科のどの科目に対応しているか確認し、当該教科の免許取得のために必要な内容と単位数を満たさねばならない。

教科に関する科目（中学校）の履修方法

タイプ	最低条件	選択履修	合計
Aタイプ 教育実践科学	「教科に関する科目（中学校）」のうち 取得免許教科の科目 10単位 ^(注)		10単位
Bタイプ	「教科に関する科目（中学校）」のうち 取得免許教科の科目 20単位	「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目 「教科又は教職に関する科目」のうち中学校の取得免許教科に該当する科目	28単位

(注) 各選修が定める必修科目によっては、10単位以上の履修が必要となる。

なお、Bタイプでは、上記の条件に加えて28単位のうちの8単位分を取得免許の「教科に関する科目（中学校）」か「教科又は教職に関する科目」のうち中学校の取得免許教科に該当する科目を履修して修得しなければならない。これらの単位は教員免許状取得の際に「教科又は教職に関する科目」として申請される。

Aタイプ及び教育実践科学コースでは、上記の条件に加えて必要単位数以上修得した単位は、卒業要件としては「自由履修」の単位数として、教員免許状取得の際には「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

教科に関する科目（中学校）

【教育実践科学コース】

科目区分	所要単位	
	中学一種	中学二種
1 教科選択必修 国語、社会、数学、理科、 音楽、美術、保健体育、 技術、家庭、英語のうち から1教科を選択 ※	履修 III 単位 教員 を基 免 修 準 許 得 に 状 得 より の	履修 III 単位 教員 を基 免 修 準 許 得 に 状 得 より の
合 計	20	10

※免許状の取得が困難な教科もある。

【教科教育コース】

●言語・社会教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
言語・社会教育系	国語選修	国語学	2以上	2以上
		国文学	2以上	2以上
		漢文学	2以上	2以上
		書道	2以上	2以上
		合計	20	10
	社会選修	日本史及び 外国史	2以上	2
		地理学 (地誌を含む)	2以上	2
		「法学、 政治学」	2以上	2
		「社会学、 経済学」	2以上	2
		「哲学、倫理学、 宗教学」	2以上	2
	合計	20	10	
	英語選修	英語学	2以上	2以上
		英米文学	2以上	2以上
		英語コミュニケーション	2以上	2以上
		異文化理解	2以上	2以上
合計		20	10	

●理数教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
理数教育系	数学選修	代数学	2以上	2
		幾何学	2以上	2
		解析学	2以上	2
		確率統計	2以上	2
		コンピュータ	2以上	2
		合計	20	10
	理科選修	物理学	2以上	科目区分 各領域から 1単位以上
		物理学実験	2以上	
		化学	2以上	
		化学実験	2以上	
		生物学	2以上	
		生物学実験	2以上	
	地学	2以上	地学実験	
	地学実験	2以上		
	合計	20	10	

●音楽教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
音楽教育系	音楽選修	器楽	3以上	3
		声楽	3以上	3
		ソルフェージュ	1以上	1
		指揮法	1以上	1
		音楽理論	1以上	1
		音楽史	1以上	1
		合計	20	10

●美術教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
美術教育系	美術選修	絵画	2以上	科目区分 各領域から 1単位以上
		彫刻	2以上	
		デザイン	2以上	
		工芸	2以上	
		美術理論及び 美術史	2以上	
		合計	20	

●保健体育教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
保健体育教育系	保健体育選修	体育実技	5以上	5
		体育学	1以上	1
		運動学	2以上	1
		生理学	2以上	1
		衛生学	2以上	1
		学校保健	2以上	1
		合計	20	10

●技術教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
技術教育系	技術選修	木材加工 (製図及び実習を含む)	3以上	2以上
		金属加工 (製図及び実習を含む)	3以上	2以上
		機械 (実習を含む)	2以上	1以上
		電気 (実習を含む)	2以上	1以上
		栽培 (実習を含む)	2以上	1以上
		情報とコンピュータ (実習を含む)	2以上	1以上
		合計	20	10

●生活科学教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
生活科学教育系	家庭選修	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む)	2以上	科目区分各領域から各1単位以上
		被服学(被服製作実習を含む)	2以上	
		食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む)	2以上	
		住居学	2以上	
		保育学(実習を含む)	2以上	
合計	20	10		

d. 教育実践科学に関する科目

「教育実践科学に関する科目」は、現代の教育課題や児童・生徒の発達に関する理解を深め、今日の教育現場で求められる指導力を育成するための専門科目である。教育実践科学コースの学生は、以下の履修基準にしたがって教育実践科学に関する科目の単位を修得する。

教育実践科学に関する科目

に教育実践科学に関する科目	科目区分		対応プログラム	所要単位
	基底科目			2
	教育・社会・教師		プログラム（現代教育・人間発達）共通科目	4
	学校と子ども（※a）	現代教育プログラム科目	（※a）から4 又は （※b）から4	
子どもの理解と支援（※b）	人間発達プログラム科目			
合計修得単位				10

e. 特別支援教育に関する科目

「特別支援教育に関する科目」は、特別支援学校の教員に必要な専門的内容の習得を目的とする科目で、特別支援教育コースの学生は以下の履修基準にしたがって単位を修得する。

特別支援教育に関する科目

特別支援教育	科目区分		所要単位		
	特別支援教育の基礎理論に関する科目		2		
	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	2以上	16	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2以上		
	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		5		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		5		
合計修得単位			28		

f. 卒業研究

「卒業研究」は通常の授業のように学修の時間は定められていない。学修の成果を各コース、系、選修で定められた論文、実技又は作品等の提出や発表等の形式により公表し、その成果が評価され単位を修得する。

(2) 養護教諭養成課程

学校では養護教諭を中心として児童・生徒等の健康教育・保健指導、健康管理が行われる。保健室には、けがや疾病異常、精神的な問題を持った児童・生徒等が訪れ、いじめや保健室登校など学校が抱える様々な問題が持ち込まれる。これらの児童・生徒等に対して、担任や

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

保護者、医療機関等と連携をとりながら、適切なケア、健康相談活動、教育への支援を行うことができる養護教諭を養成することが本課程の目的である。

養護教諭養成課程では、養護教諭一種免許状の取得要件を満たすことを卒業に必要な条件としている。卒業のためには「日本国憲法 2 単位」「体育 2 単位」「外国語コミュニケーション 2 単位」「情報機器の操作 2 単位」の取得が必要となる。

なお、中学校・高等学校教諭一種免許状（保健）の取得に配慮がある。

養護教諭養成課程の履修基準

科目区分			所要単位	
基盤 教育 科目	入門科目	大学入門ゼミ	2	
		茨城学	2	
	共通基礎科目	プラクティカル・イングリッシュ	6	
		情報リテラシー	2	
		心と体の健康（身体活動）	2	
		科学の基礎	1	
	リベラル アーツ科目	多文化 理解	異文化コミュニケーション	2
			ヒューマニティーズ	2
			パフォーマンス&アート	
		自然と社会 の広がり	自然・環境と人間	2
グローバル化と人間社会			3	
キャリア を考える	ライフデザイン	1		
合計修得単位			25	
専門 科目	教職に関する科目		32	
	養護に関する科目		40	
	卒業研究		4	
	合計修得単位			76
自由履修			23	
卒業に必要な合計修得単位			124	

a. 教職に関する科目

「教職に関する科目」とは、教員である養護教諭にとって必要な教育に関する専門的知識・技能を習得する科目群である。これには、生徒指導、教育相談等に関する科目、養護実習など学校での支援・指導に直接資する知識及び技能を習得させるための科目が含まれている。

「教職に関する科目（養護教諭養成課程）」にしたがって単位を修得することによって、養護教諭一種免許状の取得に必要な「教職に関する科目」の修得単位が満たされ、一部は「養

護又は教職に関する科目」として数えられる。また、「教育の方法及び技術」「進路指導等に関する科目」に対応した授業科目を履修し単位を修得することによって、中学校教諭一種免許状（保健）に必要な「教職に関する科目」の修得単位とすることができる。ただし、中学校教諭一種免許状（保健）を取得する場合は、次の表に加えて教育実習（養護実習とは異なる）を行い、定められた単位を修得しなければならない。

教職に関する科目（養護教諭養成課程）

免許法科目		所要単位
教職の意義等に関する科目		2
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2
教育課程に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	選択必修 免許法科目4領域から 各2単位以上 合計13単位
	道徳及び特別活動に関する内容	
	教育の方法及び技術	
指導法に関する科目（注）		
生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	
進路指導等に関する科目		
養護実習		5
教職実践演習		2
合計修得単位		32

注) 受けようとする中学校教諭免許教科に対応した科目を履修すること。

b. 養護に関する科目

「養護に関する科目」は、養護教諭の免許取得のために必要な専門の科目群である。学校教育教員養成課程の「教科に関する科目」に相当するものであり、中学校教諭・高等学校教諭の「保健」の免許状取得に必要な科目と重複しているものが多い。

養護教諭が学校現場で実際に活動していくために必要な実践的な科目のほか、それらの基礎となる各種の科目とから構成されている。

次の表にしたがって単位を修得することによって養護教諭一種免許状の「養護に関する科目」及び中学校教諭一種免許状（保健）の「教科に関する科目」に必要な所要単位を満たすことができる。また、それぞれの免許状に必要な修得単位を超えて修得した単位は「養護又は教職に関する科目」あるいは「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

養護に関する科目

免許法科目	所要単位
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む）	4 以上
学校保健	2 以上
養護概説	2 以上
健康相談活動の理論及び方法	2 以上
栄養学（食品学を含む）	2 以上
解剖学及び生理学	2 以上
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2 以上
精神保健	2 以上
看護学（臨床実習及び救急処置を含む）	10 以上
合計修得単位	40

c. 卒業研究

「卒業研究」は通常の授業のように学修の時間は定められていない。指導教員のもと各自が定めたテーマにしたがって論文等をまとめ、その成果が評価され単位を修得する。

2-1-5 教員免許状

教員となるためには、教育職員免許法の定める教職課程の科目を大学等で履修することなどにより、教員免許状を取得することが必要である。教員免許状には下記に示す普通免許状のほか、在学中の諸君には直接関係はないが、特別免許状、臨時免許状がある。

教員免許状（普通免許状）の種類

区分	大学院修士課程修了	大学卒業	短期大学卒業
小学校教諭	専修免許状	一種免許状	二種免許状
中学校教諭			
特別支援学校教諭	専修免許状 (+小、中、高又は 幼の普通免)	一種免許状 (+小、中、高又は 幼の普通免)	二種免許状 (+小、中、高又は 幼の普通免)
養護教諭	専修免許状	一種免許状	二種免許状
高等学校教諭			二種免許状
幼稚園教諭			

注1) 中学校及び高等学校教員免許状は、更に教科別に設けられている。また、養護教諭の免許状には、学校種別はない。

注2) 免許状の名称は「小学校教諭普通免許状（一種）」、あるいは「小学校教諭一種免許状」のように表記される。

注3) 本学部では、普通免許状の一種・二種が取得できる。また、一種免許状を取得し、本学大学院教育学研究科において定められた単位を修得した者は、専修免許状が取得できる。

(1) 教員免許状取得に必要な共通的な科目

教育職員免許法では、文部省令にしたがって「日本国憲法（2 単位）」「体育（2 単位）」

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

「外国語コミュニケーション（2単位）」及び「情報機器の操作（2単位）」の修得を定めている。本大学ではこれらの科目について次のように対応させている。

教員免許状取得に必要な共通的な科目とその対応科目区分

免許状取得に必要な共通的な科目	本学で対応している科目区分	
日本国憲法	基盤教育科目	日本国憲法
体育	基盤教育科目	心と体の健康（身体活動）
外国語コミュニケーション	基盤教育科目	Integrated English I A・II A・III A
情報機器の操作	基盤教育科目	情報リテラシー

注1) これらの科目の単位をそれぞれ2単位ずつ修得していること。

(2) 教員免許状（普通免許状）取得に必要な専門科目

教育職員免許法では、免許状の種類によって履修すべき科目と必要単位数が細かく定められているが、大きく分けると次のようになる。

教員免許状取得に必要な専門科目の区分と必要単位数

免許状の種類		専門科目の区分と必要単位数					
学校種別		教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	教科に関する科目	特別支援教育に関する科目	養護又は教職に関する科目	養護に関する科目
小学校教諭	一種	4 1	1 0	8			
	二種	3 1	2	4			
中学校教諭	一種	3 1	8	2 0			
	二種	2 1	4	1 0			
特別支援学校教諭	一種				2 6		
	二種				1 6		
養護教諭	一種	2 1				7	2 8
	二種	1 4				4	2 4
高等学校教諭	一種	2 3	1 6	2 0			
幼稚園教諭	一種	3 5	1 0	6			
	二種	2 7		4			

注1) 一種については「学士」の学位、二種については「準学士」の称号を有すること。

注2) 特別支援学校教諭については、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。

(3) 教員免許状取得の際の留意点

- ① 修得した単位は、卒業に必要な単位として数えると同時に教員免許状取得に必要な単位としても数えることができる（別の枠組みであるとする）。
- ② 修得した教員免許状に対応した専門科目の単位は、複数の免許状取得に共通している場合、それぞれに必要な単位として数えることができる。ただし、「教職科目」の一部と「教科又は教職に関する科目」については、学校種別によって共通的に数えることができ

ない場合があるので注意すること。

- ③ 同一教科の中学校教諭免許状と高等学校教諭免許状を取得する際、「科目区分」が異なっている教科があるのでよく確認すること。また、「教職に関する科目」についても一部異なるので注意すること。
- ④ 免許状取得のために履修しなければならない授業科目は、「各教諭免許状の履修基準」に掲げる免許法上の科目を別誌の「授業科目一覧および授業時間割」の免許区分欄によって求めることができる。
- ⑤ 以下「各教諭免許状の履修基準」の表記については、次のように理解すること。
 - a. 「科目」とあるのは、免許法上にいう科目のことである。
 - b. 「科目」欄に“・・・(〇〇〇を含む。)”とあるのは、それを含めて履修する必要があるもの。たとえば“国文学(国文学史を含む。)”とある場合は、国文学に関する授業科目中に国文学史を含んでいる科目を履修しなければならない。
 - c. “・・・及び〇〇〇”は、両方の科目の履修を必要とするもの。たとえば、“日本史及び外国史”は、日本史に関する科目と外国史に関する科目の両方を履修しなければならない。
 - d. “「・・・、〇〇〇」”と科目名にカギカッコを付して列挙されているものは、その中の一つ以上の科目を履修する必要があるもの。たとえば、“「哲学、倫理学、宗教学」”は、哲学、倫理学、宗教学の中から一つ以上の科目を選んで履修する。

(4) 小学校教諭普通免許状

小学校教諭の免許状を取得するには、次表に示す科目の単位を修得しなければならない。

小学校教諭普通免許状

		科目の区分		各区分の最低修得単位	
		各科目に含めることが必要な事項		一種	二種
教 職 に 関 す る 科 目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割			
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）			
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等			
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位	
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）			
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			
		合計修得単位（各事項を含むこと）	6 単位	4 単位	
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法			
		(2)各教科の指導法	小学校 9 教科 各 2 単位以上	小学校 9 教科のうち、6 教科以上（音楽、図画工作及び体育のうち、2 教科以上を含む）をそれぞれ 2 単位以上	
		(3)道徳の指導法	2 単位	1 単位	
		(4)特別活動の指導法			
		(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2 2 単位	1 4 単位	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法			
(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					
(3)進路指導の理論及び方法					
	合計修得単位（各事項を含むこと）	4 単位	4 単位		
教育実習		5 単位	5 単位		
教職実践演習		2 単位	2 単位		
合 計		4 1 単位	3 1 単位		
教科又は教職に関する科目		1 0 単位	2 単位		
教科に関する科目		小学校 9 教科のうち 1 教科以上の科目を 修得	小学校 9 教科のうち 1 教科以上の科目を 修得		
合 計		8 単位	4 単位		

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(5) 中学校教諭普通免許状

中学校教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」及び免許教科ごとに定められた「教科に関する科目」の単位を修得しなければならない。

中学校教諭普通免許状（教職に関する科目・教科又は教職に関する科目）

科目の区分		各区分の最低修得単位		
		一種	二種	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
	合計修得単位（各事項を含むこと）		2 単位	2 単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
	合計修得単位（各事項を含むこと）		6 単位	4 単位
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)各教科の指導法	それぞれ受けようとする免許教科ごとに2 単位以上 ^(注)	それぞれ受けようとする免許教科ごとに2 単位以上
(3)道徳の指導法		2 単位	1 単位	
(4)特別活動の指導法				
(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				
合計修得単位（各事項を含むこと）		1 2 単位	4 単位	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法			
	(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
	(3)進路指導の理論及び方法			
合計修得単位（各事項を含むこと）		4 単位	4 単位	
教育実習		5 単位	5 単位	
教職実践演習		2 単位	2 単位	
合計		3 1 単位	2 1 単位	
教科又は教職に関する科目		8 単位	4 単位	

注) 一種の「各教科の指導法」について、教育職員養成審議会の答申で8 単位程度修得することが望ましいとされている。本学部では6 単位を原則としている。

中学校教諭普通免許状（教科に関する科目）

免許教科	教科に関する科目	最低修得単位	
		一種	二種
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1以上	1以上
	国文学（国文学史を含む。）	1以上	1以上
	漢文学	1以上	1以上
	書道（書写を中心とする。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
社会	日本史及び外国史	1以上	1以上
	地理学（地誌を含む。）	1以上	1以上
	「法学、政治学」	1以上	1以上
	「社会学、経済学」	1以上	1以上
	「哲学、倫理学、宗教学」	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
数学	代数学	1以上	1以上
	幾何学	1以上	1以上
	解析学	1以上	1以上
	「確率論、統計学」	1以上	1以上
	コンピュータ	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
理科	物理学	1以上	1以上
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
	化学	1以上	1以上
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
	生物学	1以上	1以上
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
	地学	1以上	1以上
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
音楽	ソルフェージュ	1以上	1以上
	声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	1以上	1以上
	器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	1以上	1以上
	指揮法	1以上	1以上
	音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
美術	絵画（映像メディア表現を含む。）	1以上	1以上
	彫刻	1以上	1以上
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	1以上	1以上
	工芸	1以上	1以上
	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	

免許教科	教科に関する科目	最低修得単位	
		一種	二種
保健体育	体育実技	1以上	1以上
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学（運動方法学を含む。）	1以上	1以上
	生理学（運動生理学を含む。）	1以上	1以上
	衛生学及び公衆衛生学	1以上	1以上
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
保健	生理学及び栄養学	1以上	1以上
	衛生学及び公衆衛生学	1以上	1以上
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
技術	木材加工（製図及び実習を含む。）	1以上	1以上
	金属加工（製図及び実習を含む。）	1以上	1以上
	機械（実習を含む。）	1以上	1以上
	電気（実習を含む。）	1以上	1以上
	栽培（実習を含む。）	1以上	1以上
	情報とコンピュータ（実習を含む。）	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
家庭	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	1以上	1以上
	被服学（被服製作実習を含む。）	1以上	1以上
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	1以上	1以上
	住居学	1以上	1以上
	保育学（実習を含む。）	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
英語	英語学	1以上	1以上
	英米文学	1以上	1以上
	英語コミュニケーション	1以上	1以上
	異文化理解	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	

(6) 特別支援学校教諭普通免許状

特別支援学校教諭の免許状を取得するには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し、次の表に示す「特別支援教育に関する科目」の単位を修得しなければならない。

特別支援学校教諭普通免許状（特別支援教育に関する科目）

特別支援教育に関する科目		最低修得単位			
		一種		二種	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2		2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	1	16	1	8
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2		1	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5		3	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3		3	
合計修得単位		26		16	

(7) 養護教諭普通免許状

養護教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「養護に関する科目」、「養護又は教職に関する科目」及び「教職に関する科目」の単位を修得しなければならない。

養護教諭普通免許状（教職に関する科目・養護又は教職に関する科目）

科目の区分		最低修得単位		
		一種	二種	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2	2
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
	合計修得単位（各事項を含むこと）	4	2	
	教育課程に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)道徳及び特別活動に関する内容		
(3)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				
合計修得単位（各事項を含むこと）	4	2		
生徒指導及び教育相談に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法			
	(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
合計修得単位（各事項を含むこと）	4	2		
養護実習		5	4	
教職実践演習		2	2	
合計		21	14	
養護又は教職に関する科目		7	4	

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

養護教諭普通免許状（養護に関する科目）

養護に関する科目	最低修得単位	
	一種	二種
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	2
学校保健	2	1
養護概説	2	1
健康相談活動の理論及び方法	2	2
栄養学（食品学を含む。）	2	2
解剖学及び生理学	2	2
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	2
精神保健	2	2
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10	10
合計修得単位	28	24

(8) 高等学校教諭普通免許状

高等学校教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」及び免許教科ごとに定められた「教科に関する科目」の単位を修得しなければならない。

高等学校教諭普通免許状（教職に関する科目・教科又は教職に関する科目）

科目の区分		一種	
各科目に含めることが必要な事項		各区分の最低修得単位	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割	
		(2)教員の職務内容（研修、サービス及び身分保障等を含む。）	
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等	
	合計修得単位（各事項を含むこと）		2単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	
	合計修得単位（各事項を含むこと）		6単位
	教育課程及び指導法に関する科目 ^{注)}	(1)教育課程の意義及び編成の方法	それぞれ受けようとする免許教科ごとに2単位以上
		(2)各教科の指導法	
(4)特別活動の指導法			
(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			
合計修得単位（各事項を含むこと）		6単位	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法		
	(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
	(3)進路指導の理論及び方法		
合計修得単位（各事項を含むこと）		4単位	
教育実習		3単位	
教職実践演習		2単位	
合計		23単位	
教科又は教職に関する科目		16単位	

注) 高等学校教諭普通免許状では、小・中学校における「教職に関する科目」の「教育課程及び指導法に関する科目」

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

第(3)項「道徳の指導法」がないので注意すること。

高等学校教諭普通免許状（教科に関する科目）

免許教科	教科に関する科目	最低修得単位 (一種)	免許教科	教科に関する科目	最低修得単位 (一種)	
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1 以上	美術	絵画（映像メディア表現を含む。）	1 以上	
	国文学（国文学史を含む。）	1 以上		彫刻	1 以上	
	漢文学	1 以上		デザイン（映像メディア表現を含む。）	1 以上	
	合計修得単位	2 0		美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	1 以上	
				合計修得単位	2 0	
地理歴史	日本史	1 以上	書道	書道（書写を含む。）	1 以上	
	外国史	1 以上		書道史	1 以上	
	人文地理学及び自然地理学	1 以上		「書論、鑑賞」	1 以上	
	地誌	1 以上		「国文学、漢文学」	1 以上	
	合計修得単位	2 0		合計修得単位	2 0	
公民	「法学（国際法を含む。） 政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	保健体育	体育実技	1 以上	
	「社会学、経済学 （国際経済を含む。）」	1 以上		「体育原理、体育心理学、体育経営 管理学、体育社会学、体育史」及び 運動学（運動方法学を含む。）	1 以上	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1 以上		生理学（運動生理学を含む。）	1 以上	
	合計修得単位	2 0		衛生学及び公衆衛生学	1 以上	
数学	代数学	1 以上	家庭	学校保健（小児保健、精神保健、 学校安全及び救急処置を含む。）	1 以上	
	幾何学	1 以上		合計修得単位	2 0	
	解析学	1 以上		保健	「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	1 以上
	「確率論、統計学」	1 以上			衛生学及び公衆衛生学	1 以上
	コンピュータ	1 以上	学校保健（小児保健、精神保健、 学校安全及び救急処置を含む。）		1 以上	
合計修得単位	2 0	合計修得単位	2 0			
理科	物理学	1 以上	家庭	家庭経営学（家族関係学及び 家庭経済学を含む。）	1 以上	
	化学	1 以上		被服学（被服製作実習を含む。）	1 以上	
	生物学	1 以上		食物学（栄養学、食品学及び 調理実習を含む。）	1 以上	
	地学	1 以上		住居学（製図を含む。）	1 以上	
	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。） 、化学実験（コンピュータ活用を含む。） 、生物学実験（コンピュータ活用を含む。） 、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	1 以上	保育学（実習及び家庭看護を含む。）	1 以上		
合計修得単位	2 0	家庭電気・機械及び情報処理	1 以上			
			合計修得単位	2 0		
音楽	ソルフェージュ	1 以上	工業	工業の関係科目	1 以上	
	声乐（合唱及び日本の伝統的な 歌唱を含む。）	1 以上		職業指導	1 以上	
	器楽（合奏及び伴奏並びに 和楽器を含む。）	1 以上	合計修得単位	2 0		
	指揮法	1 以上	英語	英語学	1 以上	
	音楽理論、作曲法（編曲法を含む。） 及び音楽史（日本の伝統音楽及び 諸民族の音楽を含む。）	1 以上		英米文学	1 以上	
合計修得単位	2 0	英語コミュニケーション		1 以上		
		異文化理解		1 以上		
			合計修得単位	2 0		
情報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	1 以上	
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	1 以上		情報システム（実習を含む。)	1 以上	
	情報システム（実習を含む。)	1 以上		情報通信ネットワーク（実習を含む。)	1 以上	
	情報通信ネットワーク（実習を含む。)	1 以上		マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	1 以上	
	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	1 以上		情報と職業	1 以上	
	情報と職業	1 以上		合計修得単位	2 0	
合計修得単位	2 0					

(9) 幼稚園教諭普通免許状

幼稚園教諭の免許状を取得するには、次の表に示す科目の単位を修得しなければならない。

幼稚園教諭普通免許状

		科目の区分	各区分の最低修得単位	
		各科目に含めることが必要な事項	一種	二種
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	6 単位	4 単位
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)保育内容の指導法 ^(注1)		
(3)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				
合計修得単位（各事項を含むこと）		1 8 単位	1 2 単位	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)幼児理解の理論及び方法			
	(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
	合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位	
教育実習		5 単位 ^(注2)	5 単位 ^(注2)	
教職実践演習		2 単位	2 単位	
合計			3 5 単位	2 7 単位
教科又は教職に関する科目			1 0 単位	
教科に関する科目			小学校の教科に関する科目のうちから国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目のうち 1 教科以上の科目を修得	小学校の教科に関する科目のうちから国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目のうち 1 教科以上の科目を修得
合計			6 単位	4 単位

(注1) 保育内容の指導法の計算方法については

$$(1.8 \times \text{①} - B) \div 2 = A \text{ (小数点以下切り捨て)}$$

A：保育内容の指導法に充てられる、小学校教科の指導法の単位数

B：課1及び課5の修得単位数

※①教育課程及び指導法に関する科目の所要単位

(注2) 教育実習（幼稚園）5単位については、初等教育実地研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ〔教育実習（小学校）〕をもって代えることができる。また、教育実習（幼稚園）5単位のうち3単位までは中等教育実地研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ〔教育実習（中学校）〕をもって代えることができる。

2-1-6 諸資格

(1) 学校図書館司書教諭

高度情報社会を迎え、学校図書館は「学習情報センター」及び「読書センター」としての機能の充実が求められている。その中心的役割を担うのが学校図書館司書教諭で、小学校・中学校・高等学校（特別支援学校を含む。）において、図書のみならず、視聴覚教育の資料・各種学習資料を収集・整理・保存し、これを児童・生徒・教師の利用に供するために様々な事業を行う専門職である。現在、小規模校を除く全ての学校に学校図書館司書教諭を置くことが推進されている。

「学校図書館司書教諭」は、いわゆる「資格」とは若干性質が異なり、「資格証明書」や「免許状」を所有するわけではない。「学校図書館司書教諭講習規定」に基づく所定の講習を受けた者に対して、文部科学大臣による「修了証書」が授与され、この「修了証書」を持つ教員（小・中・高及び特別支援学校の教諭普通免許状を持つ者）が、その勤務校において「学校図書館司書教諭」となる資格を持つのである。（つまり、「修了証書」を所持していても学校に正規教員として勤務し、さらにその学校において発令がくだされなければ、「学校図書館司書教諭」にはなれない。）

本学部では、この講習科目に該当する科目が設けられており、5科目10単位を履修し単位を修得した者は、卒業後の所定の手続きにより修了証書が授与される。

学校図書館司書教諭講習科目と単位数

科 目	単位数	備 考
学校経営と学校図書館	2	「教科又は教職に関する科目」 に掲載
学校図書館メディアの構成	2	
情報メディアの活用	2	
学習指導と学校図書館	2	
読書と豊かな人間性	2	
合計修得単位	10	

注) 上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

(2) 学芸員

学芸員とは、国立・公立・私立を問わず、様々な博物館・美術館・資料館等において資料の収集や保管、調査研究及び教育普及活動に従事する専門職員である。

本学部では、歴史系、美術系の学芸員の資格取得に配慮がある。ただし、近年、学芸員は専門的な知識ばかりでなく文化・社会・芸術について幅広い教養を備えた研究者としての役割が期待されており、学芸員となるためには、次のような努力が必要である。

- ① 修士課程を修了しておきたい。
- ② 地方自治体の博物館や美術館では、専門職を現職教員や現職員から採用することがあるので、あらかじめそれらの職種に就ける資格を得ておきたい。

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

法令に規定する科目と単位（学芸員資格）

科 目（本学の授業科目名称ではない）		所要単位	
博物館に関する科目	生涯学習概論	2	全て必修
	博物館概論	2	
	博物館経営論	2	
	博物館資料論	2	
	博物館資料保存論	2	
	博物館展示論	2	
	博物館教育論	2	
	博物館情報・メディア論	2	
	博物館実習	3	
選択	文化史	これらの中から 2科目以上8単位	
	美術史		
	考古学		
	民俗学		

注1) 上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

注2) 資格証書は交付されない。上記科目の単位修得証明書等を採用される博物館等に提出することで認定される。

(3) 公認スポーツ指導者

公認スポーツ指導者とは、スポーツ医・科学の知識を活かし、安全に、正しく、本質的な楽しさ、素晴らしさを伝えることができる指導者のことを指す。所定のカリキュラムによる講習会等に参加し、試験に合格すると認定される。その種類と役割は次のとおり。

公認スポーツ指導者の種類と役割

種 類		役 割	所定時間
スポーツ指導者基礎資格	スポーツリーダー	地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。	35h
競技別指導者資格	指導員	地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に個々の年齢や性別などに合わせた指導にあたる。	共通 I :35h 専門:40h 以上
	上級指導員	年齢や競技レベルに応じた指導にあたり、事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。	共通 I + II :70h 専門:20h 以上
	コーチ	広域スポーツセンターや競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。	共通 I + II + III:152.5h 専門:60h 以上
	上級コーチ	ナショナルレベルのトレーニング拠点において、選抜された競技者の育成強化にあたる。	共通 I + II + III + IV:192.5h 専門:40h 以上
	教師	商業スポーツ施設等において競技別の専門的指導者として会員のニーズに合わせた実技指導を行う。	共通 I + II + III:152.5h 専門 : 80h 以上
	上級教師	各種事業に関する計画の立案、指導方針の決定など組織内指導者の中心的な役割を担う。	共通 I + II + III:152.5h 専門:60h 以上
フィットネス系資格	ジュニアスポーツ指導員	地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた動きづくりの指導を行う。	共通 I :35h 専門:40h
	スポーツプログラマー	青年期以降のすべての人に対し、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。	共通 I + II :70h 専門:63h
メディカル・コンディショニング資格	スポーツドクター	スポーツマンの健康管理、スポーツ障害、スポーツ外傷の診断、治療予防研究等にあたる。	基礎:21 単位 応用:20 単位
	アスレティックトレーナー	スポーツドクター及びコーチと協力しながら、競技者の障害予防、応急処置、リハビリテーション、トレーニング、コンディショニング等にあたる。	共通 I + II + III:152.5h 専門:136h
マネジメント指導者資格	アシスタントマネジャー	総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートする。	共通 I :35h 専門:35h
	クラブマネジャー	総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。	共通 I :35h 専門:167.5h

本学部は、公認スポーツ指導者養成講習会の免除適応コースになっている。したがって、本学部が開設している所定の科目の単位を修得することにより、資格別に、講習あるいは試験が免除される。

免除される公認スポーツ指導者資格の種類と区分

公認スポーツ指導者の種類	共通科目	専門科目
	講習・試験	講習・試験
スポーツリーダー（注1）	免除される	該当なし
指導員・上級指導員 コーチ・上級コーチ	免除される (共通IVは免除されない)	免除されない（注2）
ジュニアスポーツ指導員 スポーツプログラマー	免除される	講習のみ免除される
アスレティックトレーナー	免除される	免除されない
アシスタントマネジャー	免除される	講習のみ免除される

注1) スポーツリーダーは、基礎資格なので共通科目のみ。本学部保健体育選修修了者は、修得科目の種類にかかわらず、申請すれば資格が得られる。

注2) 競技別指導者資格の専門科目は、それぞれの種目の中央競技団体が主催する講習及び検定試験を受けなければならない。

注3) スポーツドクターは医師免許を有している人のみ対象。

注4) いずれの場合も、資格申請や修了証明書発行手続きには審査料等が必要となる。

(財) 日本体育協会公認スポーツ指導者共通科目カリキュラム

共通 I	文化としてのスポーツ	3.75h	共通 III	社会の中のスポーツ	5h
	指導者の役割 I	5h		指導者の役割 II	7.5h
	トレーニング論	3.75h		スポーツと法	5h
	スポーツ指導者に必要な 医学的知識 I	7.5h		アスリートの栄養・食事	5h
	スポーツと栄養	2.5h		スポーツの心理 I	7.5h
	指導計画と安全管理	3.75h		スポーツの心理 II	10h
	ジュニア期のスポーツ	5h		身体のしくみと働き	10h
	地域におけるスポーツ振興	3.75h		トレーニング論 II	20h
共通 II	社会の中のスポーツ	5h	共通 IV	競技者育成のための指導法	10h
	スポーツと法	5h		スポーツ指導者に必要な 医学的知識 II	20h
	スポーツの心理 I	7.5h		トップアスリートを取り 巻く諸問題	20h
	スポーツ組織の運営と事業	10h		指導能力を高めるための スキルアッププログラム	20h
	対象に合わせたスポーツ指導	7.5h			

注5) 免除を受けるために必要な本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

注6) スポーツプログラマー及びジュニアスポーツ指導員の専門科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

2-1-7 教育実践力養成プログラム

(1) 「教育実践力養成プログラム」について

初等教育に対しては、いじめ・不登校対応などの新しい教育的課題に向けた「教育実践科学プログラム」、言語活動・環境・健康・情報といった教科・領域横断的な教育や発達障害支援に関する「教科・領域横断的プログラム」、我が国の科学技術力のさらなる向上に向けて充実が求められている理数教育、社会のグローバル化への対応で教科化された英語の教育に対応した「理数・英語対応プログラム」がある。さらに、中等教育の各教科、特別支援教育や養護教育に対しても優れた教育実践力養成を目指したプログラムを設けている。具体的には、以下の表のようなプログラムである。

(2) 「教育実践力養成プログラム」認定要件

各プログラムに対応する免許（小・中学校は 1 種免許）に要する単位を修得した上で、「授業科目一覧および授業時間割」に示された各プログラムの対象科目を 8 単位以上（初等教育実践力養成プログラム）、もしくは 10 単位（それ以外のプログラム）を修得することが要件となる。この要件を満たしたものは、卒業時に各プログラムの修了認定証を交付する。

各「教育実践力養成プログラム」と目的

プログラム名（認定要件）		目 的	
初等教育実践力養成プログラム (小学校教諭 1 種免許+それぞれのプログラムの対象科目 8 単位以上の修得)	教育実践科学プログラム (* 1)	現代教育プログラム	現代教育の課題を理解した上で、いじめ、不登校、学習指導、ICT 教育等に対応できる教員の養成
		人間発達プログラム	現代教育の課題を理解した上で、子どもの発達、児童・生徒支援に対応できる教員の養成
	理数・英語対応プログラム	小学校算数プログラム	小学校算数および小学校算数の専科化に対応できる教員の養成
		小学校理科プログラム	小学校理科、小学校理科における実験および小学校理科の専科化に対応できる教員の養成
		小学校英語プログラム	小学校英語の教科化および小学校英語の専科化に対応できる教員の養成
	教科・領域横断的プログラム	言語活動プログラム	全教科を通じた言語活動の充実、アイデンティティを高める国語教育に対応できる教員の養成
		環境教育プログラム	教科横断的な環境教育の実施および生活科や総合的な学習の時間に対応できる教員の養成
		健康教育プログラム	子どものからだ、運動、食、こころの問題に対応できる教員の養成
		情報教育プログラム	ICT を活用した教育の実践、また、必修化されるプログラミング教育に対応できる教員の養成
		発達障害支援プログラム (* 2)	一般学級における発達障害児の支援に対応できる教員、特別支援学級の担任になる教員の養成
中等教育実践力養成プログラム (対応する教科の中学校教諭 1 種免許+それぞれのプログラムの対象科目 10 単位以上の修得)	国語科教育プログラム	生徒一人一人のニーズに応える授業を実践できる教科に関する優れた教育実践力を持つ教員の養成	
	社会科教育プログラム		
	英語科教育プログラム		
	数学科教育プログラム		
	理科教育プログラム		
	音楽科教育プログラム		
	美術科教育プログラム		
	保健体育科教育プログラム		
技術科教育プログラム			
家庭科教育プログラム			
特別支援教育実践力養成プログラム (特別支援学校教諭免許+対象科目 10 単位以上の修得)		子ども一人一人のニーズに応える授業を実践できる特別支援教育に関する優れた教育実践力を持つ教員の養成	
養護教育実践力養成プログラム (養護教諭免許+対象科目 10 単位以上の修得)		子ども一人一人のニーズに応えることのできる養護についての実践・展開力を持つ養護教諭の養成	

(* 1) 教育実践科学コース向けだが、他コース学生でも所定の単位が修得できれば修了認定可能。

(* 2) 対象科目が特別支援教育に関する科目となるため、特別支援学校教諭免許を取得しないものは対象科目の単位は自由履修の扱いとなる。

2-1-8 資料

(1) 教育実習

a. 教育実習とは

教育実習とは、大学在学中に一定期間継続的に幼稚園・小学校・中学校・高等学校、及び特別支援学校等での教育場面に触れ、教師や子どもが行う教育の実際を観察し、様々な教員としての職務に参加し、教材研究をして授業を実施する（あるいは指導計画を作成し授業以外の諸活動を行う）授業科目である。具体的な目的は以下のとおり。

- ① 大学での講義や、書物で学んだ教育理論の実際の教育場面への適用を試みること。
- ② 教育活動の実際に触れ、その全般について体験的に理解を深め、教育の本質を体得すること。
- ③ 学生の立場で教員としての生活を疑似体験し、自己の教職適性を検証すること。
- ④ 実際の教育実践の中で生身の教師・子どもと触れることによって、新たに教育理論を学ぶ意欲を刺激すること。

b. 教育（医療）現場における実習の種類

教育実習は教員免許状を取得するために必ず行わなければならない。全ての学校種に共通に「教職に関する科目」として設定されているものであり、幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校教諭免許状の取得には「教育実習」、養護教諭免許状の取得には「養護実習」として、それぞれの学校種毎に必要な単位が定められている。

この他に、特別支援学校教諭（特別支援学校の先生）の免許状を取得する場合は「特別支援教育に関する科目」、養護教諭（保健室の先生）の免許状を取得する場合は「養護に関する科目」の中にも実際に学校や病院において行われる実習（それぞれ「心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習」「臨床実習」）が設定されている。

ここでは、全ての学校種に共通した「教職に関する科目」の教育実習（養護実習）について解説しており、上述した「特別支援教育に関する科目」及び「養護に関する科目」にある実習科目については、該当する課程・コースのガイダンスに留意すること。

c. 教育実習に対応した授業科目の種類

教育職員免許法（教免法）で規定されている教育実習（養護実習）には「事前事後指導」が平行して設定されており、これを同時に受講することで教育実習の事前準備、実習中必要な知識・技術や心構え等の学習、さらに実習の成果を後につなげ、さらに深めるための学習等が行われる。

本学部では、各学校種等に応じて3・4年次に2—3週間程度の集中授業として設定される「教育実地研究（4又は2単位）」及び「養護教育実地研究（2単位）」と、1・2年次に行われる「教育実地研究入門I・II（各1単位）」及び2年次に行われる「養護実地研究入門（1単位）」が設定されている。

教育実習に対応した本学部の科目の種類

	必要単位数	教育実習	事前指導
小学校教諭	5	初等教育実地研究（事後指導を含む）	教育実地研究入門
中学校教諭	5	中等教育実地研究（事後指導を含む）	
高等学校教諭	3	中等教育実地研究（事後指導を含む）	
幼稚園教諭	5	幼児教育実地研究（事後指導を含む）	
特別支援学校教諭	3	特別支援教育実地研究（事前事後指導を含む）	
養護教諭	5	養護教育実地研究（事後指導を含む）	養護実地研究入門

注意事項

- ① 教育職員免許法（教免法）施行規則の定めでは、教育実習の総単位数の一定部分には、他の学校種の免許状取得のための教育実習の単位をあてることが可能となっている。ここで、学校教育教員養成課程の教育実践科学コース及び教科教育コースでは、初等教育実地研究 4 又は 2 単位と中等教育実地研究 4 又は 2 単位に加えて教育実地研究入門 I・II の 2 単位を修得すれば、計 8 単位で、小学校・中学校両方の教員免許が取得できるように設定されている。
- ② 同様に教免法では、隣り合った学校段階で教育実習を代替することも可能とされている。したがって、たとえば小学校教諭免許状を取得するために「初等教育実地研究」を履修していれば、それはそのまま幼稚園教諭免許状取得のための教育実習の単位として使用することができる。
- ③ 教育実習の履修にあたっては、履修申告のためのオリエンテーションが行われる。そこで履修基準を満たしているかどうか判断され、各学校種の教員免許状取得のために必要な教育実習の種類と単位数が示される。オリエンテーションは教育実習実施前に随時行われるので、掲示に注意すること。

d. 教育実習を実施する学校

教育実習は、本学部附属学校（園）を中心に周辺の協力校及び実習者の出身校で行われる。実施する学校は事前のオリエンテーションによって割り振られる。このオリエンテーションで必要な手続きをとらなければ実施できないので注意すること。

(2) 介護等体験

a. 介護等体験の趣旨

平成 9 年に「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」、いわゆる「介護等体験特例法」が公布された。これにより「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連体の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点」から、小・中学校の教諭の普通免許状を取得しようとする者に、「障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験」を行うことが義務づけられた。この体験を通して、以下のこ

とを学ぶ。

- ① 人間の尊さや人権を理解する。
- ② 一人一人が違った個性と能力を有していることを実感し、様々な価値観があることを理解する。
- ③ 諸施設やそこで働いている人々について理解する。

b. 対象学生

上記の法律は平成 10 年度から施行されており、平成 10 年度以降の大学等入学者に適用される。本学部の学校教育教員養成課程（特別支援教育コースを除く）及び養護教諭養成課程の学生が対象となる。看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士などの免許を既に取得している人や、身体障害者手帳の交付を受けている人は免除される。

c. 体験の期間・時間

18 歳に達した後に、原則として社会福祉施設又は老人保健施設で 5 日間、特別支援学校で 2 日間、合計 7 日間以上の介護等の体験を行う必要がある。茨城大学では、2 年次に上記の日数をそれぞれ連続 5 日間及び連続 2 日間、大学の割り当てた施設で行うこととしている。1 年次の 1 月頃にオリエンテーションが実施される。

1 日当たりの必要時間は、「介護等の体験の内容等を総合的に勘案しつつ、適切な時間を確保するものとする」となっており、受入施設側の裁量に委ねられる。社会福祉施設の場合、原則として日帰りで概ね 5～6 時間程度とする。

d. 介護等体験の内容

介護等体験の内容は次の 2 つに大別されるが、具体的に何を行うかは受け入れ側の判断による。

- ① 直接的に介護・介助・交流等を行う：食事、排泄等の介護・介助、話し相手、散歩等の交流、学習活動等の支援や手伝い
- ② 受入施設・学校の職員の業務の補助：行事・バザー等の手伝い、掃除・洗濯・おむつたたみ等

e. 受入施設及び学校の概要

① 社会福祉施設又は老人保健施設

ア. 社会福祉施設：憲法第 25 条に定めた国民の「生存権」、すなわち「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障するためにつくられたもの。

- a. 高齢者施設（特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、デイサービスセンター、他）
- b. 児童福祉・障害児施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、知的障害児施設、肢体不自由児施設、児童自立支援施設、他）
- c. 障害者にかかわる施設（身体障害者施設、知的障害者施設、精神障害者施設）

d. 生活保護にかかわる施設（救護施設、他）

イ. 老人保健施設：高齢者の病院等からの居宅復帰を支援するためにリハビリテーション機能を重視し、医療ケアと生活サービスをあわせて提供する施設。医療施設と福祉施設の中間的機能を有する。

② 特別支援学校：視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱などの子どもが通っている学校。

ア. 盲学校（盲児、強度弱視児）

イ. 聾学校（聾児、高度難聴児）

ウ. 知的障害特別支援学校（知的発達の遅滞の程度が中等以上の子ども等）

エ. 肢体不自由特別支援学校（運動・動作の不自由の程度が重度な子ども等）

オ. 病弱特別支援学校（慢性疾患で長期にわたって医療又は生活規則が必要な子ども等）

(3) 手続き

概ね次の事項が必要となる。

① 健康診断書

体験前には、健康診断を受診し、健康診断書を体験先に持参しなければならない。

② 証明書

体験終了時には、それぞれの体験先で「証明書」を受け取ることになる。これは、教員免許状を申請する際（4年次の11月頃）に必要となるので、大切に保管する必要がある。

③ 学生個人票

体験前に作成し、証明書の用紙とともに体験先に持参する。

④ 保険

以下の2つの保険に加入する。

- ・「学生教育研究災害傷害保険」

原則として、学生本人の傷害等に対して支払われる。

- ・「学研災付帯賠償責任保険（Aコース：学生教育研究賠償責任保険）」

他人に傷害を与えたり、他人の財物を損壊した場合に支払われる。

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(4) 実用英語技能検定等及び日本漢字能力検定合格者に係る単位認定

a. 認定授業科目及び単位数

このことについて、下記のように単位が認定される。

実用英語技能検定等の認定科目及び単位数

CEFR B2 ^{※1}			CEFR C1 ^{※2}		
認定授業科目	区分	単位数	認定授業科目	区分	単位数
英語コミュニケーションS	専門科目	2	英語コミュニケーションT	専門科目	2
英語コミュニケーションD	専門科目	2	英語コミュニケーションC	専門科目	2
			英語コミュニケーションJ	専門科目	2
認定単位数		4	認定単位数		6
合計			6 単位 (限度)		

※1【CEFR B2】… 実用英語技能検定 (2300-2599)、GTEC CBT (1250-1399)、TOEIC iBT (72-94)、TOEFL iBT (1095-1300)、TOEIC L&R/S&W (1560-1840) など、CEFR 該当レベルに準ずる得点が公的に提示されているもの

※2【CEFR C1】… 実用英語技能検定 (2600-3299)、GTEC CBT (1400)、TOEIC iBT (95-120)、TOEFL iBT (1305-1390)、TOEIC L&R/S&W (1845-1990) など、CEFR 該当レベルに準ずる得点が公的に提示されているもの

日本漢字能力検定合格者の認定科目及び単位数

準 1 級 以 上			
認定授業科目	区分	単位数	備考
国語学演習II	専門科目	2	認定は1回、2単位とする。

b. 認定願受付期間 (受付最終日が土曜日の場合は前日、日曜日の場合は前々日)

受付は年2回とし、次の期間とする。

1回目：8月20日～8月31日

2回目：1月20日～1月31日

c. 認定の通知

認定された者については、「単位認定通知書」を本人に交付する。なお、交付日等に関しては別に掲示する。

d. その他

- ① 上記認定は、「茨城大学における大学以外の教育施設等における学修及び入学前の既修得単位等認定に関する規程」第1条(12)に基づく単位の認定である。
- ② 「単位認定願」は教育学部学務グループで受領し、受付期間内に同グループへ提出すること。
- ③ 上記の単位認定については、教育学部在籍者に限る。

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

2-1-8 開設科目と受講者数

2-1-8-1 平成29・30年度入学者用

(1)教職に関する科目

a. 共通

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP0001	教育実践と教師	今泉 友里	常勤	前期	火 1	199
PP0002	教育実践と教師	今泉 友里	常勤	前期	火 2	89
PP0003	教育の本質と理念	小川 哲哉	常勤	後期	木 1	196
PP0004	教育の本質と理念	小川 哲哉	常勤	前期	木 1	97
PP0005	人間教育の心理学	丸山 広人	常勤	前期	木 1	205
PP0006	人間教育の心理学	丸山 広人	常勤	後期	木 1	96
PP0009	学校教育課程論	佐藤 環	常勤	前期	月 1	197
PP0010	学校教育課程論	佐藤 環	常勤	後期	月 1	85
PP0015	教育の方法と技術	杉本 憲子	常勤	後期	木 2	197
PP0016	教育の方法と技術	杉本 憲子	常勤	前期	木 2	85
PP0017	生活指導の方法	生越 達	常勤	前期	木 2	197
PP0018	生活指導の方法	生越 達	常勤	後期	木 2	82
PP0021	幼児理解の理論と方法	村野井 均	常勤	前期	集中	21
PP0022	社会教育	望月 厚志	常勤	後期	集中	7
PP0023	生涯学習論	望月 厚志	常勤	前期	集中	18
PP0024	社会教育計画Ⅰ	佐々木 尚毅	非常勤	前期	集中	11
PP0025	社会教育計画Ⅱ	佐々木 尚毅	非常勤	後期	集中	8
PP0026	社会教育演習	佐々木 尚毅	非常勤	前期	集中	8
PP0028	社会教育課題研究	佐々木 尚毅	非常勤	後期	集中	6
PP0029	幼児教育の内容と方法	神永 直美	常勤	前期	月 5	32

b. 初等教育の教科の指導法

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP0201	初等国語科教育法	昌子 佳広	常勤	前期	月 3	60
PP0202	初等国語科教育法	鈴木 一史	常勤	前期	月 3	63
PP0203	初等国語科教育法	昌子 佳広	常勤	後期	月 3	64
PP0204	初等国語科教育法	鈴木 一史	常勤	後期	月 3	63
PP0205	初等社会科教育法	木村 勝彦	常勤	前期	月 5	51
PP0206	初等社会科教育法	木村 勝彦	常勤	後期	火 2	61
PP0207	初等社会科教育法	木村 勝彦	常勤	後期	月 5	63
PP0208	初等社会科教育法	木村 勝彦	常勤	前期	火 2	55
PP0209	算数科教育法	小口 祐一	常勤	後期	木 3	58
PP0210	算数科教育法	根本 博	常勤	後期	木 3	52
PP0211	算数科教育法	小口 祐一	常勤	後期	火 2	64
PP0212	算数科教育法	根本 博	常勤	後期	火 2	61
PP0213	初等理科教育法	宮本 直樹	常勤	後期	水 2	106
PP0214	初等理科教育法	宮本 直樹	常勤	後期	火 4	121
PP0220	図画工作科教育法	向野 康江	常勤	後期	月 5	129
PP0221	図画工作科教育法	金子 一夫	常勤	前期	月 5	114
PP0226	初等家庭科教育法	石島 恵美子	常勤	後期	火 2	59
PP0227	初等家庭科教育法	野中 美津枝	常勤	後期	木 5	59
PP0233	保育内容の研究(人間関係)	神永 直美	常勤	後期	火 1	2
PP0234	保育内容の研究(環境)	神永 直美	常勤	前期	火 2	9

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PP0235	保育内容の研究(言葉)	神永 直美	常勤	前期	木 5	20
PP0236	保育内容の研究(表現)	神永 直美	常勤	後期	水 5	20

c. 中等教育の教科の指導法

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP0301	中等国語科教育法Ⅰ	鈴木 一史	常勤	前期	木 1	48
PP0302	中等国語科教育法Ⅱ	昌子 佳広	常勤	後期	木 5	38
PP0303	中等国語科教育法Ⅲ	鈴木 一史	常勤	後期	金 3	40
PP0309	中等社会科教育法Ⅰ	村山 朝子	常勤	後期	木 5	30
PP0311	社会・地理歴史科教育法	村山 朝子	常勤	前期	水 2	25
PP0312	社会・公民科教育法	唐木 清志	非常勤	後期	集中	29
PP0323	中等理科教育法Ⅰ	郡司 晴元	常勤	後期	月 5	26
PP0324	中等理科教育法Ⅱ	郡司 晴元	常勤	前期	月 2	28
PP0325	中等理科教育法Ⅲ	宮本 直樹	常勤	後期	月 2	0
PP0326	中等理科教育法Ⅳ	宮本 直樹	常勤	後期	月 2	25
PP0333	中等音楽科教育法Ⅰ	田中 健次	常勤	後期	月 3	13
PP0337	美術科教育法Ⅰ	金子 一夫	常勤	前期	火 2	12
PP0338	美術科教育法Ⅱ	金子 一夫	常勤	後期	月 3	12
PP0341	保健体育科教育法Ⅰ	吉野 聡	常勤	後期	集中	19
PP0354	技術科教育法Ⅰ	大西 有	常勤	4Q	木 2	20
PP0355	技術科教育法Ⅱ	工藤 雄司	常勤	前期	火 2	18
PP0356	技術科教育法Ⅲ	大西 有	常勤	後期	木 4	18
PP0358	技術科教育法Ⅴ	工藤 雄司	常勤	後期	集中	9
PP0359	技術科教育法Ⅵ	工藤 雄司	常勤	後期	集中	8
PP0365	中等家庭科教育法Ⅰ	野中 美津枝	常勤	前期	金 2	23
PP0366	中等家庭科教育法Ⅱ	野中 美津枝	常勤	前期	水 2	18
PP0367	中等家庭科教育法Ⅲ	野中 美津枝	常勤	後期	金 3	18
PP0373	英語科教育法Ⅰ	猪井 新一	常勤	後期	木 2	21
PP0374	英語科教育法Ⅱ	齋藤 英敏	常勤	前期	木 4	25
PP0378	英語科内容研究	猪井 新一	常勤	後期	金 2	25
PP0381	保健科教育法Ⅰ	青柳 直子	常勤	後期	火 3	36
PP0382	保健科教育法Ⅱ	青柳 直子	常勤	前期	火 3	34
PP0383	保健科教育法Ⅲ	青柳 直子	常勤	後期	火 2	32

d. 教育実習

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP0601	教育実地研究入門Ⅰ	関係教員	-	通年	集中	287
PP0602	教育実地研究入門Ⅱ	関係教員	-	通年	火 4	128
PP0603	教育実地研究入門Ⅲ	関係教員	-	通年	火 5	138
PP0617	養護実地研究入門	関係教員	-	通年	集中	34
PP0618	養護実践研究Ⅰ	関係教員	-	通年	集中	34

(2) 教科又は教職に関する科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP0701	特別な支援を必要とする子どもの教育	荒川 智	常勤	2Q	火 3	81
PP0703	教育文化の歴史	小川 哲哉	常勤	後期	集中	41
PP0704	子どもの発達を知る	村野井 均	常勤	後期	月 2	139
PP0706	こころを育てるグループワーク	正保 春彦	常勤	後期	木 3	25

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PP0709	小学校算数入門	松村 初	常勤	後期	金3	0
PP0710	小学校算数基礎	梅津 健一郎	常勤	後期	金1	3
PP0714	初等化学	青島 政之	常勤	後期	金1	17
PP0716	初等地理	伊藤 孝	常勤	後期	金3	10
PP0717	小学校英語ⅠA	猪井 新一	常勤	後期	金3	16
PP0718	小学校英語ⅠA	下 薫	非常勤	後期	金3	19
PP0719	小学校英語ⅠB	小林 翔	常勤	後期	金1	17
PP0720	小学校英語ⅡA	下 薫	非常勤	1Q	金3	12
PP0721	小学校英語ⅡB	下 薫	非常勤	4Q	金4	8
PP0722	英語コミュニケーションA	相原 和恵	非常勤	後期	金1	7
PP0724	英米文学・文化演習	小林 英美	常勤	後期	木5	16
PP0725	郷土の言葉	川嶋 秀之	常勤	後期	金3	32
PP0726	小学校の書字指導	齋木 久美	常勤	後期	金1	30
PP0730	地球環境論	阿部 信一郎	常勤	後期	金3	10
PP0731	地域へのアプローチ	小野寺 淳	常勤	通年	集中	0
PP0734	環境地球科学	伊藤 孝	常勤	後期	金1	0
PP0736	子どもの体力と健康	松坂 晃	常勤	後期	金3	26
PP0741	情報教育入門	大西 有	常勤	後期	金3	29
PP0742	学校教育とプログラミングⅠ	大西 有	常勤	3Q	金1	8
PP0743	学校教育とプログラミングⅡ	大西 有	常勤	4Q	金1	7
PP0746	学校経営と学校図書館	名城 邦孝	非常勤	前期	金2	81
PP0747	学校図書館メディアの構成	名城 邦孝	非常勤	後期	金2	60
PP0752	憲法と社会生活	中野 雅紀	常勤	後期	木5	0
PP0753	茨城の歴史と文化	小野寺 淳	常勤	後期	金2	4
PP0754	言語と文化の諸相	君塚 淳一	常勤	通年	集中	0
PP0755	異文化理解実習	小林 英美	常勤	後期	集中	18
PP0757	デッサンの基礎Ⅰ	島 剛	常勤	1Q	月4-5	12
PP0758	デッサンの基礎Ⅱ	島 剛	常勤	2Q	月4-5	12
PP0759	石膏デッサン	片口 直樹	常勤	後期	金2	12
PP0760	素描A	片口 直樹	常勤	2Q	金2	12
PP0761	素描B	島 剛	常勤	1Q	金2	12
PP0763	住居環境学	乾 康代	常勤	後期	木2	16
PP0764	住環境計画学	乾 康代	常勤	前期	金2	0

(3) 教科に関する科目

a. 小学校

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP0801	初等国語科内容研究	川嶋 秀之	常勤	4Q	火3	61
PP0802	初等国語科内容研究	宮崎 尚子	常勤	4Q	火3	61
PP0803	初等国語科内容研究	川嶋 秀之	常勤	3Q	火3	62
PP0804	初等国語科内容研究	増子 和男	常勤	3Q	火3	66
PP0806	初等書写内容研究	齋木 久美	常勤	1Q	木4	61
PP0807	初等書写内容研究	齋木 久美	常勤	2Q	木4	68
PP0808	初等書写内容研究	齋木 久美	常勤	3Q	木5	62
PP0809	初等書写内容研究	齋木 久美	常勤	4Q	木5	64
PP0810	初等社会科内容研究	大島 規江	常勤	4Q	月2	119
PP0811	初等社会科内容研究	大島 規江	常勤	4Q	火1	124
PP0813	算数科内容研究	吉井 豊	常勤	3Q	火2	75
PP0814	算数科内容研究	吉井 豊	常勤	4Q	火2	57
PP0815	算数科内容研究	松村 初	常勤	4Q	水2	58

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PP0816	算数科内容研究	松村 初	常勤	3Q	水 2	54
PP0818	初等理科内容研究	青島 政之	常勤	3Q	水 3	125
PP0819	初等理科内容研究	青島 政之	常勤	3Q	水 3	80
PP0821	生活科内容研究	大西 有	常勤	3Q	月 2	122
PP0822	生活科内容研究	大西 有	常勤	3Q	火 1	124
PP0823	初等音楽科内容研究	谷川 佳幸	常勤	1Q	水 1	42
PP0824	初等音楽科内容研究	神部 智	常勤	2Q	水 1	50
PP0825	初等音楽科内容研究	山口 哲人	常勤	3Q	火 3	47
PP0826	初等音楽科内容研究	田中 宏明	常勤	4Q	火 3	39
PP0828	図画工作科内容研究	島田 裕之	常勤	4Q	火 2	69
PP0829	図画工作科内容研究	島田 裕之	常勤	3Q	火 2	56
PP0830	図画工作科内容研究	金子 一夫	常勤	3Q	水 2	55
PP0831	図画工作科内容研究	小口 あや	常勤	4Q	水 2	46
PP0833	初等家庭科内容研究	石島 恵美子	常勤	1Q	火 3	55
PP0834	初等家庭科内容研究	石島 恵美子	常勤	1Q	火 3	47
PP0835	初等家庭科内容研究	石島 恵美子	常勤	2Q	火 3	51
PP0836	初等家庭科内容研究	石島 恵美子	常勤	2Q	火 3	48
PP0838	体育科内容研究	渡邊 將司	常勤	後期	集中	53
PP0839	体育科内容研究	渡邊 將司	常勤	後期	集中	24

b. 中学校

国語

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP0901	国語学概論	川嶋 秀之	常勤	前期	月 5	48
PP0902	国語表現法	川嶋 秀之	常勤	後期	水 2	30
PP0903	国語学演習 I	川嶋 秀之	常勤	前期	木 4	20
PP0906	国文学概論	宮崎 尚子	常勤	後期	水 1	49
PP0907	近・現代文学研究 I	宮崎 尚子	常勤	前期	金 3	37
PP0908	近・現代文学演習 I	宮崎 尚子	常勤	後期	金 2	11
PP0912	古典文学研究 I	栗山 元子	非常勤	通年	集中	24
PP0916	漢文学概論	増子 和男	常勤	前期	月 2	51
PP0917	漢文学基礎	増子 和男	常勤	後期	木 2	25
PP0918	漢文学研究法 I	増子 和男	常勤	前期	水 2	39
PP0920	漢文学演習 I	増子 和男	常勤	後期	木 4	36
PP0922	書道 I	齋木 久美	常勤	前期	金 3	49
PP0923	書道 II	齋木 久美	常勤	後期	金 2	47
PP0924	書道 III	齋木 久美	常勤	前期	金 2	13

社会

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1003	基礎地理	大島 規江	常勤	前期	月 2	30
PP1004	日本史概論 I	浅野 充	非常勤	後期	集中	38
PP1005	日本史概論 II	千葉 真由美	常勤	後期	金 3	28
PP1011	歴史学特別演習	千葉 真由美	常勤	後期	集中	10
PP1012	民俗学特講	塚原 伸治	常勤	後期	木 3	9
PP1013	考古学特講	田中 裕	常勤	後期	金 2	8
PP1014	西洋史概論 I	藤崎 衛	非常勤	前期	月 5	68
PP1021	東洋史概論	澁谷 浩一	常勤	後期	火 5	23
PP1026	人文地理学概論	小野寺 淳	常勤	後期	木 2	28

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PP1034	地理学研究法	大島 規江	常勤	前期	木 3	13
PP1035	政治学概論	蓮井 誠一郎	常勤	前期	金 4	4
PP1036	自然地理学概論	甲斐 憲次	常勤	後期	金 4	31
PP1040	地誌学概論	大島 規江	常勤	後期	水 2	35
PP1043	地誌学特講Ⅲ	横山 貴史	非常勤	後期	集中	0
PP1044	地誌学特講Ⅳ	小原 規宏	常勤	前期	木 4	0
PP1046	地理学野外実習Ⅲ	大島 規江	常勤	通年	集中	17
PP1047	法学概論	中野 雅紀	常勤	後期	月 5	39
PP1048	法学特講	中野 雅紀	常勤	前期	木 5	9
PP1050	法学特論(日本国憲法)	中野 雅紀	常勤	通年	集中	1
PP1052	社会学概論	岩佐 淳一	常勤	前期	木 1	26
PP1053	マス・コミュニケーション論	岩佐 淳一	常勤	前期	月 2	20
PP1061	哲学概論Ⅰ	渡邊 邦夫	常勤	1Q	金 1	23
PP1062	哲学概論Ⅱ	渡邊 邦夫	常勤	2Q	金 1	22
PP1065	倫理学概論	樋口 達郎	非常勤	前期	金 4	38

英語

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1101	英語学概論A	安原 正貴	常勤	後期	金 5	24
PP1103	学校英文法	安原 正貴	常勤	前期	金 4	21
PP1104	英語学演習A	安原 正貴	常勤	後期	金 4	10
PP1106	英米文学概論A	君塚 淳一	常勤	前期	木 5	26
PP1107	英米文学概論B	小林 英美	常勤	前期	木 3	27
PP1112	英米文学・文化演習A	君塚 淳一	常勤	前期	月 5	0
PP1115	英米文学・文化から教える英語テキスト	君塚 淳一	常勤	後期	月 5	14
PP1116	英語コミュニケーションS	トゥール テイモシー	非常勤	前期	金 1	19
PP1117	英語コミュニケーションD	齋藤 英敏	常勤	前期	金 2	18
PP1118	英語コミュニケーションT	トゥール テイモシー	非常勤	後期	水 1	4
PP1121	英語コミュニケーションP	小林 翔	常勤	後期	月 2	18
PP1122	英語コミュニケーションJ	マクナス ケビン	非常勤	後期	月 2	18
PP1123	英語コミュニケーションL	TOLLEFSON TOD	非常勤	後期	水 2	4
PP1125	英語コミュニケーションC	マクナス ケビン	非常勤	前期	月 2	9
PP1126	異文化理解概論	君塚 淳一	常勤	通年	集中	27

数学

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1201	代数学概論	吉井 豊	常勤	前期	金 5	42
PP1202	代数学基礎	吉井 豊	常勤	後期	金 5	39
PP1203	代数学A	吉井 豊	常勤	前期	金 2	40
PP1204	代数学B	吉井 豊	常勤	後期	金 2	30
PP1207	幾何学概論	栗原 博之	常勤	前期	火 2	50
PP1208	幾何学基礎	栗原 博之	常勤	前期	金 5	30
PP1209	幾何学A	栗原 博之	常勤	後期	金 5	11
PP1212	解析学概論	梅津 健一郎	常勤	前期	月 4	41
PP1213	解析学基礎	梅津 健一郎	常勤	後期	水 2	33
PP1214	解析学A	梅津 健一郎	常勤	前期	水 2	30
PP1215	解析学B	梅津 健一郎	常勤	後期	月 4	27

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

理科

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1301	物理学概論	永尾 敬一	常勤	前期	火 2	44
PP1302	電磁気学	永尾 敬一	常勤	前期	水 2	3
PP1307	物理学実験	矢島 裕介	常勤	後期	水 1-2	26
PP1308	化学概論	青島 政之	常勤	後期	金 2	27
PP1313	化学実験 I	青島 政之	常勤	前期	月 4-5	25
PP1315	生物学概論	棗田 孝晴	常勤	後期	木 2	26
PP1316	動物学	棗田 孝晴	常勤	前期	金 1	25
PP1320	生物学実験	棗田 孝晴	常勤	後期	月 3-4	25
PP1321	地学概論	上栗 伸一	常勤	前期	木 2	26
PP1323	地質学	上栗 伸一	常勤	後期	金 2	19
PP1328	地学野外実習	伊藤 孝	常勤	前期	集中	15
PP1329	地学実験	伊藤 孝	常勤	前期	金 3-4	26

音楽

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1401	ピアノ	田中 宏明	常勤	前期	木 3	7
PP1402	ピアノ	田中 宏明	常勤	後期	水 1	7
PP1403	ピアノ	神部 智	常勤	前期	金 3	6
PP1404	ピアノ	神部 智	常勤	後期	金 2	6
PP1405	ピアノ	田中 宏明	常勤	前期	火 2	7
PP1406	ピアノ	田中 宏明	常勤	後期	木 1	7
PP1407	ピアノ	神部 智	常勤	前期	金 2	6
PP1408	ピアノ	神部 智	常勤	後期	木 4	6
PP1411	管打楽器	曾我部 清典	非常勤	前期	水 3	7
PP1413	管打楽器	曾我部 清典	非常勤	後期	水 3-4	5
PP1415	弦楽器	野末 あけみ	非常勤	前期	集中	5
PP1418	独唱	谷川 佳幸	常勤	前期	木 2	8
PP1419	独唱	谷川 佳幸	常勤	後期	金 1	8
PP1420	独唱	藤田 文子	常勤	前期	金 4	6
PP1421	独唱	藤田 文子	常勤	後期	金 1	6
PP1422	独唱	谷川 佳幸	常勤	前期	木 1	7
PP1423	独唱	谷川 佳幸	常勤	後期	金 2	7
PP1424	独唱	藤田 文子	常勤	前期	金 5	6
PP1425	独唱	藤田 文子	常勤	後期	金 2	6
PP1429	日本音楽(箏唄)	大須賀 佳緒里	非常勤	後期	集中	26
PP1430	ソルフェージュ	山口 哲人	常勤	前期	水 1	13
PP1431	ソルフェージュ演習	田中 宏明	常勤	後期	木 2	13
PP1433	音楽通論	山口 哲人	常勤	後期	水 2	16
PP1434	和声学	山口 哲人	常勤	前期	月 2	13
PP1439	音楽史概論	神部 智	常勤	前期	木 4	13
PP1440	音楽学	神部 智	常勤	後期	金 3	15

美術

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1501	絵画実技概論	片口 直樹	常勤	1Q	金 3-4	12
PP1502	絵画 I	片口 直樹	常勤	2Q	金 4-5	12

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PP1504	絵画特別演習	片口 直樹	常勤	前期	集中	5
PP1505	彩画特別演習	片口 直樹	常勤	後期	集中	3
PP1507	彫刻実技概論	島 剛	常勤	2Q	金 3-4	12
PP1508	彫刻 I	島 剛	常勤	1Q	金 4-5	12
PP1510	彫刻特別演習	島 剛	常勤	後期	集中	5
PP1514	デザイン実技概論	島田 裕之	常勤	後期	木 2	12
PP1515	デザイン I	島田 裕之	常勤	後期	金 4	12
PP1517	デザイン特別演習	島田 裕之	常勤	前期	集中	3
PP1519	工芸実技概論	石黒 美男	非常勤	後期	木 5	12
PP1520	工芸 I	石黒 美男	非常勤	後期	集中	2
PP1524	美術概論	小泉 晋弥	常勤	1Q	火 3	12
PP1525	美術史概論	小泉 晋弥	常勤	2Q	火 3	11
PP1526	日本美術史 I	小泉 晋弥	常勤	前期	木 1	12
PP1527	西洋美術史 I	甲斐 教行	常勤	前期	火 5	15
PP1529	日本美術史 II	小泉 晋弥	常勤	後期	木 5	12
PP1530	西洋美術史 II	甲斐 教行	常勤	後期	火 5	12

体育

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1603	ダンス・身体表現	篠田 明音	常勤	後期	木 4	0
PP1604	水泳	富樫 泰一	常勤	前期	集中	23
PP1605	バスケットボール	加藤 敏弘	常勤	後期	火 2	19
PP1606	ソフトボール	渡邊 将司	常勤	前期	木 4	19
PP1609	卓球・テニス	日下 裕弘	非常勤	後期	月 4	19
PP1610	柔道	中嶋 哲也	常勤	後期	金 2	20
PP1612	野外運動	富樫 泰一	常勤	前期	集中	10
PP1613	スキー	渡邊 将司	常勤	後期	集中	18
PP1614	体育学概論	中嶋 哲也	常勤	前期	金 3	25
PP1615	体育史	中嶋 哲也	常勤	前期	金 1	21
PP1616	測定評価	渡邊 将司	常勤	後期	木 2	0
PP1617	スポーツ心理学	東海林 祐子	非常勤	前期	集中	40
PP1618	体育スポーツ社会学	日下 裕弘	非常勤	後期	月 2	19
PP1619	運動学概論	勝本 真	常勤	前期	木 3	20
PP1620	トレーニング法	渡邊 将司	常勤	後期	月 2	19
PP1624	ダンス・身体表現方法論	篠田 明音	常勤	後期	木 3	0
PP1626	武道方法論	中嶋 哲也	常勤	後期	金 1	20
PP1627	生理学概論(保健体育選修)	松坂 晃	常勤	前期	月 4	44
PP1629	スポーツ医学	辰村 正紀	非常勤	後期	集中	10
PP1632	スポーツ栄養学	古旗 照美	非常勤	前期	集中	23
PP1633	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	常勤	後期	金 4	22
PP1636	救急処置法	富樫 泰一	常勤	通年	集中	23

技術

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1701	製図 I	堤 一郎	常勤	1Q	木 3	20
PP1702	木材加工概論	臼坂 高司	常勤	前期	火 3	20
PP1703	木材加工の基礎技術	臼坂 高司	常勤	前期	月 4-5	20
PP1704	木材加工の応用技術	臼坂 高司	常勤	3Q	水 1-2	20
PP1705	木材加工学	臼坂 高司	常勤	後期	火 5	11

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PP1707	製図Ⅱ	野崎 英明	常勤	2Q	木 3	20
PP1708	金属加工概論	野崎 英明	常勤	後期	金 2	21
PP1709	金属加工の基礎技術	野崎 英明	常勤	前期	金 4-5	18
PP1710	金属加工の応用技術	野崎 英明	常勤	4Q	金 4-5	10
PP1711	金属加工学	野崎 英明	常勤	前期	火 5	8
PP1713	機械技術概論	堤 一郎	常勤	後期	火 1	20
PP1718	電気技術概論	榊 守	常勤	後期	木 5	21
PP1719	電気の基礎技術	榊 守	常勤	前期	木 4-5	18
PP1720	電気の応用技術	榊 守	常勤	3Q	金 3-4	3
PP1721	電気技術	榊 守	常勤	前期	金 2	2
PP1723	生物育成概論	大西 有	常勤	前期	金 2	20
PP1726	生物育成技術	大西 有	常勤	前期	月 2	8
PP1728	情報技術概論	工藤 雄司	常勤	4Q	水 1-2	20
PP1729	情報処理の基礎技術Ⅰ	工藤 雄司	常勤	前期	木 1	18

家庭

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1801	食物学概論	西川 陽子	常勤	前期	火 1	18
PP1802	食品衛生管理学	西川 陽子	常勤	後期	集中	12
PP1803	食生活論	西川 陽子	常勤	前期	木 5	13
PP1804	栄養学《食物学》	西川 陽子	常勤	後期	金 4	12
PP1806	調理学基礎	石島 恵美子	常勤	3Q	金 1-2	24
PP1809	被服学概論	木村 美智子	常勤	後期	火 2	24
PP1810	衣生活論	木村 美智子	常勤	前期	木 4	18
PP1814	被服構成学基礎	木村 美智子	常勤	前期	水 1	19
PP1815	被服構成学応用	米今 由希子	非常勤	後期	集中	12
PP1816	住居学概論	乾 康代	常勤	前期	金 5	18
PP1817	住居デザインⅠ	乾 康代	常勤	後期	金 5	0
PP1820	保育学概論	数井 みゆき	常勤	前期	木 3	24
PP1824	家庭経営学概論	佐藤 裕紀子	常勤	前期	金 4	24
PP1825	家事労働論	佐藤 裕紀子	常勤	後期	金 2	18
PP1826	現代家族論	佐藤 裕紀子	常勤	後期	木 3	24
PP1829	家庭電気・機械	榊 守	常勤	後期	集中	20
PP1830	家庭情報処理	工藤 雄司	常勤	後期	集中	13

教育実践学に関する科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1901	教育実践科学研究	小川 哲哉	常勤	後期	木 2	26
PP1902	教師のキャリアデザイン	今泉 友里	常勤	前期	水 2	13
PP1903	学校・地域社会・保護者の連携	今泉 友里	常勤	後期	水 2	8
PP1904	学校経営と子ども	加藤 崇英	常勤	後期	金 5	10
PP1905	教育実践の分析	渡部 玲二郎	常勤	前期	火 4	1
PP1906	公共性と教育	小川 哲哉	常勤	後期	月 5	14
PP1907	現代教育思想と実践	青柳 路子	常勤	前期	月 4	5
PP1908	子ども関係といじめ	生越 達	常勤	後期	木 1	14
PP1909	学校と不登校問題	小川 哲哉	常勤	前期	水 1	12
PP1910	学級経営の課題	照屋 翔大	常勤	前期	金 5	2
PP1911	学習指導の課題と方法	杉本 憲子	常勤	後期	金 4	1
PP1912	ICT教育と学力	小林 祐紀	常勤	後期	木 3	3

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PP1913	カリキュラム設計	佐藤 環	常勤	後期	水 2	1
PP1914	子どもの発達	村野井 均	常勤	前期	月 2	6
PP1915	家庭教育と子ども	神永 直美	常勤	後期	木 5	2
PP1916	メディアと子ども	村野井 均	常勤	後期	木 4	1
PP1917	子どもと人間関係	神永 直美	常勤	前期	月 2	9
PP1918	子どもの発達と支援の方法	丸山 広人	常勤	前期	木 4	6
PP1919	相談の理論と技法	三輪 壽二	常勤	前期	月 3	11

(4) 高等学校「情報」

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP1951	情報社会及び情報倫理	本村 猛能	非常勤	後期	集中	13
PP1952	情報社会論	岩佐 淳一	常勤	後期	木 1	0
PP1953	情報文化論	小泉 晋弥	常勤	後期	集中	18
PP1955	情報技術演習 I	佐々木 忠之	常勤	前期	集中	7
PP1956	情報技術演習 II	佐々木 忠之	常勤	後期	集中	0
PP1961	情報通信ネットワーク演習	工藤 雄司	常勤	前期	月 2	5
PP1963	マルチメディア表現の理論及び演習	小泉 晋弥	常勤	後期	集中	2
PP1964	情報編集法	関 友作	常勤	前期	木 1	0
PP1965	シミュレーション技法	野崎 英明	常勤	前期	金 3	5
PP1966	データ解析法	関 友作	常勤	後期	木 1	3
PP1967	静止画像処理	島田 裕之	常勤	4Q	火 3	0
PP1969	画像処理入門	佐々木 忠之	常勤	通年	集中	0

(5) 特別支援教育に関する科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP2111	肢体不自由児の心理・生理・病理	岡澤 慎一	非常勤	前期	集中	28
PP2112	病弱児の心理・生理・病理	勝二 博亮	常勤	前期	火 4	40
PP2113	知的障害児の生理機能評価法	勝二 博亮	常勤	4Q	金 5	22
PP2117	肢体不自由児の教育方法	新井 英靖	常勤	前期	月 2	34
PP2118	病弱児の教育方法	新井 英靖	常勤	前期	月 3	20
PP2119	聴覚障害児の心理・生理・病理	田原 敬	常勤	後期	金 1	23
PP2120	感覚障害児の生理機能評価法	田原 敬	常勤	3Q	金 5	21
PP2121	感覚障害児の教育	田原 敬	常勤	通年	集中	23
PP2122	重度重複障害児教育論	勝二 博亮	常勤	1Q	木 2	23
PP2123	発達障害児教育概論	細川 美由紀	常勤	後期	金 3	46
PP2124	障害児教育総論	荒川 智	常勤	1Q	火 3	37

(6) 養護に関する科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP3005	学校保健概論	瀧澤 利行	常勤	前期	金 5	36
PP3007	学校環境衛生	瀧澤 利行	常勤	3Q	金 3	34
PP3008	養護学概論	斉藤 ふくみ	常勤	後期	火 2	37
PP3009	養護実践論	斉藤 ふくみ	常勤	前期	月 3	34
PP3012	養護活動演習 I	斉藤 ふくみ	常勤	後期	月 3	34
PP3016	栄養学《栄養学》	西川 陽子	常勤	後期	月 5	34
PP3017	解剖生理学概論 I	石原 研治	常勤	前期	金 1	37
PP3018	解剖生理学概論 II	石原 研治	常勤	後期	金 1	37

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PP3019	生化学	石原 研治	常勤	前期	木 3	37
PP3020	知的障害児の生理・病理	勝二 博亮	常勤	前期	火 5	14
PP3021	免疫学Ⅰ	石原 研治	常勤	後期	木 2	37
PP3022	免疫学Ⅱ	石原 研治	常勤	前期	水 1	34
PP3023	薬理学	石原 研治	常勤	前期	金 2	34
PP3027	臨床医学概論	古池 雄治	常勤	前期	水 2	34
PP3028	学校看護学概論	廣原 紀恵	常勤	前期	集中	37
PP3029	学校看護学実習	廣原 紀恵	常勤	前期	木 4-5	34
PP3030	学校救急看護	廣原 紀恵	常勤	前期	木 1	34
PP3031	学校救急看護実習	廣原 紀恵	常勤	後期	火 3-4	34
PP3032	学校救急看護演習Ⅰ	廣原 紀恵	常勤	後期	集中	33
PP3034	内科系臨床医学・看護学	古池 雄治	常勤	後期	木 5	34
PP3035	外科系臨床医学・看護学	古池 雄治	常勤	後期	木 1	34

(7)特別専門科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PP5504	インターンシップ	岩佐 淳一	常勤	通年	集中	0
PP5505	楽しい博物館—MUSEUM 入門—	田中 裕	常勤	後期	水 5	9
PP5510	文化財保存と博物館	田中 裕	常勤	前期	集中	10
PP5512	美術館ワークショップ実習	片口 直樹	常勤	前期	水 2	10

2-1-8-2 平成28年度以前入学者用

(1)教職に関する科目

a. 共通

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P0001	教育実践と教師	今泉 友里	常勤	前期	火 1	1
P0002	教育実践と教師	今泉 友里	常勤	前期	火 2	1
P0003	教育の本質と理念	小川 哲哉	常勤	後期	木 1	6
P0004	教育の本質と理念	小川 哲哉	常勤	前期	木 1	2
P0006	人間教育の心理学	丸山 広人	常勤	前期	木 1	9
P0007	人間教育の心理学	丸山 広人	常勤	後期	木 1	10
P0008	発達の理解Ⅰ	渡部 玲二郎	常勤	前期	木 3	7
P0009	発達の理解Ⅱ	村野井 均	常勤	後期	木 3	29
P0010	教育の制度と経営	加藤 崇英	常勤	前期	木 4	21
P0011	学校教育課程論	佐藤 環	常勤	後期	集中	0
P0012	学校教育課程論	佐藤 環	常勤	後期	集中	9
P0013	幼児教育課程論	佐藤 環	常勤	後期	集中	46
P0014	道徳と価値の教育	青柳 路子	常勤	前期	木 3	194
P0015	道徳と価値の教育	青柳 路子	常勤	前期	月 2	122
P0016	学習指導の方法	杉本 憲子	常勤	前期	火 4	38
P0017	教育の方法と技術	杉本 憲子	常勤	後期	火 4	13
P0020	生活指導の方法	生越 達	常勤	後期	木 2	0
P0021	生活指導の方法	生越 達	常勤	前期	木 2	0
P0022	生活指導の方法	生越 達	常勤	前期	木 2	22
P0023	生活指導の方法	生越 達	常勤	後期	木 2	10

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0024	学校教育相談	三輪 壽二	常勤	前期	木3	0
P0025	学校教育相談	三輪 壽二	常勤	前期	月2	0
P0026	学校教育相談	三輪 壽二	常勤	前期	月2	192
P0027	学校教育相談	三輪 壽二	常勤	前期	木3	111
P0028	幼児理解の理論と方法	村野井 均	常勤	前期	集中	44
P0029	社会教育	望月 厚志	常勤	後期	集中	6
P0030	生涯学習論	望月 厚志	常勤	前期	集中	12
P0031	学校経営と学校図書館	名城 邦孝	非常勤	前期	金2	29
P0032	学校図書館メディアの構成	名城 邦孝	非常勤	後期	金2	28
P0033	情報メディアの活用	速水 智子	非常勤	前期	集中	41
P0034	学習指導と学校図書館	名城 邦孝	非常勤	後期	集中	38
P0035	幼児教育の内容と方法	神永 直美	常勤	前期	月5	7
P0036	教職実践演習(教諭)	野崎 英明	常勤	後期	集中	268
P0037	教職実践演習(養護教諭)	青柳 直子	常勤	後期	集中	39

b. 初等教育の教科の指導法

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P0201	初等国語科教育法研究	昌子 佳広	常勤	前期	月3	6
P0202	初等国語科教育法研究	鈴木 一史	常勤	前期	月3	3
P0203	初等国語科教育法研究	昌子 佳広	常勤	後期	月3	4
P0204	初等国語科教育法研究	鈴木 一史	常勤	後期	月3	8
P0205	初等社会科教育法研究	木村 勝彦	常勤	前期	月5	13
P0206	初等社会科教育法研究	木村 勝彦	常勤	前期	火2	13
P0207	算数科教育法研究	小口 祐一	常勤	後期	木3	5
P0208	算数科教育法研究	根本 博	常勤	後期	木3	1
P0209	算数科教育法研究	小口 祐一	常勤	後期	火2	5
P0210	算数科教育法研究	根本 博	常勤	後期	火2	6
P0211	算数科教育法特講 I	久野 勝敬	非常勤	前期	水2	6
P0212	初等理科教育法研究	宮本 直樹	常勤	後期	水2	15
P0213	初等理科教育法研究	宮本 直樹	常勤	後期	火4	11
P0214	初等音楽科教育法研究	田中 健次	常勤	前期	月1	55
P0215	初等音楽科教育法研究	田中 健次	常勤	前期	月3	43
P0216	初等音楽科教育法研究	田中 健次	常勤	前期	火3	55
P0217	初等音楽科教育法研究	藤田 文子	常勤	前期	水2	60
P0218	初等音楽科教育法研究	藤田 文子	常勤	前期	金2	14
P0219	図画工作科教育法研究	向野 康江	常勤	後期	月5	8
P0220	図画工作科教育法研究	向野 康江	常勤	後期	月5	5
P0221	図画工作科教育法研究	金子 一夫	常勤	前期	月5	25
P0222	図画工作科教育法研究	金子 一夫	常勤	前期	月5	3
P0223	体育科教育法研究	勝本 真	常勤	前期	火1	49
P0224	体育科教育法研究	渡邊 将司	常勤	前期	火3	56
P0225	体育科教育法研究	篠田 明音	常勤	前期	木1	44
P0226	体育科教育法研究	松坂 晃	常勤	前期	木2	56
P0227	初等家庭科教育法研究	石島 恵美子	常勤	後期	火2	11
P0228	初等家庭科教育法研究	野中 美津枝	常勤	後期	木5	5
P0229	初等家庭科教育法研究	石島 恵美子	常勤	前期	木4	40
P0230	初等家庭科教育法研究	野中 美津枝	常勤	前期	火3	58
P0233	保育内容の研究(健康)	神永 直美	常勤	前期	水2	11
P0234	保育内容の研究(人間関係)	神永 直美	常勤	後期	火1	18
P0235	保育内容の研究(環境)	神永 直美	常勤	前期	火2	13
P0236	保育内容の研究(言葉)	神永 直美	常勤	前期	木5	15

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0237	保育内容の研究(表現)	神永 直美	常勤	後期	水 5	6
-------	-------------	-------	----	----	-----	---

c. 中等教育の教科の指導法

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P0301	国語科教育法研究	鈴木 一史	常勤	前期	木 1	2
P0302	国語科教育法特講 I	鈴木 一史	常勤	後期	金 3	0
P0303	国語科教育法特講 II	昌子 佳広	常勤	前期	月 5	24
P0304	国語科教育法演習 I	昌子 佳広	常勤	後期	木 5	3
P0307	書道科教育法研究 I	齋木 久美	常勤	前期	水 2	12
P0309	中等社会科教育法研究	村山 朝子	常勤	後期	木 5	2
P0310	社会科教育法特講 I	唐木 清志	非常勤	後期	集中	2
P0311	社会科教育法特講 II	村山 朝子	常勤	前期	水 2	1
P0312	社会科教育法演習 I	木村 勝彦	常勤	通年	月 4	5
P0313	社会科教育法演習 II	村山 朝子	常勤	通年	火 4	3
P0314	社会科教科論	村山 朝子	常勤	4Q	木 3-4	12
P0315	地理歴史科教育法研究 I	村山 朝子	常勤	前期	木 4	18
P0316	公民科教育法研究 I	木村 勝彦	常勤	前期	水 2	13
P0317	中等数学科教育法 I	根本 博	常勤	前期	金 2	34
P0318	中等数学科教育法 V	根本 博	常勤	4Q	金 2	16
P0319	中等数学科教育法 VI	小口 祐一	常勤	1Q	木 3	7
P0320	中等数学科教育法 II	久野 勝敬	非常勤	前期	木 2	26
P0321	中等数学科教育法 III	小口 祐一	常勤	1Q	火 3	28
P0322	中等数学科教育法 IV	根本 博	常勤	2Q	火 3	26
P0323	中等理科教育法 I	郡司 晴元	常勤	後期	月 5	1
P0324	中等理科教育法 II	郡司 晴元	常勤	前期	月 2	2
P0325	中等理科教育法 III	宮本 直樹	常勤	後期	集中	0
P0326	中等理科教育法 IV	宮本 直樹	常勤	前期	金 3	27
P0327	物理学実験指導法	矢島 裕介	常勤	後期	水 1	3
P0328	化学実験指導法	青島 政之	常勤	前期	月 4	7
P0331	理科教育演習 I	宮本 直樹	常勤	4Q	木 1-2	5
P0332	理科教育演習 II	宮本 直樹	常勤	通年	木 5	10
P0333	音楽科教育法研究 I	田中 健次	常勤	後期	月 3	0
P0334	音楽科教育法研究 II	田中 健次	常勤	前期	火 5	14
P0335	音楽科教育法研究 III	藤田 文子	常勤	前期	木 2	14
P0337	美術科教育法研究	金子 一夫	常勤	前期	火 2	0
P0338	美術科内容研究	向野 康江	常勤	後期	集中	1
P0339	美術科教科論	金子 一夫	常勤	後期	月 3	1
P0340	工芸科教育法研究	向野 康江	常勤	後期	集中	3
P0341	保健体育科教育法研究 I	吉野 聡	常勤	後期	集中	0
P0342	保健体育科教育法研究 II	大津 展子	常勤	後期	火 3	38
P0343	保健体育科教育法研究 III	青柳 直子	常勤	前期	金 1	19
P0344	陸上競技指導法	上地 勝	常勤	前期	火 2	7
P0346	ダンス・身体表現指導法	篠田 明音	常勤	後期	木 4	2
P0347	水泳指導法	富樫 泰一	常勤	前期	集中	20
P0348	バスケットボール指導法	加藤 敏弘	常勤	後期	火 2	12
P0352	ソフトボール指導法	渡邊 将司	常勤	前期	木 4	3
P0353	柔道指導法	中嶋 哲也	常勤	後期	金 2	0
P0355	野外運動指導法	富樫 泰一	常勤	前期	集中	0
P0356	スキー指導法	富樫 泰一	常勤	後期	集中	1
P0357	技術科教育法研究 I	大西 有	常勤	4Q	木 2	0

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0358	技術科教育法研究Ⅱ	大西 有	常勤	後期	木 4	0
P0359	技術科教科論	工藤 雄司	常勤	前期	火 2	0
P0360	技術科内容研究	大西 有	常勤	通年	木 2	9
P0361	技術科指導法(木材加工実習)	臼坂 高司	常勤	前期	月 4	10
P0362	技術科指導法(金属加工実習)	野崎 英明	常勤	前期	金 4	4
P0364	技術科教育演習	工藤 雄司	常勤	前期	水 1	7
P0365	技術科教育法特講Ⅰ	平井 総一郎	非常勤	後期	集中	2
P0366	技術科教育法特講Ⅱ	竹野 英敏	非常勤	後期	集中	0
P0368	中等家庭科教育法Ⅰ	野中 美津枝	常勤	前期	金 2	0
P0369	中等家庭科教育法Ⅱ	野中 美津枝	常勤	前期	水 2	1
P0370	中等家庭科教育法Ⅲ	野中 美津枝	常勤	後期	金 3	0
P0371	中等家庭科教育法Ⅳ	野中 美津枝	常勤	前期	木 4	15
P0372	家庭科教育学演習Ⅰ	石島 恵美子	常勤	4Q	水 2	3
P0373	家庭科教育学演習Ⅱ	野中 美津枝	常勤	4Q	水 2	3
P0374	情報科教育法Ⅰ	工藤 雄司	常勤	前期	月 5	11
P0376	英語科教育法研究Ⅰ	猪井 新一	常勤	前期	水 1	18
P0377	英語科教育法研究Ⅱ	齋藤 英敏	常勤	通年	集中	10
P0378	英語科内容研究	猪井 新一	常勤	後期	金 2	8
P0379	英語科教育法特講	齋藤 英敏	常勤	通年	集中	7
P0380	英語科教科論Ⅰ	猪井 新一	常勤	後期	木 2	0
P0381	英語科教科論Ⅱ	齋藤 英敏	常勤	前期	木 4	7
P0382	保健科教育法Ⅰ	青柳 直子	常勤	後期	火 3	0
P0383	保健科教育法Ⅱ	青柳 直子	常勤	前期	火 3	0
P0384	保健科教育法Ⅲ	青柳 直子	常勤	後期	火 2	0
P0385	保健科教育法Ⅳ	青柳 直子	常勤	前期	金 3	6

d. 教育実習

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P0601	教育実地研究入門	関係教員	-	通年	集中	0
P0602	教育実地研究入門	関係教員	-	通年	集中	0
P0603	教育実地研究入門	関係教員	-	通年	集中	0
P0604	教育実践研究	関係教員	-	通年	集中	0
P0605	教育実地研究入門Ⅰ	関係教員	-	通年	集中	4
P0606	教育実地研究入門Ⅱ	関係教員	-	通年	火 4	0
P0607	教育実地研究入門Ⅱ	関係教員	-	通年	火 5	29
P0607	教育実地研究入門Ⅱ	関係教員	-	通年	火 5	0
P0608	初等教育実地研究Ⅰ	関係教員	-	通年	集中	0
P0609	中等教育実地研究Ⅰ	関係教員	-	通年	集中	0
P0610	初等教育実地研究Ⅰ	関係教員	-	通年	集中	134
P0611	中等教育実地研究Ⅰ	関係教員	-	通年	集中	92
P0612	初等教育実地研究Ⅱ	関係教員	-	通年	集中	93
P0613	中等教育実地研究Ⅱ	関係教員	-	通年	集中	130
P0615	中等教育実地研究Ⅲ	関係教員	-	通年	集中	17
P0616	中等教育実地研究Ⅳ	関係教員	-	通年	集中	1
P0617	中等教育実地研究Ⅴ	関係教員	-	通年	集中	1
P0618	中等教育実地研究Ⅵ	関係教員	-	通年	集中	35
P0619	特別支援教育実地研究	関係教員	-	通年	集中	0
P0620	特別支援教育実地研究	関係教員	-	通年	集中	21
P0621	特別支援教育実地研究	関係教員	-	通年	集中	20
P0622	幼児教育実地研究Ⅰ	関係教員	-	通年	集中	14

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0623	幼児教育実地研究Ⅱ	関係教員	-	通年	集中	3
P0624	養護実地研究入門	関係教員	-	通年	集中	2
P0625	養護実践研究Ⅰ	関係教員	-	通年	集中	2
P0627	養護実践研究Ⅲ	関係教員	-	通年	集中	31
P0628	養護教育実地研究Ⅰ	関係教員	-	通年	集中	38
P0629	養護教育実地研究Ⅱ	関係教員	-	通年	集中	38
P0630	養護教育実地研究Ⅲ	関係教員	-	通年	集中	2

(2)教科又は教職に関する科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P0701	特別なニーズをもつ子どもの教育	荒川 智	常勤	2Q	火 3	24
P0703	環境教育論	郡司 晴元	常勤	前期	金 4	25
P0704	食生活と健康	西川 陽子	常勤	前期	金 3	43
P0706	ものづくり体験	野崎 英明	常勤	前期	水 2	23
P0707	コミュニケーション演習	武者小路 澄子	非常勤	後期	水 2	22
P0708	こころを育てるグループワーク	正保 春彦	常勤	後期	木 3	13
P0710	現代教育の実践的課題	野崎 英明	常勤	後期	集中	107
P0712	小学校英語ⅠA	猪井 新一	常勤	後期	金 3	7
P0713	小学校英語ⅠA	下 薫	非常勤	後期	金 3	1
P0714	小学校英語ⅠB	小林 翔	常勤	後期	金 1	8
P0715	小学校英語ⅡA	下 薫	非常勤	1Q	金 3	3
P0716	小学校英語ⅡB	下 薫	非常勤	4Q	金 4	2
P0717	読書と豊かな人間性	昌子 佳広	常勤	前期	火 2	37
P0718	郷土の言葉	川嶋 秀之	常勤	後期	金 3	2
P0720	憲法と社会生活	中野 雅紀	常勤	後期	木 5	0
P0721	茨城の歴史と文化	小野寺 淳	常勤	後期	金 2	11
P0722	地域へのアプローチ	小野寺 淳	常勤	通年	集中	0
P0723	言語と文化の諸相	君塚 淳一	常勤	通年	集中	6
P0724	音楽通論Ⅱ	山口 哲人	常勤	後期	水 2	1
P0725	現代音楽へのいざない	山口 哲人	常勤	前期	火 4	18
P0726	デッサンの基礎Ⅰ	島 剛	常勤	1Q	月 4-5	1
P0727	デッサンの基礎Ⅱ	島 剛	常勤	2Q	月 4-5	2
P0728	石膏デッサン	片口 直樹	常勤	後期	金 2	0
P0731	美術教育授業研究Ⅱ	片口 直樹	常勤	前期	水 2	14
P0734	住居環境学	乾 康代	常勤	後期	木 2	2
P0735	住環境計画学	乾 康代	常勤	前期	金 2	2
P0736	小児・思春期保健学	青柳 直子	常勤	前期	金 5	1

(3)教科に関する科目

a. 小学校

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P0801	初等国語科内容研究	増子 和男	常勤	後期	火 3	8
P0802	初等書写内容研究	齋木 久美	常勤	1Q	木 4	3
P0803	初等社会科内容研究	大島 規江	常勤	4Q	月 2	10
P0805	算数科内容研究	松村 初	常勤	後期	水 2	9
P0807	初等理科内容研究	青島 政之	常勤	後期	水 3	10
P0810	生活科内容研究	大西 有	常勤	後期	集中	8
P0812	初等音楽科内容研究	田中 宏明	常勤	4Q	火 3 木 5	9
P0816	図画工作科内容研究	甲斐 教行	常勤	前期	火 2	38

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0817	図画工作科内容研究	島田 裕之	常勤	前期	金 2	21
P0818	図画工作科内容研究	向野 康江	常勤	前期	月 4	18
P0819	初等家庭科内容研究	石島 恵美子	常勤	前期	火 3.5	4
P0823	体育科内容研究	渡邊 將司	常勤	後期	集中	3
P0824	体育科内容研究	渡邊 將司	常勤	後期	集中	1

b. 中学校

国語

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P0901	国語学概論	川嶋 秀之	常勤	前期	月 5	2
P0902	国語表現法	川嶋 秀之	常勤	後期	水 2	0
P0903	国語学演習 I	川嶋 秀之	常勤	前期	木 4	6
P0904	国語学演習 II	川嶋 秀之	常勤	前期	月 3	18
P0906	国文学史	宮崎 尚子	常勤	後期	水 1	1
P0907	古典文学研究 I	栗山 元子	非常勤	通年	集中	35
P0911	近・現代韻文演習 I	宮崎 尚子	常勤	前期	金 3	0
P0912	近・現代韻文演習 II	宮崎 尚子	常勤	後期	金 2	0
P0913	近・現代散文研究 I	宮崎 尚子	常勤	前期	金 4	20
P0914	近・現代散文研究 II	宮崎 尚子	常勤	4Q	金 3-4	9
P0916	漢文学基礎	増子 和男	常勤	後期	木 2	2
P0917	漢文学概論	増子 和男	常勤	前期	月 2	6
P0918	漢文学研究法 I	増子 和男	常勤	前期	水 2	4
P0919	漢文学研究法 II	増子 和男	常勤	前期	木 2	10
P0920	漢文学演習 I	増子 和男	常勤	後期	木 4	9
P0923	書道 I	齋木 久美	常勤	前期	金 3	1
P0924	書道 II	齋木 久美	常勤	後期	金 2	1
P0925	書道 III	齋木 久美	常勤	前期	金 2	4
P0927	書論	齋木 久美	常勤	4Q	水 1-2	14
P0928	鑑賞	齋木 久美	常勤	4Q	火 4-5	16
P0930	かな書法研究	齋木 久美	常勤	前期	水 1	10
P0931	書道史	齋木 久美	常勤	前期	火 5	21

社会

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1003	基礎地理	大島 規江	常勤	前期	月 2	0
P1004	日本史概説 I	浅野 充	非常勤	後期	集中	2
P1005	日本史概説 II	千葉 真由美	常勤	後期	金 3	2
P1006	日本史特講 I	千葉 真由美	常勤	前期	金 2	3
P1007	日本史特講 II	高橋 修	常勤	後期	金 5	3
P1008	日本史特講 III	添田 仁	常勤	後期	火 2	14
P1009	日本史特講 IV	佐々木 啓	常勤	前期	水 2	0
P1010	日本史演習	千葉 真由美	常勤	通年	火 4	8
P1011	歴史学特別演習	千葉 真由美	常勤	後期	集中	11
P1012	民俗学特講	塚原 伸治	常勤	後期	木 3	6
P1013	考古学特講	田中 裕	常勤	後期	金 2	5
P1014	西洋史概説 I	藤崎 衛	非常勤	前期	月 5	5
P1019	西洋史特講 IV	森下 嘉之	常勤	前期	金 1	0
P1021	西洋史演習 II	森下 嘉之	常勤	通年	木 5	0
P1022	東洋史概説	澁谷 浩一	常勤	後期	火 5	1

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1024	東洋史特講Ⅱ	山田 桂子	常勤	後期	木 2	1
P1025	東洋史演習Ⅰ	澁谷 浩一	常勤	後期	金 3	2
P1026	東洋史演習Ⅱ	山田 桂子	常勤	通年	月 5	0
P1027	人文地理学Ⅰ	小野寺 淳	常勤	後期	木 2	0
P1028	人文地理学Ⅲ	Chienwei YEH	常勤	後期	火 3	0
P1029	人文地理学Ⅳ	小原 規宏	常勤	前期	火 4	7
P1030	人文地理学Ⅴ	Chienwei YEH	常勤	前期	火 3	0
P1031	人文地理学Ⅵ	堤 純	非常勤	後期	月 4	0
P1032	歴史地理学Ⅰ	小野寺 淳	常勤	前期	木 2	12
P1034	人文地理学演習	小野寺 淳	常勤	通年	火 5	8
P1035	地理学研究法	大島 規江	常勤	前期	木 3	0
P1037	自然地理学Ⅰ	甲斐 憲次	常勤	後期	金 4	5
P1038	自然地理学Ⅱ	甲斐 憲次	常勤	前期	月 5	8
P1039	自然地理学Ⅲ	宋 苑瑞	非常勤	前期	木 1	0
P1040	自然地理学演習	甲斐 憲次	常勤	通年	月 4	2
P1042	地誌学Ⅰ	横山 貴史	非常勤	後期	集中	0
P1043	地誌学Ⅱ	小原 規宏	常勤	前期	木 4	8
P1044	地誌学Ⅲ	大島 規江	常勤	後期	水 2	2
P1046	地誌学演習	大島 規江	常勤	通年	火 5	9
P1047	地理学野外実習Ⅲ	大島 規江	常勤	通年	集中	17
P1048	法と社会	中野 雅紀	常勤	前期	木 5	1
P1049	法学概論	中野 雅紀	常勤	後期	月 5	0
P1050	法学演習	中野 雅紀	常勤	通年	火 5	6
P1051	法学特論(日本国憲法)	中野 雅紀	常勤	通年	集中	0
P1054	政治学概論	蓮井 誠一郎	常勤	前期	金 4	2
P1058	マス・コミュニケーション論	岩佐 淳一	常勤	前期	月 2	1
P1059	社会学特講	岩佐 淳一	常勤	前期	木 1	14
P1060	社会福祉論	渋谷 敦司	常勤	前期	金 2	13
P1067	哲学概論Ⅱ	伊藤 聡	常勤	前期	金 2	0
P1069	哲学演習	渡邊 邦夫	常勤	後期	月 3	0
P1070	倫理学概論	樋口 達郎	非常勤	前期	金 4	1

英語

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1101	英語学概論Ⅰ	安原 正貴	常勤	後期	金 5	3
P1102	英語学概論Ⅱ	安原 正貴	常勤	前期	月 1	23
P1103	英文法	安原 正貴	常勤	前期	金 4	6
P1107	英語学演習Ⅰ	安原 正貴	常勤	後期	金 4	0
P1108	英語学演習Ⅱ	安原 正貴	常勤	4Q	金 3	5
P1109	英米文学概論Ⅰ	小林 英美	常勤	前期	木 3	0
P1110	英米文学概論Ⅱ	君塚 淳一	常勤	前期	木 5	3
P1111	英米文学特講Ⅰ	小林 英美	常勤	前期	水 2	14
P1112	英米文学特講Ⅱ	小林 英美	常勤	前期	火 4	11
P1113	英米文学特講Ⅲ	君塚 淳一	常勤	4Q	木 4	2
P1114	英米文学特講Ⅳ	君塚 淳一	常勤	前期	月 4	7
P1115	英米文学演習Ⅰ	小林 英美	常勤	後期	木 5	3
P1116	英米文学演習Ⅱ	小林 英美	常勤	4Q	月 4	0
P1117	英米文学演習Ⅲ	君塚 淳一	常勤	前期	月 5	0
P1118	英米文学演習Ⅳ	君塚 淳一	常勤	4Q	木 1	2
P1119	英米文学・文化から教える英語テキスト	君塚 淳一	常勤	後期	月 5	3

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1120	英語コミュニケーションⅠ	トゥール ティモシー	非常勤	前期	金1	0
P1121	英語コミュニケーションⅡ	トゥール ティモシー	非常勤	後期	水1	0
P1122	英語コミュニケーションⅢ	小林 翔	常勤	後期	月2	1
P1123	英語コミュニケーションⅣ	マクナス ケビン	非常勤	前期	月2	0
P1124	英語コミュニケーションⅥ	マクナス ケビン	非常勤	後期	月2	0
P1125	英語コミュニケーションⅦ	TOLLEFSON TOD	非常勤	後期	水2	0
P1126	英語コミュニケーションⅧ	-	-	4Q		0
P1127	英語コミュニケーションⅨ	齋藤 英敏	常勤	前期	金2	0
P1128	英語コミュニケーションⅩ	Gina Fidalgo	非常勤	前期	月3	16
P1129	英語コミュニケーションⅩⅡ	齋藤 英敏	常勤	前期	金4	5
P1130	異文化理解	小林 英美	常勤	後期	集中	2
P1131	異文化間コミュニケーション	月塚 淳一	常勤	通年	集中	5

数学

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1201	代数学の基礎Ⅰ	吉井 豊	常勤	前期	金5	5
P1202	代数学の基礎Ⅱ	吉井 豊	常勤	後期	金5	1
P1203	代数学A	吉井 豊	常勤	前期	金2	4
P1204	代数学B	吉井 豊	常勤	後期	金2	6
P1205	代数学C	松村 初	常勤	4Q	木3	20
P1206	代数学D	吉井 豊	常勤	4Q	金3	13
P1208	幾何学の基礎Ⅰ	栗原 博之	常勤	前期	火2	8
P1210	幾何学A	栗原 博之	常勤	前期	金5	11
P1211	幾何学B	栗原 博之	常勤	後期	金5	6
P1212	幾何学C	栗原 博之	常勤	前期	金4	6
P1213	幾何学D	栗原 博之	常勤	4Q	金4	4
P1214	解析学の基礎Ⅰ	梅津 健一郎	常勤	前期	月4	12
P1215	解析学の基礎Ⅱ	梅津 健一郎	常勤	後期	水2	5
P1216	解析学A	梅津 健一郎	常勤	前期	水2	16
P1217	解析学B	梅津 健一郎	常勤	後期	月4	11
P1218	解析学C	梅津 健一郎	常勤	前期	火4	20
P1219	解析学D	梅津 健一郎	常勤	4Q	火4	11
P1220	確率統計概論	松村 初	常勤	前期	金1	33
P1221	コンピュータ概論	松村 初	常勤	4Q	木4-5	29

理科

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1301	物理学概論	永尾 敬一	常勤	前期	火2	8
P1302	電磁気学	永尾 敬一	常勤	前期	水2	4
P1303	量子力学	矢島 裕介	常勤	前期	水1	3
P1305	物理学演習Ⅰ	矢島 裕介	常勤	4Q	木1-2	4
P1306	物理学演習Ⅱ(4単位)	矢島 裕介	常勤	通年	木5	3
P1307	物理学実験Ⅰ	矢島 裕介	常勤	後期	水1-2	2
P1309	化学概論	青島 政之	常勤	後期	金2	1
P1312	無機物理化学	青島 政之	常勤	前期	木2	11
P1313	化学演習Ⅰ(2単位)	青島 政之	常勤	4Q	木1-2	5
P1314	化学演習Ⅱ(4単位)	青島 政之	常勤	通年	木5	7
P1315	化学実験Ⅰ	青島 政之	常勤	前期	月4-5	1
P1317	生物学概論	栗田 孝晴	常勤	後期	木2	1

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1322	動物学	棗田 孝晴	常勤	前期	金 1	20
P1324	生物学演習 I (2単位)	棗田 孝晴	常勤	4Q	木 1-2	4
P1325	生物学演習 II (4単位)	棗田 孝晴	常勤	通年	木 5	2
P1327	生物学実験	棗田 孝晴	常勤	前期	月 4-5	21
P1328	地学概論	上栗 伸一	常勤	前期	木 2	2
P1329	環境地球科学	伊藤 孝	常勤	後期	金 1	1
P1330	岩石学	伊藤 孝	常勤	前期	水 2	9
P1331	地質学	上栗 伸一	常勤	後期	金 2	5
P1333	気象学	伊藤 孝	常勤	前期	金 2	20
P1334	地学演習 I (2単位)	伊藤 孝	常勤	4Q	木 1-2	5
P1335	地学演習 II (4単位)	伊藤 孝	常勤	通年	木 5	1
P1336	地学実験	伊藤 孝	常勤	前期	金 3-4	1
P1337	地学野外実習	伊藤 孝	常勤	前期	集中	0

音楽

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1401	ピアノ	田中 宏明	常勤	前期	木 3	0
P1402	ピアノ	田中 宏明	常勤	後期	水 1	0
P1403	ピアノ	神部 智	常勤	前期	金 3	0
P1404	ピアノ	神部 智	常勤	後期	金 2	0
P1405	ピアノ	田中 宏明	常勤	前期	火 2	0
P1406	ピアノ	田中 宏明	常勤	後期	木 1	0
P1407	ピアノ	神部 智	常勤	前期	金 2	0
P1408	ピアノ	神部 智	常勤	後期	木 4	0
P1409	ピアノ	田中 宏明	常勤	前期	水 2	5
P1410	ピアノ	田中 宏明	常勤	4Q	火 2	5
P1411	管打楽器	曾我部 清典	非常勤	前期	水 3	3
P1413	管打楽器	曾我部 清典	非常勤	後期	水 3-4	3
P1415	弦楽器	野末 あけみ	非常勤	後期	集中	8
P1416	合奏	山口 哲人	常勤	1Q	火 1	14
P1418	独唱	谷川 佳幸	常勤	前期	木 2	0
P1419	独唱	谷川 佳幸	常勤	後期	金 1	0
P1420	独唱	藤田 文子	常勤	前期	金 4	0
P1421	独唱	藤田 文子	常勤	後期	金 1	0
P1422	独唱	谷川 佳幸	常勤	前期	木 1	0
P1423	独唱	谷川 佳幸	常勤	後期	金 2	0
P1424	独唱	藤田 文子	常勤	前期	金 5	0
P1425	独唱	藤田 文子	常勤	後期	金 2	0
P1426	独唱	谷川 佳幸	常勤	前期	木 4	5
P1427	独唱	谷川 佳幸	常勤	4Q	水 1	5
P1428	合唱	谷川 佳幸	常勤	前期	木 5	14
P1429	日本音楽(箏唄)	大須賀 佳緒里	非常勤	後期	集中	1
P1430	ソルフェージュ I	山口 哲人	常勤	前期	水 1	0
P1431	ソルフェージュ II	田中 宏明	常勤	後期	木 2	0
P1432	指揮法	山口 哲人	常勤	2Q	火 1	14
P1433	和声学	山口 哲人	常勤	前期	月 2	1
P1434	対位法	山口 哲人	常勤	前期	月 3	14
P1435	作曲法	山口 哲人	常勤	前期	月 4	14
P1436	作曲特別演習 I	山口 哲人	常勤	前期	月 5	0
P1437	作曲特別演習 II (1単位)	山口 哲人	常勤	4Q	月 4	0

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1438	音楽史	神部 智	常勤	前期	木 4	1
P1439	音楽学	神部 智	常勤	後期	金 3	1
P1440	音楽学特別演習 I	神部 智	常勤	前期	水 2	0
P1441	音楽学特別演習 II (1単位)	神部 智	常勤	4Q	水 2	0
P1442	音楽教育特別演習 I	田中 健次	常勤	前期	水 2	0
P1443	音楽教育特別演習 II (1単位)	田中 健次	常勤	4Q	水 1	0
P1444	音楽教育特別演習 III	藤田 文子	常勤	前期	水 1	0
P1445	音楽教育特別演習 IV (1単位)	藤田 文子	常勤	4Q	水 2	0

美術

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1501	絵画基礎	片口 直樹	常勤	1Q	金 3-4	1
P1502	絵画 I	片口 直樹	常勤	2Q	金 4-5	0
P1503	絵画 II	片口 直樹	常勤	前期	木 1	0
P1504	絵画表現演習 I	片口 直樹	常勤	前期	金 1	6
P1505	絵画表現演習 II	片口 直樹	常勤	通年	集中	6
P1506	彩画特別演習	片口 直樹	常勤	後期	集中	2
P1507	絵画特別演習	片口 直樹	常勤	前期	集中	0
P1508	彫刻基礎	島 剛	常勤	2Q	金 3-4	0
P1509	彫刻 I	島 剛	常勤	1Q	金 4-5	0
P1511	彫刻表現演習 I	島 剛	常勤	前期	金 1	6
P1512	彫刻表現演習 II	島 剛	常勤	通年	集中	3
P1514	彫刻特別演習	島 剛	常勤	後期	集中	4
P1515	デザイン基礎	島田 裕之	常勤	後期	木 2	0
P1516	デザイン I	島田 裕之	常勤	後期	金 4	0
P1518	デザイン表現演習 I	島田 裕之	常勤	前期	木 5	5
P1519	デザイン表現演習 II	島田 裕之	常勤	後期	集中	5
P1520	デザイン特別演習	島田 裕之	常勤	前期	集中	4
P1521	工芸基礎	石黒 美男	非常勤	後期	木 5	0
P1522	工芸 I	石黒 美男	非常勤	後期	集中	0
P1527	西洋美術史 I	甲斐 教行	常勤	前期	火 5	2
P1528	西洋美術史 II	甲斐 教行	常勤	後期	火 5	0
P1529	日本美術史 I	小泉 晋弥	常勤	前期	木 1	1
P1530	日本美術史 II	小泉 晋弥	常勤	後期	木 5	1
P1531	西洋美術史特別演習 I	甲斐 教行	常勤	前期	木 2	9
P1532	西洋美術史特別演習 II	甲斐 教行	常勤	後期	集中	10
P1533	日本美術史特別演習 I	小泉 晋弥	常勤	前期	月 3	5
P1534	日本美術史特別演習 II	小泉 晋弥	常勤	通年	集中	3
P1535	日本美術実地研究	小泉 晋弥	常勤	通年	集中	13
P1538	デザイン理論	齋藤 芳徳	常勤	前期	火 3	4
P1539	美術批評論	小泉 晋弥	常勤	前期	火 2	13
P1541	美術教育特別演習 A I	小口 あや	常勤	前期	火 5	4
P1542	美術教育特別演習 B I	向野 康江	常勤	前期	火 5	4
P1543	美術教育特別演習 A II	小口 あや	常勤	後期	集中	4
P1544	美術教育特別演習 B II	向野 康江	常勤	後期	集中	3

体育

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1601	陸上競技	上地 勝	常勤	前期	火 2	24

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1602	ギムナスティック	清水 満	非常勤	前期	金 4	20
P1603	ダンス・身体表現	篠田 明音	常勤	後期	木 4	20
P1604	水泳	富樫 泰一	常勤	前期	集中	0
P1605	バスケットボール	加藤 敏弘	常勤	後期	火 2	0
P1606	ソフトボール	渡邊 将司	常勤	前期	木 4	1
P1609	卓球・テニス	日下 裕弘	非常勤	後期	月 4	11
P1610	柔道	中嶋 哲也	常勤	後期	金 2	0
P1612	野外運動	富樫 泰一	常勤	前期	集中	3
P1613	スキー	渡邊 将司	常勤	後期	集中	0
P1614	体育学概論	中嶋 哲也	常勤	前期	金 3	0
P1615	体育史	中嶋 哲也	常勤	前期	金 1	0
P1616	測定評価	渡邊 将司	常勤	後期	木 2	4
P1617	スポーツ心理学	東海林 祐子	非常勤	前期	集中	0
P1620	体育スポーツ社会学	日下 裕弘	非常勤	後期	月 2	14
P1621	運動学概論	勝本 真	常勤	前期	木 3	0
P1622	トレーニング法	渡邊 将司	常勤	後期	月 2	1
P1624	コーチング論Ⅱ	勝本 真	常勤	前期	木 2	19
P1625	陸上競技方法論	上地 勝	常勤	前期	火 1	22
P1627	ダンス・身体表現方法論	篠田 明音	常勤	後期	木 3	1
P1628	ボールゲーム方法論	勝本 真	常勤	前期	月 4	20
P1629	武道方法論	中嶋 哲也	常勤	後期	金 1	0
P1630	生理学概論(保健体育選修)	松坂 晃	常勤	前期	月 4	1
P1632	スポーツ医学	辰村 正紀	非常勤	後期	集中	10
P1634	運動処方論	松坂 晃	常勤	前期	月 3	20
P1636	スポーツ栄養学	古旗 照美	非常勤	前期	集中	0
P1637	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	常勤	後期	金 4	1
P1638	健康調査解析法	上地 勝	常勤	前期	金 3	15
P1639	学校保健概論	上地 勝	常勤	前期	月 2	22
P1640	救急処置法	富樫 泰一	常勤	通年	集中	3
P1641	保健体育総合演習	渡邊 将司	常勤	前期	集中	17
P1642	保健体育特別演習Ⅰ	渡邊 将司	常勤	後期	集中	19
P1643	保健体育特別演習Ⅱ	渡邊 将司	常勤	前期	集中	18

技術

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1701	製図Ⅰ	堤 一郎	常勤	1Q	木 3	3
P1702	基礎木材加工	臼坂 高司	常勤	前期	火 3	0
P1703	木材加工の基礎技術	臼坂 高司	常勤	前期	月 4-5	0
P1704	木材加工の応用技術	臼坂 高司	常勤	3Q	水 1-2	0
P1705	木材加工学	臼坂 高司	常勤	後期	火 5	0
P1706	木材加工演習	臼坂 高司	常勤	前期	水 1	3
P1707	製図Ⅱ	野崎 英明	常勤	2Q	木 3	3
P1708	基礎金属加工	野崎 英明	常勤	後期	金 2	2
P1709	金属加工の基礎技術	野崎 英明	常勤	前期	金 4-5	0
P1710	金属加工の応用技術	野崎 英明	常勤	4Q	金 4-5	0
P1711	金属加工学	野崎 英明	常勤	前期	火 5	0
P1712	金属加工演習	野崎 英明	常勤	前期	木 4	3
P1713	基礎機械工学	堤 一郎	常勤	後期	火 1	0
P1714	機械の基礎技術	堤 一郎	常勤	前期	火 4-5	19
P1715	機械の応用技術	堤 一郎	常勤	4Q	木 1-2	2

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1716	機械工学	堤 一郎	常勤	前期	金 2	3
P1718	基礎電気	榊 守	常勤	後期	木 5	1
P1719	電気の基礎技術	榊 守	常勤	前期	木 4-5	0
P1720	電気の応用技術	榊 守	常勤	3Q	金 3-4	0
P1721	電気工学	榊 守	常勤	前期	金 2	1
P1722	電気工学演習	榊 守	常勤	前期	水 1	0
P1723	基礎栽培学	大西 有	常勤	前期	金 2	0
P1724	栽培の基礎技術	大西 有	常勤	前期	月 3-4	19
P1725	栽培の応用技術	大西 有	常勤	4Q	月 3-4	4
P1726	栽培学	大西 有	常勤	前期	月 2	0
P1727	栽培演習	大西 有	常勤	前期	水 1	5
P1728	基礎情報処理	工藤 雄司	常勤	4Q	水 1-2	17
P1729	情報処理の基礎技術 I	工藤 雄司	常勤	前期	木 1	20
P1730	情報処理の基礎技術 II	佐々木 忠之	常勤	前期	金 4	19
P1731	情報処理の応用技術	佐々木 忠之	常勤	4Q	金 4-5	0
P1732	情報教育研究法	工藤 雄司	常勤	後期	集中	4
P1734	職業指導原論	工藤 雄司	常勤	後期	集中	11

家庭

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1801	食物学概論	西川 陽子	常勤	前期	火 1	2
P1802	食品衛生管理学	西川 陽子	常勤	後期	集中	1
P1803	食生活論	西川 陽子	常勤	前期	木 5	0
P1804	栄養学	西川 陽子	常勤	後期	金 4	1
P1805	食物学演習	西川 陽子	常勤	4Q	水 2	2
P1806	調理学基礎	石島 恵美子	常勤	3Q	金 1-2	0
P1808	被服学概論	木村 美智子	常勤	後期	火 2	1
P1809	衣生活論	木村 美智子	常勤	前期	木 4	2
P1810	被服環境学	木村 美智子	常勤	後期	集中	5
P1811	アパレル科学	木村 美智子	常勤	前期	火 4	10
P1812	被服学演習	木村 美智子	常勤	4Q	水 2	4
P1813	被服構成学基礎	木村 美智子	常勤	前期	水 1	1
P1814	被服構成学応用	米今 由希子	非常勤	後期	集中	0
P1815	住居学概論	乾 康代	常勤	前期	金 5	1
P1816	住居デザイン I	乾 康代	常勤	後期	金 5	0
P1817	住居デザイン II	乾 康代	常勤	前期	木 5	0
P1818	住居学演習	乾 康代	常勤	4Q	火 3	2
P1819	保育学概論	数井 みゆき	常勤	前期	木 3	0
P1820	養育環境学	数井 みゆき	常勤	4Q	月 5	4
P1821	親子関係学	数井 みゆき	常勤	前期	月 4	7
P1822	保育学演習	数井 みゆき	常勤	4Q	月 4	3
P1823	家庭経営学概論	佐藤 裕紀子	常勤	前期	金 4	1
P1824	家事労働論	佐藤 裕紀子	常勤	後期	金 2	1
P1825	現代家族論	佐藤 裕紀子	常勤	後期	木 3	2
P1826	家族とジェンダー	佐藤 裕紀子	常勤	前期	火 2	17
P1827	家庭経営学演習	佐藤 裕紀子	常勤	4Q	木 2	2
P1828	家庭電気・機械	榊 守	常勤	後期	集中	0
P1829	家庭情報処理	工藤 雄司	常勤	後期	集中	0

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

教育基礎

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1901	教育哲学	青柳 路子	常勤	後期	月 4	0
P1902	教育哲学特講	小川 哲哉	常勤	後期	月 5	1
P1903	教育思想	青柳 路子	常勤	前期	月 4	5
P1906	教育史演習Ⅱ	佐藤 環	常勤	後期	金 2	0
P1907	教育史特講	佐藤 環	常勤	前期	金 1	0
P1908	教育行政特講	加藤 崇英	常勤	通年	集中	0
P1910	社会教育計画Ⅰ	佐々木 尚毅	非常勤	前期	集中	2
P1911	社会教育計画Ⅱ	佐々木 尚毅	非常勤	後期	集中	12
P1912	社会教育演習	佐々木 尚毅	非常勤	前期	集中	12
P1913	社会教育実習	望月 厚志	常勤	通年	集中	0
P1914	社会教育課題研究	佐々木 尚毅	非常勤	後期	集中	10
P1915	学習指導演習	杉本 憲子	常勤	前期	金 4	7
P1917	教育的関係論特講	生越 達	常勤	前期	木 3	3
P1918	学習指導特講	杉本 憲子	常勤	後期	金 4	3
P1919	教育課程演習	打越 正貴	常勤	前期	月 3	1

(4)高等学校「情報」

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P1951	情報社会及び情報倫理	本村 猛能	非常勤	後期	集中	5
P1953	情報技術演習Ⅰ	佐々木 忠之	常勤	前期	集中	5
P1954	情報技術演習Ⅱ	佐々木 忠之	常勤	後期	集中	3
P1955	情報処理技術	佐々木 忠之	常勤	前期	木 2	7
P1956	情報システム	工藤 雄司	常勤	通年	集中	6
P1957	情報システム演習	田村 俊之	非常勤	後期	集中	11
P1958	情報通信ネットワーク	工藤 雄司	常勤	4Q	火 1-2	15
P1959	情報通信ネットワーク演習	工藤 雄司	常勤	前期	月 2	0
P1961	マルチメディア表現の理論及び演習	小泉 晋弥	常勤	後期	集中	9
P1962	情報編集法	関 友作	常勤	前期	木 1	3
P1963	シミュレーション技法	野崎 英明	常勤	前期	金 3	10
P1964	データ解析法	関 友作	常勤	後期	木 1	7
P1965	静止画像処理	島田 裕之	常勤	4Q	火 3	6

(5)特別支援教育に関する科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P2101	特別支援教育原論	荒川 智	常勤	前期	月 5	36
P2102	障害児教育学演習Ⅰ	荒川 智	常勤	後期	集中	3
P2103	障害児教育学演習Ⅱ	新井 英靖	常勤	後期	集中	4
P2104	特別支援教育研究法	田原 敬	常勤	前期	水 1	22
P2105	知的障害児の心理	細川 美由紀	常勤	前期	月 4	43
P2106	知的障害児の生理	勝二 博亮	常勤	前期	火 5	36
P2108	障害児心理学演習Ⅰ	細川 美由紀	常勤	後期	集中	6
P2109	障害児心理学演習Ⅱ	東條 吉邦	常勤	通年	集中	0
P2110	障害児生理学演習Ⅰ	田原 敬	常勤	通年	集中	9
P2111	障害児生理学演習Ⅱ	勝二 博亮	常勤	後期	集中	2
P2112	肢体不自由児の生理	岡澤 慎一	非常勤	前期	集中	6
P2113	病弱児の生理	勝二 博亮	常勤	前期	火 4	15
P2114	知的障害児の教育方法	新井 英靖	常勤	1Q	火 1-2	42

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P2115	知的障害児教育実践論	新井 英靖	常勤	2Q	火 1-2	41
P2118	障害児心理診断法	細川 美由紀	常勤	前期	金 3	10
P2120	肢体不自由児の教育方法	新井 英靖	常勤	前期	月 2	5
P2121	病弱児の教育方法	新井 英靖	常勤	前期	月 3	9
P2122	聴覚言語病理	田原 敬	常勤	後期	金 1	6
P2123	感覚障害児の教育	田原 敬	常勤	通年	集中	1
P2124	重度重複障害児教育論	新井 英靖	常勤	1Q	木 2	2
P2125	重度重複障害児教育実践論	新井 英靖	常勤	前期	集中	0
P2126	発達障害児教育概論	細川 美由紀	常勤	後期	金 3	35
P2127	障害児生理機能評価法	勝二 博亮	常勤	後期	金 5	16
P2128	障害児教育総論	荒川 智	常勤	1Q	火 3	2

(6) 養護に関する科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P3001	衛生学	瀧澤 利行	常勤	前期	金 2	38
P3002	公衆衛生学	瀧澤 利行	常勤	前期	火 5	39
P3003	保健福祉論	瀧澤 利行	常勤	前期	水 2	3
P3004	保健学演習	青柳 直子	常勤	4Q	火 4-5	23
P3005	学校保健概論	瀧澤 利行	常勤	前期	金 5	0
P3006	小児健康運動学	松坂 晃	常勤	前期	金 4	24
P3007	学校環境衛生	瀧澤 利行	常勤	3Q	金 3	1
P3008	養護学概論	斉藤 ふくみ	常勤	後期	火 2	3
P3009	養護実践論	斉藤 ふくみ	常勤	前期	月 3	2
P3010	養護活動と関連法規	瀧澤 利行	常勤	4Q	金 2-3	32
P3011	養護活動演習 I	斉藤 ふくみ	常勤	後期	月 3	2
P3012	養護活動演習 II	斉藤 ふくみ	常勤	前期	木 1	36
P3013	学校ヘルスカウンセリング	人見 健太郎	非常勤	後期	集中	0
P3014	健康相談活動	斉藤 ふくみ	常勤	前期	火 3	40
P3015	栄養学	西川 陽子	常勤	後期	月 5	41
P3016	解剖生理学	石原 研治	常勤	前期	金 1	3
P3017	解剖生理学演習	石原 研治	常勤	後期	金 1	2
P3018	障害児の病理	勝二 博亮	常勤	前期	火 5	1
P3019	免疫学 I	石原 研治	常勤	後期	木 2	3
P3020	免疫学 II	石原 研治	常勤	前期	水 1	0
P3021	薬理学	石原 研治	常勤	前期	金 2	1
P3022	精神保健	瀧澤 利行	常勤	前期	火 2	39
P3023	精神医学	古池 雄治	常勤	前期	金 1	42
P3024	臨床医学概論	古池 雄治	常勤	前期	水 2	2
P3025	学校看護学概論	廣原 紀恵	常勤	前期	集中	2
P3026	学校看護学実習	廣原 紀恵	常勤	前期	木 4-5	2
P3027	学校救急看護	廣原 紀恵	常勤	前期	木 1	3
P3028	学校救急看護実習	廣原 紀恵	常勤	後期	火 3-4	2
P3029	学校救急看護演習 I	廣原 紀恵	常勤	後期	集中	2
P3031	内科系臨床医学・看護学	古池 雄治	常勤	後期	木 5	2
P3032	外科系臨床医学・看護学	古池 雄治	常勤	後期	木 1	2
P3033	母性・小児系臨床医学・看護学	古池 雄治	常勤	前期	木 2	37
P3034	感覚器系臨床医学・看護学	古池 雄治	常勤	前期	木 5	34
P3037	臨床医学・看護学臨床実習	古池 雄治	常勤	通年	集中	38
P3038	小児・思春期保健学	青柳 直子	常勤	前期	金 5	21

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(7)情報文化課程

課程共通科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P4501	情報文化論	小泉 晋弥	常勤	後期	集中	43
P4502	情報と倫理	本村 猛能	非常勤	通年	集中	0
P4503	情報教育論	小林 祐紀	常勤	後期	火5	5
P4504	プログラミング入門	佐々木 忠之	常勤	前期	集中	4
P4505	基礎情報処理	工藤 雄司	常勤	前期	月2	4
P4506	動画像処理(初級)a	-	-	通年	集中	0
P4508	IllustratorでDTP(初級)	島田 裕之	常勤	2Q	火3	9
P4509	静止画像処理(初級)	佐々木 忠之	常勤	通年	集中	0
P4510	ウェブ制作(初級)a	林 延哉	常勤	1Q	火4	10
P4511	ウェブ制作(初級)b	林 延哉	常勤	3Q	水1	2
P4514	統計の初歩	林 延哉	常勤	前期	火2	4
P4515	統計学の基礎	小林 祐紀	常勤	前期	火5	4
P4516	チームワーク&コーチング論	加藤 敏弘	常勤	後期	火4	4
P4517	課題図書講読Ⅰ	林 延哉	常勤	通年	集中	6
P4518	課題図書講読Ⅱ	林 延哉	常勤	通年	集中	13
P4519	課題図書講読Ⅲ	林 延哉	常勤	通年	集中	18
P4520	生涯学習論	望月 厚志	常勤	前期	集中	19
P4521	インターンシップ	岩佐 淳一	常勤	通年	集中	5

課程専門科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P4528	映像工房プロジェクトⅠ	島田 裕之	常勤	前期	集中	10
P4529	映像工房プロジェクトⅡ	島田 裕之	常勤	後期	集中	7
P4530	子ども文化プロジェクトⅠ	林 延哉	常勤	前期	集中	21
P4531	子ども文化プロジェクトⅡ	林 延哉	常勤	後期	集中	15
P4534	ICT演習	小林 祐紀	常勤	後期	月5	14
P4535	静止画像処理(中級)	島田 裕之	常勤	4Q	火3	1
P4536	情報技術演習	佐々木 忠之	常勤	4Q	金4-5	6
P4538	設計製図Ⅰ	乾 康代	常勤	後期	金5	1
P4539	設計製図Ⅱ	齋藤 芳徳	常勤	通年	集中	0
P4540	設計製図Ⅲ	齋藤 芳徳	常勤	通年	集中	0
P4541	図学演習	齋藤 芳徳	常勤	後期	火2	1
P4542	建築一般構造	齋藤 芳徳	常勤	通年	集中	0
P4543	住居計画学	乾 康代	常勤	前期	金5	10
P4544	住居環境学	乾 康代	常勤	後期	木2	10
P4545	住環境計画学	乾 康代	常勤	前期	金2	23
P4546	居住地計画演習	乾 康代	常勤	後期	木4	14
P4550	デザイン素材研究	-	-	通年	集中	0
P4556	デザイン理論	齋藤 芳徳	常勤	前期	火3	9
P4557	視覚コミュニケーション演習	島田 裕之	常勤	後期	木2	1
P4558	デザイン史演習	島田 裕之	常勤	後期	金4	3
P4560	感覚の科学	佐々木 忠之	常勤	前期	木2	10
P4562	筆による表現	齋木 久美	常勤	前期	水1	30
P4566	美術批評論	小泉 晋弥	常勤	前期	火2	38
P4567	図像学入門	甲斐 教行	常勤	通年	集中	0
P4568	表象文化論	小泉 晋弥	常勤	前期	木3	28

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4572	日本美術史Ⅰ	小泉 晋弥	常勤	前期	木 1	10
P4573	日本美術史Ⅱ	小泉 晋弥	常勤	後期	木 5	15
P4574	西洋美術史Ⅰ	甲斐 教行	常勤	前期	火 5	9
P4575	西洋美術史Ⅱ	甲斐 教行	常勤	後期	火 5	2
P4576	西洋美術史特別講義Ⅰ	藤原 貞朗	常勤	前期	火 5	7
P4578	古美術実地研究	小泉 晋弥	常勤	通年	集中	12
P4581	表現の基礎Ⅰ	島 剛	常勤	1Q	月 4-5	0
P4582	表現の基礎Ⅱ	島 剛	常勤	2Q	月 4-5	0
P4584	平面表現演習Ⅰ	片口 直樹	常勤	1Q	金 3-4	3
P4585	平面表現演習Ⅱ	片口 直樹	常勤	2Q	金 4-5	2
P4586	平面表現演習Ⅲ	片口 直樹	常勤	前期	木 1	0
P4587	彩画特別演習	片口 直樹	常勤	後期	集中	0
P4588	絵画特別演習	片口 直樹	常勤	前期	集中	1
P4589	立体表現演習Ⅰ	島 剛	常勤	2Q	金 3-4	5
P4590	立体表現演習Ⅱ	島 剛	常勤	1Q	金 4-5	0
P4593	彫刻特別演習	島 剛	常勤	後期	集中	0
P4596	社会調査の基礎	小林 祐紀	常勤	後期	月 4	7
P4598	メディア・リテラシーⅡ	岩佐 淳一	常勤	後期	集中	20
P4599	フィールドワークの科学	岩佐 淳一	常勤	後期	集中	11
P4601	社会文化情報演習Ⅰ	小林 祐紀	常勤	前期	木 2	28
P4602	社会文化情報演習Ⅱ	岩佐 淳一	常勤	前期	月 3	12
P4603	社会臨床演習Ⅰ	林 延哉	常勤	2Q	火 4-5	5
P4604	社会臨床演習Ⅱ	林 延哉	常勤	後期	火 5	9
P4605	情報社会論	岩佐 淳一	常勤	前期	木 1	6
P4606	マス・コミュニケーション論	岩佐 淳一	常勤	前期	月 2	38
P4608	人文地理学	小野寺 淳	常勤	後期	木 2	29
P4609	社会と文化Ⅰ	小林 祐紀	常勤	前期	火 4	27
P4610	社会と文化Ⅱ	小林 祐紀	常勤	後期	金 2	11
P4614	茨城の歴史と文化	小野寺 淳	常勤	後期	金 2	6
P4616	アメリカ文学史	君塚 淳一	常勤	前期	木 5	21
P4617	アメリカ社会論	君塚 淳一	常勤	前期	月 4	28
P4618	映像作品と時代そして文化的背景	君塚 淳一	常勤	後期	木 5	7
P4619	博物館学Ⅰ	田中 裕	常勤	前期	木 5	0
P4620	博物館学Ⅰ(教育と理念)	田中 裕	常勤	前期	木 5	5
P4621	博物館学Ⅱ(経営論)	梶山 孝	非常勤	後期	月 4	7
P4622	博物館学Ⅱ	梶山 孝	非常勤	後期	月 4	1
P4623	博物館学Ⅲ	小泉 晋弥	常勤	前期	木 2	0
P4624	博物館学Ⅲ(資料論)	小泉 晋弥	常勤	前期	木 2	5
P4625	博物館学Ⅳ(展示論)	若月 憲夫	非常勤	前期	金 2	21
P4626	文化財保存と博物館	田中 裕	常勤	前期	集中	25
P4627	情報メディアと博物館	添田 仁	常勤	後期	水 3	15
P4628	博物館実習Ⅰ	小泉 晋弥	常勤	通年	集中	0
P4629	博物館実習Ⅱ	小泉 晋弥	常勤	前期	集中	0
P4630	美術館ワークショップ実習	片口 直樹	常勤	前期	水 2	2
P4631	博物館実習Ⅰ(校内実習)	小泉 晋弥	常勤	通年	集中	12
P4632	博物館実習Ⅱ	小泉 晋弥	常勤	前期	集中	5
P4633	建築材料学基礎	野崎 英明	常勤	前期	月 3	10
P4635	材料力学	車谷 麻緒	常勤	後期	月 1	5
P4636	コンクリート構造学	原田 隆郎	常勤	後期	金 1	1
P4637	建築施工	齋藤 芳徳	常勤	通年	集中	0

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4640	都市設備及び住居環境	辻村 壮平	常勤	後期	木 1	1
P4641	測量学	桑原 祐史	常勤	前期	金 3	0
P4642	建設材料学	沼尾 達弥	非常勤	前期	木 4	0
P4643	都市・地域計画	金 利昭	常勤	後期	火 2	15
P4644	建築学概論	沼尾 達弥	非常勤	後期	火 5	11
P4646	都市計画論Ⅱ	斎藤 義則	常勤	前期	火 2	3
P4647	特別演習Ⅰ	林 延哉	常勤	前期	集中	67
P4648	特別演習Ⅱ	林 延哉	常勤	後期	集中	65

(8)人間環境教育課程

共通

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P5002	現代のナショナリズム	木村 競	常勤	後期	未定	0
P5004	教育実践と教師	今泉 友里	常勤	前期	火 1	4
P5005	教育の本質と理念	小川 哲哉	常勤	後期	木 1	6
P5006	現代社会の構図	井上 拓也	常勤	後期	月 5	4
P5008	現代の地方自治	佐川 泰弘	常勤	後期	金 2	4
P5009	情報化社会の諸問題	郡司 晴元	常勤	後期	火 2	3
P5010	生活の中の環境問題	郡司 晴元	常勤	後期	月 1	5
P5014	人間教育の心理学	丸山 広人	常勤	前期	木 1	8
P5016	データ解析法	関 友作	常勤	後期	木 1	13
P5018	情報編集法	関 友作	常勤	前期	木 1	8
P5020	コミュニケーション演習	武者小路 澄子	非常勤	後期	水 2	2
P5022	チームワーク&コーチング論	加藤 敏弘	常勤	後期	火 4	1
P5024	生涯学習論	望月 厚志	常勤	前期	集中	11
P5027	総合演習	関 友作	常勤	前期	集中	0
P5028	知識経営特別演習Ⅰ	関 友作	常勤	後期	集中	0
P5029	知識経営特別演習Ⅱ	関 友作	常勤	前期	集中	0
P5030	総合演習	郡司 晴元	常勤	前期	集中	11
P5031	環境特別演習Ⅰ	郡司 晴元	常勤	後期	集中	11
P5032	環境特別演習Ⅱ	郡司 晴元	常勤	前期	集中	10
P5033	総合演習	篠田 明音	常勤	前期	集中	10
P5034	スポーツ特別演習Ⅰ	篠田 明音	常勤	後期	集中	10
P5035	スポーツ特別演習Ⅱ	篠田 明音	常勤	前期	集中	13
P5036	総合演習	篠田 明音	常勤	前期	集中	10
P5037	健康特別演習Ⅰ	上地 勝	常勤	後期	集中	10
P5038	健康特別演習Ⅱ	篠田 明音	常勤	前期	集中	11
P5039	総合演習	丸山 広人	常勤	前期	集中	10
P5040	心理特別演習Ⅰ	丸山 広人	常勤	後期	集中	10
P5041	心理特別演習Ⅱ	丸山 広人	常勤	前期	集中	10

環境コース

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P5102	地球環境論	阿部 信一郎	常勤	後期	金 3	4
P5104	生物学概論	棗田 孝晴	常勤	後期	木 2	0
P5105	化学概論	青島 政之	常勤	後期	金 2	2
P5106	地学概論	上栗 伸一	常勤	前期	木 2	0
P5109	環境倫理学	大倉 茂	非常勤	後期	集中	6
P5110	公害・環境問題史	賀来 健輔	非常勤	前期	集中	4

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5113	住居環境学	乾 康代	常勤	後期	木 2	4
P5114	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	常勤	後期	金 4	0
P5115	環境教育論	郡司 晴元	常勤	前期	金 4	9
P5116	環境教育演習	郡司 晴元	常勤	前期	火 3	13
P5117	環境地球科学	伊藤 孝	常勤	後期	金 1	2
P5118	岩石学	伊藤 孝	常勤	前期	水 2	1
P5119	地質学	上栗 伸一	常勤	後期	金 2	0
P5120	気象学	伊藤 孝	常勤	前期	金 2	12
P5121	地形学 I	甲斐 憲次	常勤	後期	金 4	4
P5122	地学実験	伊藤 孝	常勤	前期	金 3-4	0
P5124	地学野外実習	伊藤 孝	常勤	前期	集中	0
P5125	無機物理化学	青島 政之	常勤	前期	木 2	2
P5127	水環境論	阿部 信一郎	常勤	前期	木 5	1
P5129	化学実験 I	青島 政之	常勤	前期	月 4-5	0
P5135	保全生物学	阿部 信一郎	常勤	後期	木 5	1
P5136	動物学	棗田 孝晴	常勤	前期	金 1	12
P5137	環境科学実験	阿部 信一郎	常勤	前期	水 1-2	8
P5138	生物学実験	棗田 孝晴	常勤	前期	月 4-5	10
P5139	臨湖実習	中里 亮治	常勤	前期	集中	5
P5143	微分積分の基礎	梅津 健一郎	常勤	前期	月 4	2
P5144	物理学概論	永尾 敬一	常勤	前期	火 2	9
P5145	環境計測法	曾我 日出夫	非常勤	前期	月 3	9
P5146	物理学実験 I	矢島 裕介	常勤	後期	水 1-2	1
P5147	応用確率統計演習	曾我 日出夫	非常勤	4Q	月金 3	3
P5148	博物館学 I	田中 裕	常勤	前期	木 5	1
P5149	博物館学 II	梶山 孝	非常勤	後期	月 4	0

スポーツコース

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P5201	体育スポーツ社会学	日下 裕弘	非常勤	後期	月 2	0
P5204	体育学概論	中嶋 哲也	常勤	前期	金 3	0
P5205	体育史	中嶋 哲也	常勤	前期	金 1	2
P5207	運動学概論	勝本 真	常勤	前期	木 3	1
P5208	コーチング論 II	勝本 真	常勤	前期	木 2	20
P5210	トレーニング法	渡邊 将司	常勤	後期	月 2	0
P5211	スポーツ医学	辰村 正紀	非常勤	後期	集中	11
P5213	運動障害救急法	富樫 泰一	常勤	通年	集中	4
P5214	生理学概論(スポーツコース)	松坂 晃	常勤	前期	月 4	3
P5216	測定評価	渡邊 将司	常勤	後期	木 2	11
P5217	スポーツ栄養学	古旗 照美	非常勤	前期	集中	1
P5218	運動処方論	松坂 晃	常勤	前期	月 3	11
P5219	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	常勤	後期	金 4	1
P5220	健康調査解析法	上地 勝	常勤	前期	金 3	16
P5221	学校保健概論	上地 勝	常勤	前期	月 2	10
P5222	スポーツ心理学	東海林 祐子	非常勤	前期	集中	2
P5224	野外運動	富樫 泰一	常勤	前期	集中	1
P5225	スキー	渡邊 将司	常勤	後期	集中	0
P5226	陸上競技	上地 勝	常勤	前期	火 2	11
P5227	ギムナスティック	清水 満	非常勤	前期	金 4	14
P5228	ダンス・身体表現	篠田 明音	常勤	後期	木 4	1

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5229	水泳	富樫 泰一	常勤	前期	集中	0
P5230	バスケットボール	加藤 敏弘	常勤	後期	火2	1
P5233	卓球・テニス	日下 裕弘	非常勤	後期	月4	11
P5234	ソフトボール	渡邊 将司	常勤	前期	木4	5
P5235	柔道	中嶋 哲也	常勤	後期	金2	0
P5237	陸上競技方法論	上地 勝	常勤	前期	火1	15
P5239	ダンス・身体表現方法論	篠田 明音	常勤	後期	木3	8
P5240	ボールゲーム方法論	勝本 真	常勤	前期	月4	11
P5241	武道方法論	中嶋 哲也	常勤	後期	金1	1
P5242	陸上競技指導法	上地 勝	常勤	前期	木4	3
P5244	ダンス・身体表現指導法	篠田 明音	常勤	後期	木4	4
P5245	水泳指導法	富樫 泰一	常勤	前期	集中	18
P5246	バスケットボール指導法	加藤 敏弘	常勤	後期	火2	17
P5250	ソフトボール指導法	渡邊 将司	常勤	前期	木4	6
P5251	柔道指導法	中嶋 哲也	常勤	後期	金2	6
P5253	野外運動指導法	富樫 泰一	常勤	前期	集中	4
P5254	スキー指導法	富樫 泰一	常勤	後期	集中	3

健康コース

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P5301	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	常勤	後期	金4	1
P5303	健康調査解析法	上地 勝	常勤	前期	金3	15
P5304	運動学概論	勝本 真	常勤	前期	木3	1
P5306	生理学概論(健康コース)	松坂 晃	常勤	前期	月4	1
P5308	臨床医学概論	古池 雄治	常勤	前期	水2	0
P5310	測定評価	渡邊 将司	常勤	後期	木2	11
P5311	保健福祉論	瀧澤 利行	常勤	前期	水2	0
P5312	トレーニング法	渡邊 将司	常勤	後期	月2	1
P5313	スポーツ医学	辰村 正紀	非常勤	後期	集中	10
P5314	運動処方論	松坂 晃	常勤	前期	月3	11
P5316	運動障害救急法	富樫 泰一	常勤	通年	集中	3
P5317	メンタルヘルス	瀧澤 利行	常勤	前期	火2	7
P5319	体育史	中嶋 哲也	常勤	前期	金1	2
P5321	スポーツ心理学	東海林 祐子	非常勤	前期	集中	1
P5322	体育学概論	中嶋 哲也	常勤	前期	金3	0
P5323	体育スポーツ社会学	日下 裕弘	非常勤	後期	月2	0
P5324	食生活と健康	西川 陽子	常勤	前期	金3	2
P5325	スポーツ栄養学	古旗 照美	非常勤	前期	集中	2
P5329	住居環境学	乾 康代	常勤	後期	木2	1
P5332	保健科教育法Ⅱ	青柳 直子	常勤	前期	金1	18
P5333	学校保健概論	上地 勝	常勤	前期	月2	9
P5334	健康相談活動(健康コース)	斉藤 ふくみ	常勤	前期	火3	8
P5335	障害児生理心理学	勝二 博亮	常勤	後期	金5	1
P5336	ダンス・身体表現	篠田 明音	常勤	後期	木4	1
P5337	アクアフィットネス	富樫 泰一	常勤	前期	集中	0
P5338	卓球・テニス	日下 裕弘	非常勤	後期	月4	8
P5339	野外運動	富樫 泰一	常勤	前期	集中	0
P5340	バスケットボール	加藤 敏弘	常勤	後期	火2	2
P5343	ソフトボール	渡邊 将司	常勤	前期	木4	2
P5344	ギムナスティック	清水 満	非常勤	前期	金4	13

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5345	陸上競技	上地 勝	常勤	前期	火 2	9
P5346	ボールゲーム方法論	勝本 真	常勤	前期	月 4	10
P5348	陸上競技方法論	上地 勝	常勤	前期	火 1	11
P5349	健康運動指導実習	上地 勝	常勤	通年	集中	0
P5350	健康施設実習	上地 勝	常勤	後期	集中	1

心理コース

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P5406	心理学研究法Ⅱ	渡部 玲二郎	常勤	前期	集中	1
P5407	心理学統計法	渡部 玲二郎	常勤	前期	火 4	1
P5411	心理学文献講読Ⅲ	関 友作	常勤	後期	木 4	11
P5412	グループアプローチ特講	正保 春彦	常勤	後期	月 3	10
P5414	生涯学習とメディア	村野井 均	常勤	後期	火 4	12
P5415	幼児心理学	村野井 均	常勤	前期	集中	12
P5416	発達心理学特講	村野井 均	常勤	後期	金 2	10
P5417	学校心理学	丸山 広人	常勤	前期	月 5	12
P5420	発達臨床心理学	渡部 玲二郎	常勤	後期	火 2	9
P5422	職業指導の原理Ⅰ	工藤 雄司	常勤	後期	集中	0
P5424	発達の理解A	渡部 玲二郎	常勤	前期	木 3	1
P5425	発達の理解B	村野井 均	常勤	後期	木 3	5
P5426	学校教育相談	三輪 壽二	常勤	前期	木 3	0
P5427	学校教育相談	三輪 壽二	常勤	前期	木 3	27
P5428	不適応問題と学校	深谷 佳子	非常勤	後期	月 5	12
P5430	心理臨床検査法演習	三輪 壽二	常勤	前期	木 4	20
P5431	心理臨床援助法実習Ⅰ	三輪 壽二	常勤	前期	金 3	10
P5432	心理臨床援助法実習Ⅱ	三輪 壽二	常勤	後期	金 4	8
P5433	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	常勤	後期	金 4	0
P5434	生理学概論(心理コース)	松坂 晃	常勤	前期	月 4	1
P5435	学校保健概論	上地 勝	常勤	前期	月 2	1
P5436	健康相談活動(心理コース)	斉藤 ふくみ	常勤	前期	火 3	5
P5437	保健科教育法Ⅰ	青柳 直子	常勤	後期	火 3	1
P5440	栄養学	西川 陽子	常勤	後期	金 4	2
P5441	社会福祉論	渋谷 敦司	常勤	前期	金 2	2
P5442	スポーツ心理学	東海林 祐子	非常勤	前期	集中	2
P5444	運動障害救急法	富樫 泰一	常勤	通年	集中	0

(9)特別専門科目

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
P5501	教師の資質と教職設計A	五島 浩一	常勤	前期	金 5	92
P5502	教師の資質と教職設計B	五島 浩一	常勤	4Q	金 4-5	44

(10)卒業研究

授業コード	科目名	主担当教員	常勤・非常勤	開講時期	曜日時限	受講者数
PG301	卒業研究	青島 政之	常勤	通年	集中	7
PG302	卒業研究	青柳 直子	常勤	通年	集中	3
PG303	卒業研究	青柳 路子	常勤	通年	集中	0
PG304	卒業研究	阿部 信一郎	常勤	通年	集中	8
PG305	卒業研究	新井 英靖	常勤	通年	集中	5
PG306	卒業研究	荒川 智	常勤	通年	集中	3

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PG307	卒業研究	石島 恵美子	常勤	通年	集中	3
PG308	卒業研究	石原 研治	常勤	通年	集中	8
PG309	卒業研究	伊藤 孝	常勤	通年	集中	0
PG310	卒業研究	乾 康代	常勤	通年	集中	2
PG311	卒業研究	猪井 新一	常勤	通年	集中	1
PG312	卒業研究	岩佐 淳一	常勤	通年	集中	7
PG313	卒業研究	上地 勝	常勤	通年	集中	4
PG314	卒業研究	臼坂 高司	常勤	通年	集中	3
PG315	卒業研究	打越 正貴	常勤	通年	集中	2
PG316	卒業研究	梅津 健一郎	常勤	通年	集中	4
PG317	卒業研究	大島 聖美	常勤	通年	集中	0
PG318	卒業研究	大島 規江	常勤	通年	集中	4
PG319	卒業研究	大津 展子	常勤	通年	集中	4
PG320	卒業研究	大西 有	常勤	通年	集中	5
PG321	卒業研究	小川 哲哉	常勤	通年	集中	2
PG322	卒業研究	小口 祐一	常勤	通年	集中	6
PG323	卒業研究	生越 達	常勤	通年	集中	2
PG324	卒業研究	小野寺 淳	常勤	通年	集中	4
PG325	卒業研究	甲斐 教行	常勤	通年	集中	3
PG326	卒業研究	数井 みゆき	常勤	通年	集中	2
PG327	卒業研究	片口 直樹	常勤	通年	集中	3
PG328	卒業研究	勝本 真	常勤	通年	集中	4
PG329	卒業研究	加藤 崇英	常勤	通年	集中	1
PG330	卒業研究	加藤 敏弘	常勤	通年	集中	4
PG331	卒業研究	金子 一夫	常勤	通年	集中	0
PG332	卒業研究	金丸 隆太	常勤	通年	集中	0
PG333	卒業研究	上栗 伸一	常勤	通年	集中	1
PG334	卒業研究	神永 直美	常勤	通年	集中	3
PG335	卒業研究	川嶋 秀之	常勤	通年	集中	7
PG336	卒業研究	神部 智	常勤	通年	集中	0
PG337	卒業研究	君塚 淳一	常勤	通年	集中	4
PG338	卒業研究	木村 勝彦	常勤	通年	集中	0
PG339	卒業研究	木村 競	常勤	通年	集中	0
PG340	卒業研究	木村 美智子	常勤	通年	集中	2
PG342	卒業研究	工藤 雄司	常勤	通年	集中	3
PG343	卒業研究	栗原 博之	常勤	通年	集中	4
PG344	卒業研究	郡司 晴元	常勤	通年	集中	5
PG345	卒業研究	古池 雄治	常勤	通年	集中	6
PG346	卒業研究	小泉 晋弥	常勤	通年	集中	0
PG347	卒業研究	向野 康江	常勤	通年	集中	2
PG348	卒業研究	五島 浩一	常勤	通年	集中	0
PG349	卒業研究	小林 英美	常勤	通年	集中	3
PG350	卒業研究	小林 祐紀	常勤	通年	集中	9
PG351	卒業研究	齋木 久美	常勤	通年	集中	5
PG352	卒業研究	齋藤 英敏	常勤	通年	集中	2
PG353	卒業研究	斉藤 ふくみ	常勤	通年	集中	7
PG354	卒業研究	齋藤 芳徳	常勤	通年	集中	1
PG355	卒業研究	榊 守	常勤	通年	集中	1
PG356	卒業研究	坂場 克身	常勤	通年	集中	0
PG357	卒業研究	佐々木 忠之	常勤	通年	集中	5

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PG358	卒業研究	佐藤 環	常勤	通年	集中	2
PG359	卒業研究	佐藤 裕紀子	常勤	通年	集中	3
PG360	卒業研究	篠田 明音	常勤	通年	集中	4
PG361	卒業研究	島 剛	常勤	通年	集中	3
PG362	卒業研究	島田 裕之	常勤	通年	集中	23
PG363	卒業研究	勝二 博亮	常勤	通年	集中	4
PG364	卒業研究	昌子 佳広	常勤	通年	集中	6
PG365	卒業研究	正保 春彦	常勤	通年	集中	2
PG366	卒業研究	杉本 憲子	常勤	通年	集中	2
PG367	卒業研究	鈴木 一史	常勤	通年	集中	4
PG368	卒業研究	関 友作	常勤	通年	集中	0
PG369	卒業研究	瀧澤 利行	常勤	通年	集中	9
PG371	卒業研究	田中 健次	常勤	通年	集中	0
PG372	卒業研究	田中 宏明	常勤	通年	集中	11
PG373	卒業研究	谷川 佳幸	常勤	通年	集中	3
PG374	卒業研究	田原 敬	常勤	通年	集中	4
PG375	卒業研究	千葉 真由美	常勤	通年	集中	7
PG376	卒業研究	堤 一郎	常勤	通年	集中	1
PG377	卒業研究	照屋 翔大	常勤	通年	集中	0
PG378	卒業研究	東條 吉邦	常勤	通年	集中	0
PG379	卒業研究	富樫 泰一	常勤	通年	集中	4
PG380	卒業研究	永尾 敬一	常勤	通年	集中	2
PG381	卒業研究	中嶋 哲也	常勤	通年	集中	5
PG382	卒業研究	中野 雅紀	常勤	通年	集中	4
PG383	卒業研究	棗田 孝晴	常勤	通年	集中	2
PG384	卒業研究	野中 美津枝	常勤	通年	集中	2
PG385	卒業研究	西川 陽子	常勤	通年	集中	3
PG386	卒業研究	根本 博	常勤	通年	集中	3
PG387	卒業研究	野崎 英明	常勤	通年	集中	3
PG388	卒業研究	林 延哉	常勤	通年	集中	17
PG389	卒業研究	廣原 紀恵	常勤	通年	集中	5
PG390	卒業研究	藤井 とし子	常勤	通年	集中	0
PG392	卒業研究	藤田 文子	常勤	通年	集中	0
PG393	卒業研究	藤田 達人	常勤	通年	集中	0
PG394	卒業研究	細川 美由紀	常勤	通年	集中	5
PG395	卒業研究	本田 敏明	常勤	通年	集中	0
PG396	卒業研究	増子 和男	常勤	通年	集中	5
PG397	卒業研究	松川 寛	常勤	通年	集中	0
PG398	卒業研究	松坂 晃	常勤	通年	集中	4
PG399	卒業研究	松村 初	常勤	通年	集中	5
PG400	卒業研究	丸山 広人	常勤	通年	集中	3
PG401	卒業研究	宮崎 尚子	常勤	通年	集中	6
PG402	卒業研究	宮本 直樹	常勤	通年	集中	9
PG403	卒業研究	三輪 壽二	常勤	通年	集中	2
PG404	卒業研究	村野井 均	常勤	通年	集中	3
PG405	卒業研究	村山 朝子	常勤	通年	集中	4
PG406	卒業研究	望月 厚志	常勤	通年	集中	3
PG408	卒業研究	矢島 裕介	常勤	通年	集中	1
PG409	卒業研究	安原 正貴	常勤	通年	集中	0
PG410	卒業研究	山口 哲人	常勤	通年	集中	0

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PG411	卒業研究	吉井 豊	常勤	通年	集中	3
PG412	卒業研究	吉野 聡	常勤	通年	集中	4
PG413	卒業研究	渡邊 將司	常勤	通年	集中	4
PG414	卒業研究	渡部 玲二郎	常勤	通年	集中	2
PG415	卒業研究	小林 翔	常勤	通年	集中	1

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

2-2 開設授業科目の各種比率

学校教育教員養成課程

(特別支援学校教育
コース)

専門科目	専任担当科目数	788	33
	兼任担当科目数	79	2
	全体の科目数及び専任割合	867	90.9%
		35	94.3%

養護教諭養成課程

専門科目	専任担当科目数	56
	兼任担当科目数	1
	全体の科目数及び専任割合	57

情報文化課程

専門科目	専任担当科目数	93
	兼任担当科目数	6
	全体の科目数及び専任割合	99

人間環境教育課程

専門科目	専任担当科目数	142
	兼任担当科目数	20
	全体の科目数及び専任割合	162

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

2-3 単位互換協定及び大学独自の単位認定の状況

			学校教育 教員養成 課程	養護教諭 養成課程	情報文化 課程	人間環境 教育課程	計	
単位互換協定に基づくもの	認定者数(a)		1	0	0	0	1	
	他大学	認定単位総数 (b)	専門 科目	0	0	0	0	0
			専門 以外	8	0	0	0	8
	短期大学	認定単位総数 (c)	専門 科目	0	0	0	0	0
			専門 以外	0	0	0	0	0
	1人当たり平均認定単位数(b+c) /a			8.0	0.0	0.0	0.0	8.0
単位互換協定以外のもの	認定者数(d)		28	5	2	0	35	
	他大学	認定単位総数 (e)	専門 科目	0	80	0	0	80
			専門 以外	0	48	0	0	48
	短期大学高専 含む・その他	認定単位総数 (f)	専門 科目	12	0	8	0	20
			専門 以外	50	6	0	0	56
	1人当たり平均認定単位数(e+f) /d			2.2	26.8	4.0	0.0	5.8

3 大学院教育学研究科のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー

3-1 障害児教育専攻

3-1-1 カリキュラム・ポリシー

障害児教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①教員としての専門性を満たすに十分な、障害をもつ児童・生徒についての教育学的、心理学的、生理学的な知識を身に付けさせる。
- ②特別なニーズをもつ子どもたちに対応できる専門的な実践力を身に付けさせる。
- ③特別支援教育の課題に対応し、指導・援助の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。
- ④個々の児童・生徒、学校の実情に沿った特別支援教育を展開できる力を身に付けさせる。

3-1-2 ディプロマ・ポリシー

障害児教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教員としての高い専門性を満たすに十分な、障害をもつ児童・生徒についての教育学的、心理学的、生理学的な知識を有している。
- ・特別なニーズをもつ子どもたちに対応できる専門的な実践力を有している。
- ・特別支援教育に活かせる研究を行う能力を有している。
- ・専門的知識と研究能力を活かして特別支援教育を行うことができる能力を有している。

3-2 教科教育専攻

3-2-1 カリキュラム・ポリシー

教科教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①教科内容について、教員としての専門性を満たすに十分な知識を身に付けさせる。
- ②教材化と教育方法についての専門的知識と高い実践力を身に付けさせる。
- ③教育内容の深化・変化に対応し、教科指導の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。
- ④児童・生徒、学校の実情に合わせた教科指導を展開できる力を身に付けさせる。

3-2-2 ディプロマ・ポリシー

教科教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教員としての高い専門性を満たすに十分な、教科内容についての知識を有している。
- ・教科における教材化と教育方法についての専門的知識と高い実践力を有している。
- ・教科教育に活かせる研究を行う能力を有している。
- ・専門的知識と研究能力を活かして教科教育を行うことができる能力を有している。

3-3 養護教育専攻

3-3-1 カリキュラム・ポリシー

養護教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①養護教諭としての専門性を満たすに十分な、児童・生徒の心身の健康に関する専門的知識

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

と学校教育における多様な課題を理解させる。

- ②児童・生徒の状況を把握し、発達段階や特性に応じて、心身の健康に関する課題に適切に対応できる専門的な実践力を身に付けさせる。
- ③課題の変化に対応し、指導・援助の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。
- ④児童・生徒、学校の実情に沿って、養護教諭としての活動を展開できる力を身に付けさせる。

3-3-2 ディプロマ・ポリシー

養護教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・養護教諭としての高い専門性を満たすに十分な、児童・生徒の心身の健康に関する専門的知識障を有し、学校教育における課題を理解している。
- ・児童・生徒および学校の状況に応じて、心身の健康に関する課題に適切に対応できる専門的な実践力を有している。
- ・養護教諭としての活動に活かせる研究を行う能力を有している。

3-4 学校臨床心理専攻

3-4-1 カリキュラム・ポリシー

学校臨床心理専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①こころの問題の専門家としての専門性を満たすに十分な臨床心理学的な知識を身に付けさせる。
- ②こころの問題の多様性及びその変化に対応できる実践力を身に付けさせる。
- ③こころの問題の様々な変化に対応し、心理学的な支援の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。

3-4-2 ディプロマ・ポリシー

学校臨床心理専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教育をはじめとする様々な分野における多様なこころの問題への心理学的援助に関わる実践と研究を専門的に行う力を有している。
- ・こころの問題に関する様々な分野において、こころの問題に取り組む専門家としての見識と専門的スキルを有し、それぞれの分野において社会の発展に寄与することができる力を有している。

3-5 教育実践高度化専攻

3-5-1 カリキュラム・ポリシー

教育実践高度化専攻（専門職学位課程）では、以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ① 共通科目としての 5 領域（「教育課程の編成及び実施に関する領域」「教科等の実践的な

指導方法に関する領域」「生徒指導及び教育相談に関する領域」「学級経営及び学校経営に関する領域」「学校教育と教員の在り方に関する領域」)に加えて、「校内組織作りに関する領域」によって学校全体に貢献できる力を育成するとともに、各コース(学校運営, 教育方法開発, 児童生徒支援)の専門科目及び実習科目によって、教育者としての使命感と豊かな人間性を有し、子ども理解に基づく高度な専門性を有する実践力を身に付けさせる。

- ② 知識基盤社会における変化の激しい教育現場において、高度な洞察力に基づいて学校実践の課題を多面的・多角的視点で捉える知識と理解力を身に付けさせる。
- ③ 以下のような高度専門職業人としての知識、技能及び自立的に課題を発見し、解決できる実践力を身に付けさせる。また、学校現場における実習と省察を重視し、研究者教員と実務家教員による指導によって、理論と実践の架橋・往還を図る。
 - a) スクールリーダーとしてビジョンを形成し、学校経営の課題を構築しながら、教育上の問題解決を行うマネジメントの実践力
 - b) 授業実践上の課題を洞察し、自らの実践を省察しながら、児童・生徒理解に根ざした授業を開発・改善する高度な実践力
 - c) 児童生徒の心の状態を察知し、その背景要因を含めて見立てながら、環境を調整することで介入し、支援する実践力
- ④ 専門的知識・技能を活かして、同僚教師や保護者・地域とともに教育課題の解決に取り組む協働性を身に付けさせる。

3-5-2 ディプロマ・ポリシー

教育実践高度化専攻(専門職学位課程)では、以下が認められる場合、修了を認定し、教職修士(専門職)の学位を授与する。

- ① 使命感を持ち、子ども理解に基づく高度な専門性を有し、教育者として資質能力に優れた人間性を有している。
- ② 知識基盤社会における変化の激しい教育現場において、高度な洞察力に基づいて学校実践の課題を多面的・多角的視点で捉える知識と理解力を有している。
- ③ 以下のような高度専門職業人としての知識、技能及び自立的に課題を発見し、解決できる実践力を有している。
 - a) スクールリーダーとしてビジョンを形成し、学校経営の課題を構築しながら、教育上の問題解決を行うマネジメントの実践力
 - b) 授業実践上の課題を洞察し、自らの実践を省察しながら、児童・生徒理解に根ざした授業を開発・改善する高度な実践力
 - c) 児童・生徒の心の状態を察知し、その背景要因を含めて見立てながら、環境を調整することで介入し、支援する実践力
- ④ 専門的知識・技能を活かして、同僚教師や保護者・地域とともに教育課題の解決に取り組む

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

組む協働性を有している。

4 茨城大学教育学研究科の教育内容と方法

以下は茨城大学教育学研究科「大学院学生便覧」から引用した。

4-1 概要

4-1-1 茨城大学大学院教育学研究科を運営するに当たって準拠する規則

学校教育法に基づく大学院設置基準（昭和 49 年 6 月 20 日 文部省令第二十八号）

茨城大学学則

茨城大学大学院学則（以下「大学院学則」）

茨城大学学位規則（以下「学位規則」）

茨城大学大学院教育学研究科規則（以下「研究科規則」）

学位論文の審査及び最終試験実施要項（以下「学位論文審査要項」）

その他各種申し合わせ事項、及び各種ガイドライン等

この便覧は、それらから学生に必要なと思われる内容を編集したものである。

4-1-2 教育学研究科の組織構成

茨城大学大学院教育学研究科は、5 専攻 14 専修で構成されている（研究科規則第 3 条）。

（修士課程）

障害児教育専攻	障害児教育専修
教科教育専攻	国語教育専修
	社会科教育専修
	数学教育専修
	理科教育専修
	音楽教育専修
	美術教育専修
	保健体育専修
	技術教育専修
	家政教育専修
	英語教育専修
養護教育専攻	養護教育専修
学校臨床心理専攻	学校臨床心理専修
（専門職学位課程）	
教育実践高度化専攻	学校運営コース
	教育方法開発コース
	児童生徒支援コース

4-1-3 教育学研究科の運営体制（研究科共通）

教育学研究科の諸事項は大学院教育学研究科教員で組織する研究科委員会で審議し、決定する。各専修には専修を代表する専修主任と専修関係の諸事項を担当する専門委員がいる。種々の専門的事項については、各専修の専門委員で構成する専門委員会が審議し、研究科委員会に提案する。

4-1-4 主指導教員・副指導教員（修士課程）

学生には、その研究主題に応じ、指導教員を定める（研究科規則第4条）。各専修は年度当初に学生の希望や指導体制を考慮して、主指導教員1名、副指導教員2名以上を決め、所定書式で提出する。大学院教員には指導教員と授業担当教員との区別がある。学生の研究指導と授業をするのが指導教員、授業をするのが授業担当教員である。各専修で確認すること。主指導教員は当該専攻・専修の指導教員の中から選ぶ。副指導教員は研究主題との関係で適切と判断できれば、他専攻・他専修の指導教員・授業担当教員でもよい。

4-1-5 指導体制（専門職学位課程）

学生には、主担当教員と、実習における実習指導大学教員（アドバイザー）及び実習調整大学教員（コーディネーター）を定める。

日常的に連絡の窓口になったり、緊急時に連絡したりするなど、主担当教員が中心となって学生を支援する。また、実習では、実習指導大学教員（アドバイザー）及び実習調整大学教員（コーディネーター）が協力して実習校と連携を取ることで学生への指導・支援を行う。

また講義科目等における指導体制については、課題や内容によって柔軟な形態をとることで、より効果の高い指導を実施する。例えば、各コースで設定されている「課題研究Ⅰ～Ⅳ」では、実習内容を振り返ったり、様々な課題について議論したりしながら、各コースの専任教員と学生が、チームを組んで協議を行ったり、コース全体として協議を行う。

4-1-6 履修方法

（修士課程）

後掲の「研究科規程 別表3」の各専修備考欄に指定された授業科目を履修する（研究科規程第6条）。履修する授業科目は必修科目と選択科目（学校臨床心理専修は選択必修科目）とに分かれる。各専修によって指定が違うので別表で確認すること。

ただし、研究科規程別表記載の授業科目のすべてが開講されているとは限らないので注意すること。開講授業科目は本便覧所収の「開講授業科目一覧」に掲載されている。「開講授業科目一覧」で授業科目は各種の科目群「分野」に分類されている。また、再度履修して単位を累加できる授業科目とできない授業科目の区別も示されている。

修了に必要な最低単位は別表備考欄で指定された授業科目34単位である（下表及び研究科規程別表参照）。専修毎にバランスの取れた複数の履修モデルを提供しているので、それ

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

を参考に計画をたてること。前学期または後学期始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目申告票を提出する。

専攻		障害児教育	教科教育	養護教育	学校臨床心理	
必修	研究科共通科目 a 群	6	6	6		
選択必修	共通科目	2	2	2		
	専攻科目	障害児教育に関する科目から	1 2			
		教科教育に関する科目から	2	1 2 (国語教育専修は 1 4)		
		養護教育に関する科目から			1 4	
	学校臨床に関する科目から				1 9	
選択 (研究科内の科目から) ※学校臨床心理専攻のみ専修内の科目から		8 *	1 0 * (国語教育専修は 8)	8 *	※ 1 1	
特別課題研究 (必修)		4	4	4	4	
修了要件単位合計		3 4	3 4	3 4	3 4	

学校臨床心理専修の開講科目のうち、*印のついている科目を除く。

また、他研究科での授業科目 (大学院共通科目を除く) は自由単位 (修了要件にしない) として認める。その履修は、前もって当該授業の担当教員及び主指導教員の承諾を得ること。履修を研究科委員会が了承して単位として認められる。

また、教員免許取得等の関係で学部の科目等履修生 (単位取得をする) になる場合、在学中 24 単位の修得を認める (科目数は不問とする)。

(専門職学位課程)

後掲の「研究科規程 別表 3」の備考欄に指定された授業科目を履修する (研究科規程第 6 条)。履修する授業科目は必修科目と選択科目とに分かれる。各コースによって指定が違うので別表で確認すること。

ただし、研究科規程別表記載の授業科目のすべてが開講されているとは限らないので注意すること。開講授業科目は本便覧所収の「開講授業科目一覧」に掲載されている。また、再度履修して単位を累加できる授業科目とできない授業科目の区別も示されている。

修了に必要な最低単位は別表欄 (研究科規程別表参照) で指定された授業科目 4 6 単位である。コース毎にバランスの取れた履修モデルを提供しているので、それを参考に計画をたてること。前学期または後学期始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目申告票を提出すること。

また、他研究科での授業科目 (大学院共通科目を除く) は自由単位 (修了要件にしない)

として認める。その履修は、前もって当該授業の担当教員及び主担当教員の承諾を得ること。履修を研究科委員会が了承して単位として認められる。

また、教員免許状取得等の関係で学部の科目等履修生（単位取得をする）になる場合、在学中 24 単位の修得を認める（科目数は不問とする）。

4-1-7 試験及び成績評価（研究科共通）

履修科目の単位の授与は、試験その他の方法によって授業科目の担当教員が行う。（研究科規則第 10 条）授業科目の試験又は研究報告書等の成績評価は、100 点をもって満点とし、A+（90 点以上）、A（80 点以上 90 点未満）、B（70 点以上 80 点未満）、C（60 点以上 70 点未満）及び D（60 点未満）の評語で表し、A+、A、B 及び C を合格とする。（同 11 条）。

その評価基準は表の通りである。各授業科目の評価方法は、「教務情報ポータルシステム」のシラバスの「成績の評価方法」欄を参照すること。

前学期の科目は 10 月上旬、後学期の科目は年度末に学生各自が「教務情報ポータルシステム」から成績一覧を印刷し確認すること。

区分	点数	評価の内容
A+	90～100	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A	80～89	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B	70～79	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C	60～69	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	0～59	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

以上 A+～D の評価の他に、「欠試」がある。試験欠席又は報告書未提出の場合は「欠試」となる。授業の出席時数が総授業数の 3 分の 2 に達しない場合は、試験を受けても単位は認定されず D 評価となる。追試験は研究科委員会の議を経て行われる（研究科規則第 10 条 2）。追試験はやむを得ない事由のある「欠試」の場合のみに認められる。一度単位が認定された評価は再履修しても変更できない。D 評価、欠試の場合は再履修ができる。単位累加可の授業以外は、既に単位が認定された授業を再履修しても単位は認定されない。印刷し交付された成績に関して説明を希望する場合は、当該教員又は学務グループの相談窓口申し出ることができる。

4-1-8 修了研究としての学位論文（修士課程）

特別課題研究で指導を受け、指定された期限までに学位論文（大学院学則に規定された特定課題の研究成果を含む）を提出する（研究科規則第 12 条）。学位論文の審査会は所属専攻の指導教員の 1 名と研究科内の内容に関係する教員 2 名以上をもって組織される（学位規則第 12 条の 2）。審査員は原則として主指導教員と副指導教員 2 名である。学位論文は、別に定める評価基準と審査方法により可・不可の二種に評価される。なお、前述の「大学院学則に規定された特定の課題の研究成果」とは、演奏・演技・作品及び関連論文を指す。

各専修における学位論文に関する基準等については、「IV 各専修の履修計画指針」を参照すること。

4-1-9 最終試験と学位論文の公開（修士課程）

最終試験は学位論文を中心として、それに関連する事項について行う（学位規則第 14 条）。学位論文は各専修における発表会等で公開する。合格した学位論文は、研究科で刊行する抄録集に概要を掲載できる。その際、国立教育政策研究所の教育情報検索システムによる電子化を了承する。

4-1-10 修了要件と学位

（修士課程）

研究科に 2 年以上在籍し、研究科指定の科目 34 単位修得し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すると修了でき、修士（教育学）が与えられる（大学院学則第 21 条の 2）。在籍期間については 1 年、3 年と例外的制度がある（研究科規則第 9 条、第 14 条参照）。

（専門職学位課程）

研究科に 2 年以上在学し、研究科指定の科目について 46 単位修得することとする。（研究科規程第 14 条の 2 参照）

大学院の課程を修了した者には、教職修士（専門職）が与えられる（大学院学則第 21 条の 2）。在籍期間については 1 年、3 年と例外的制度がある（研究科規程第 9 条、第 14 条参照）。

4-1-11 学生相談の体制（研究科共通）

学生が学習、経済、進路、人間関係、その他各種困難な事態に直面した場合は、専修主任、専修専門委員に相談されたい。また、専修を超えた研究科全体としての相談窓口も設けているので、そちらへ相談したい場合は、学務グループの相談受付窓口に申し出ること。秘密は厳守される。

4-1-12 奨学金・授業料免除・奨学金返還免除（研究科共通）

日本学生支援機構の奨学金貸与や授業料免除を希望する学生は、年度当初に募集要項を配布しているので所定の窓口に取りに行くこと。また、日本学生支援機構の奨学金貸与を受けた者のうち、特に優れた業績をあげた者を奨学金返還免除候補者として大学が推薦する制度がある。推薦を希望する者には第 2 年度の 1 2 月頃に申請書を配布するが、第 1 年度から条件に合うように留意すること。

4-1-13 学位論文の審査及び最終試験実施要項

（昭和 63 年 12 月 21 日教育学研究科委員会決定）

1. 趣旨

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

修士（教育学）の学位授与に関しては、茨城大学大学院学則、茨城大学学位規則（以下「学位規則」という。）及び茨城大学大学院教育学研究科規則（以下「教育学研究科規則」という。）によるもののほか、この要項による。

2. 学位論文審査

(1) 論文の提出資格

所属専修に 1 年以上在学し、修士課程修了見込みの者。

(2) 論文の提出期限

1 月 31 日（9 月修了予定の者については、7 月 31 日）とする。（提出日が土・日曜日にあたる場合は次の休業日とする。）

(3) 論文の提出部数

1 編 3 部とする。（正本 1 部、副本 2 部）

(4) 論文の提出方法

論文には論文要旨（2,000 字以内）及び論文審査願を添付し、指導教員の承認を得て、研究科長に提出する。

ただし、教育学研究科規則第 9 条第 1 項の規定に基づき、専修領域によって特定の課題についての研究作品をもって代える場合は、その関連論文を添えて提出する。

(5) 論文審査会・審査員

学位規則第 12 条の規定に基づき審査会を設置する。審査員は原則として主指導教員を主査、副指導教員 2 名を副査とする。各専修においては審査の一環として、発表会等論文内容を公開する場を設けるものとする。

(6) 評価

学位論文の評価は可・不可の二種とし、教育に関する優れた知見を修得したことが認められ、学位論文が次のいずれかに該当する場合は可とする。

① 高度な研究又は実践の能力を修得したと認められる。

② 修士課程修了時の研究論文としても妥協性、または独創性が認められる。

(7) 学生への明示

この要項に基づいて各専修で設定する学位論文及び茨城大学大学院学則第 22 条に規定された「特定の課題」に関する評価基準、審査方法及び最終試験の方法等については、該当学生にあらかじめ明示するものとする。

3. 論文題目の変更

論文題目を変更する場合は、指導教員の承認を得て、研究科長に届出なければならない。

4. 最終試験

最終試験は、学位規則第 14 条の規定に基づき実施するものとする。

5. 論文の審査及び最終試験の期日

論文の審査及び最終試験は、2 月 20 日（9 月修了予定の者については、8 月末日）までに終了し、審査会はその結果を文書をもって研究科委員会に報告しなければならない。（期日が土・日曜日にあたる場合は前の休業日とする。）

6. 論文の保管

審査に合格した論文の 1 部は、教育学研究科に保管する。

7. その他

この要項によりがたいときは、その都度、研究科委員会に付議し決定する。

4-2 共通科目の履修について

4-2-1 大学院授業科目

茨城大学大学院は、知識基盤社会の構築を担う高度専門職業人養成と知識基盤社会を支える高度で知的な素養のある人材の育成をめざしています。そのために、専門分野に関する高度の専門的知識および能力を習得するとともに、幅広い学識と専門分野に関連する基礎的素養を培うことを目標としています。これらの目標を実現するため、大学院授業科目は次のような科目で構成されています。

(1) 共通科目

- 1) 大学院共通科目：幅広い学識と俯瞰的視野及び職業的素養などを涵養するための科目です。
- 2) 研究科共通科目：教育学研究科が開講する科目で、専門に近い領域で基盤的な学識や素養を涵養するための科目です。

(2) 専攻科目

専門分野に関する高度の専門的知識および能力を習得するための科目です。

(3) 独立及び横断型プログラム等の科目

研究科や専攻をまたぐ横断的分野や特定の職種に特化した分野の科目です。プログラムを修了すると「修了認定証」が交付されます。

4-2-2 修了要件

教育学研究科の各専攻を修了するためには、教育学研究科規則に示した 3 4 単位以上を

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、学位論文の最終審査に合格することが必要です。

学校臨床心理専攻を除く各専攻においては、大学院共通科目 2 単位以上、研究科共通科目 6 単位以上（a 群：3 科目 6 単位が必修）の修得が必要です。（学校臨床心理専攻においては、大学院共通科目および研究科共通科目の修得は修了要件に含まれません。）

4-2-3 共通科目の授業科目

科目群	科目名	単位	担当教員	
大学院 共通科目	地球環境システム論Ⅰ	1	横木、北	
	地球環境システム論Ⅱ	1	山村、岡田	
	持続社会システム論Ⅰ	1	中川 他	
	持続社会システム論Ⅱ	1	田村、蓮井	
	人間システム基礎論Ⅰ	1	伊藤 他	
	人間システム基礎論Ⅱ	1	上地、関、阿部	
	学術英会話Ⅰ	1	畑中	
	学術英会話Ⅱ	1	畑中	
	国際コミュニケーション基礎 A	1	田嶋	
	国際コミュニケーション基礎 B	1	田嶋	
	研究と教育-知の往還をめぐって-	2	教育学部教員	
	科学と倫理	2	湯元	
	学術情報リテラシー	1	羽渕	
	霞ヶ浦環境科学概論	1	黒田 他	
	原子科学と倫理	1	非常勤講師	
	地域サステイナビリティ農学概論	1	小松崎 他	
	食料の安定生産と農学	1	北嶋 他	
	実践国際コミュニケーション A	1	田嶋	
	実践国際コミュニケーション B	1	田嶋	
	環境情報センシング特論	1	湊	
	知的所有権特論	1	梅比良 他	
	バイオテクノロジーと社会	1	安西 他	
研究科 共通科目	a 群	地域教育資源フィールドスタディ	2	君塚 他
		授業展開ケーススタディ	2	君塚 他
		学校教育総合研究	2	小川 他
	b 群	アクティブ・ラーニングの理論と実践	2	小川
		学校教育と現代社会	2	佐藤
		ライフキャリア論	2	望月
		認知学習心理学	2	関
		特別支援教育特論	2	東條
		小学校英語演習	2	君塚 他
		子ども研究の基礎	2	神永
		現代教育実践課題	2	神永
	c 群	サステイナビリティ教育特論Ⅰ	1	郡司 他
		サステイナビリティ教育特論Ⅱ	1	郡司 他
		サステイナビリティ教育演習Ⅰ	1	関係教員
		サステイナビリティ教育演習Ⅱ	1	関係教員
サステイナビリティ教育演習Ⅲ		1	関係教員	

4-2-4 履修上の注意

(1) 大学院共通科目の履修申告

学年または学期の始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目一覧を研究科長に提出して下さい。該当授業の担当教員に必要な事項を記入して提出した履修科目申告票が受理されれば、履修の承諾となります。履修科目一覧は専修主任及び主指導教員の承諾を得て学務グループへ提出して下さい。

(2) 大学院共通科目は、基本的には、3 キャンパス遠隔講義として同時開講しますので、開講時間やそれぞれのキャンパスでの受講する教室に注意して下さい。

(3) 教育職員免許状（専修免許状）の取得希望者は、免許の取得に必要な単位数に大学院共通科目を含めることはできませんので、注意して下さい。

4-3 サステナビリティ学教育プログラムの履修について

4-3-1 サステナビリティ学教育プログラムの履修について

(1) サステナビリティ学教育プログラムの趣旨

茨城大学は、平成 18 年 5 月に「地球変動適応科学研究機関（ICAS : Institute for Global Change Adaptation Science）」を設置し、東京大学を基幹校とする「サステナビリティ学連携研究機構（Integrated Research System for Sustainability Science: IR3S）」に主要 5 大学（他に、京都大学、大阪大学、北海道大学）の一員として参加、「アジア・太平洋の地域性を生かした気候変動への適応」を研究テーマに、全学をあげて、地球環境と社会の持続性（サステナビリティ）を確保するための新しい学問の創造をめざしています。教育面では、平成 21 年 4 月から本学全研究科に共通した「サステナビリティ学教育プログラム」を創設し、サステナビリティ学研究成果を生かしつつ、アジア・太平洋地域の現場の問題解決を担う人材育成を行っています。

環境問題やエネルギー・資源の不足、水・食料の逼迫、人口問題などを解決して、社会の持続性（サステナビリティ）をいかに確保するかは現代の大きな課題になっています。本教育プログラムは、基盤科目や海外及び国内での現場演習を通して、これらの問題を把握する俯瞰的視点と専門分野の知識をつなぐ分野横断的な勉学の機会を提供します。

教育学研究科で実施する「サステナビリティ学教育プログラム」では、上記の全学の目的に加え、あらゆる教育的場面において、サステナビリティの視点をもって活動ができる以下の人材を育成します。

- ・地球環境問題、地域環境問題など、持続可能な社会を実現するための諸課題に関する俯瞰的・横断的知識をもつ。
- ・学校教育や生涯学習等あらゆる教育機会において、持続可能な社会にむけた教育（Education for Sustainable Society）を自ら計画・実施する意欲、技能、知識をもつ。
- ・持続可能な社会を実現する観点から、未来を生きる次世代の構成員を育成する高い意識をもつ。

当該プログラムの修了要件を満たした院生には、教育学研究科長名で「教育学研究科サステナビリティ学プログラム修了証」が与えられます。また、IR3S 主要 5 大学は共同教育プログラムを設置し、この要件を満たした院生には、共同教育プログラム修了認定証が授与

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

されます。この運営は、平成22年度から一般社団法人「サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム（SSC）」に引き継がれ、認定証は「SSC 共同教育プログラム修了認定証」になります。

(2) 平成30年度教育学研究科「サステイナビリティ学プログラム」科目一覧

科目区分	科目名	単位	SSC 共同教育プログラム	必要単位数
コア科目	サステイナビリティ学最前線（必修）	2	「俯瞰型科目」	2 6
	地球環境システム論Ⅰ	1●		
	地球環境システム論Ⅱ	1●		
	持続社会システム論Ⅰ	1●		
	持続社会システム論Ⅱ	1●		
	人間システム基礎論Ⅰ	1●		
	人間システム基礎論Ⅱ	1●		
	国際実践教育演習	2		
	国内実践教育演習	2		
	ファシリテーション能力開発演習Ⅰ	1		
ファシリテーション能力開発演習Ⅱ	1			
サステイナビリティ学インターンシップ	2			
専門科目	サステイナビリティ教育特論Ⅰ（*）	1●	「選択科目」	1 4
	サステイナビリティ教育特論Ⅱ（*）	1●		
	サステイナビリティ教育演習Ⅰ	1●		
	サステイナビリティ教育演習Ⅱ	1●		
	サステイナビリティ教育演習Ⅲ	1●		
	地域教育資源フィールドスタディ	2●		
	地域生態学特論	2●		
	食物学特論	2●		
	被服学特論	2●		

（*）「サステイナビリティ教育特論Ⅰ」または「サステイナビリティ教育特論Ⅱ」を必ず履修する。

（●）●印を付した科目のみ修了要件としてカウントされる。それ以外は修了要件にならないので注意すること。

(3) プログラムの修了要件と履修上の注意

- （プログラムの修了要件）前表に示す基盤科目と演習科目から合わせて6単位、教育学研究科専門科目から4単位の合計10単位を履修すること。ただし、基盤科目「サステイナビリティ学最前線」はサステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム（SSC）参加大学が協力して開講する科目で、必修です。
また、「サステイナビリティ教育特論Ⅰ」または「サステイナビリティ教育特論Ⅱ」のいずれかの科目を必ず履修すること。なお、「SSC 共同教育プログラム運営規則」でいう「俯瞰型科目」及び「サステイナビリティ学関連科目」とは上の表に示すとおりです。
- 基盤科目及び演習科目は、地球変動適応科学研究機関（ICAS）の協力の下で開講する科目です。
- 「地球環境システム論Ⅰ」、「持続社会システム論Ⅰ」、「人間システム基礎論Ⅰ」は、本プログラムの科目かつ大学院共通科目として申告できます。
- 「国際実践教育演習」及び「国内実践教育演習」、「サステイナビリティ教育演習Ⅲ」を履修する場合は、「学生教育研究災害保険」に加入し、担当教員の指示に従うこと。
- このプログラムの履修を希望する者は、指導教員と相談し了解を得た上で、別紙「サステイナビリティ学プログラム履修届」を指定された期日までに学務グループに提出して下さい。

平成 30 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

- 6) 修了要件を満たした学生には、教育学研究科長名で「教育学研究科サステイナビリティ学プログラム修了証」が与えられます。また、5 大学で共通の認定証「SSC 共同教育プログラム修了認定証」が SSC での審議を経て授与されます。
- 7) 「教育学研究科サステイナビリティ学プログラム修了認定証」の発行申請にあたっては、別紙「サステイナビリティ学プログラム修了認定証発行願」を指定された期日までに、学務グループに提出してください。

(4) その他

- 1) 修了認定証を授与された者が、不正に修了認定を受けた事実が判明した場合は、修了の認定を取消、修了認定証を返還しなければなりません。
- 2) 修了認定証の再発行を受けようとする者は、研究科長に願い出てください。

4-4 教育職員免許について

(修士課程)

専修免許状の取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数は次の表 1 のとおりとする。ただし、専修免許状の授与資格を得ることができる者は、すでに当該免許の一種免許状を取得されている者（授与資格を得ている者を含む。）に限られる。

なお、各専攻・専修で認定を受けている免許状の種類及び教科については、表 2 を参照すること。

表 1

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数	科目の区分
幼稚園教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
小学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
中学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
高等学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
特別支援学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること	24	特別支援学校教育に関する科目

表 2

専攻	専修	幼稚園教諭 専修免許状	小学校教諭 専修免許状	中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状	養護教諭 専修免許状	特別支援 学校教諭 専修免許状
障害児教育	障害児教育						○
教科教育	国語教育	○	○	国語	国語		
	社会科教育		○	社会	地理歴史、公民		
	数学教育	○	○	数学	数学		
	理科教育		○	理科	理科		
	音楽教育	○	○	音楽	音楽		
	美術教育	○	○	美術	美術、工芸		
	保健体育	○	○	保健体育	保健体育		
	技術教育			技術	工業		
	家政教育		○	家庭	家庭		
英語教育			英語	英語			
養護教育	養護教育			保健	保健	○	
学校臨床 心理	学校臨床 心理	○	○	国語、社会、 数学、理科、 音楽、美術、 保健体育、 保健、技術、 家庭、英語	国語、地理歴史、 公民、数学、 理科、音楽、 美術、工芸、 書道、保健体育、 保健、家庭、 工業、英語	○	

※表 2 に基づき教育職員免許状を取得する場合は、開講授業科目一覧に記載されている各専修免許状の種類・教科毎の授業科目を 24 単位以上修得するものとする。

(専門職学位課程)

本専攻において、授業科目のうちから 24 単位以上の所定の単位を修得した者は、以下の専修免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を得ることができる。

ただし、専修免許状の授与資格を得ることができる者は、すでに当該免許の一種免許状を授与されている者（授与資格を得ている者を含む。）に限られる。

免許状の種類	教科
幼稚園教諭専修免許状	
小学校教諭専修免許状	
中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業指導、英語
高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、工業、職業指導、英語
養護教諭専修免許状	

4-5 開講科目

①研究科共通科目(必修)※学校臨床心理専攻を除く。															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目a群	P-EDU-511	地域教育資源フィールドスタディ	2	前	水	4	講義	×	君塚淳一・小林英美・小泉晋弥・千葉真由美	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-631	授業展開ケーススタディ	2	後	水	4	演習	×	君塚淳一 他	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	学校教育総合研究	2	前	集中		講義	×	小川哲哉・佐藤環・神永直美・今泉友里	(教職)全専修免許状に対応					不可
②研究科共通科目(選択) ※学校臨床心理専攻を除く。															
共通科目b群	P-EDU-531	アクティブ・ラーニングの理論と実践	2	前	木	2	講義	×	小川哲哉	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	学校教育と現代社会	2	前	集中		講義	×	佐藤環	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	ライフキャリア論	2		休講		講義	×		(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	認知学習心理学	2	前	火	2	演習	×	関友作	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	特別支援教育特論	2	前	水	2	講義	×	東條吉邦	不可	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可
	P-EDU-511	小学校英語演習	2	前	集中		演習	×	君塚淳一 他	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-531	子ども研究の基礎	2	前	木	1	講義	×	神永直美	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-531	現代教育実践課題	2	後	水	1	講義	×	神永直美	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
共通科目c群	P-EDU-531-SEP I	サステイナビリティ教育特論 I	1		休講		講義	×		不可					不可
	P-EDU-531-SEP II	サステイナビリティ教育特論 II	1	前	集中		講義	×	郡司晴元 他	不可					不可
	P-EDU-531-SEP I	サステイナビリティ教育演習 I	1		休講		演習	×		不可					不可
	P-EDU-533-SEP II	サステイナビリティ教育演習 II	1		休講		演習	×		不可					不可
	P-EDU-533-SEP III	サステイナビリティ教育演習 III	1		休講		演習	×		不可					不可

③大学院共通科目(選択必修) ※学校臨床心理専攻を除く。															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
大学院共通科目	KM-INS-511-SEP	地球環境システム論Ⅰ(※)	1	2Q	月	1	講義	×	横木裕宗・北和之	不可					不可
	KM-SED-511-SEP	地球環境システム論Ⅱ(※)	1	3Q	金	2	講義	×	山村靖夫・岡田誠	不可					不可
	KM-SED-511-SEP	持続社会システム論Ⅰ(※)	1	3Q	月	1	講義	×	中川光弘・増田敬祐・島田敏	不可					不可
	KM-MUL-511-SEP	持続社会システム論Ⅱ(※)	1	1Q	金	2	講義	×	田村誠・蓮井誠一郎	不可					不可
	KM-MUL-511-SEP	人間システム基礎論Ⅰ(※)	1	3Q	水	1	講義	×	伊藤哲司・塚原伸治・富江直子・寺地幹人	不可					不可
	KM-INS-531-SEP	人間システム基礎論Ⅱ(※)	1	前	月	4	講義	×	上地勝・関友作・阿部信一郎	不可					不可
	KM-ENG-513	学術英会話Ⅰ	1	1Q	水	1	講義	×	畑中泰道	不可					不可
	KM-ENG-513	学術英会話Ⅱ	1	2Q	水	1	講義	×	畑中泰道	不可					不可
	KM-COM-513	国際コミュニケーション基礎A	1	1Q	月	2	講義	×	田嶋美砂子	不可					不可
	KM-COM-513	国際コミュニケーション基礎B	1	2Q	月	2	講義	×	田嶋美砂子	不可					不可
	KM-COM-613	実践国際コミュニケーションA	1	1Q	水	5	講義	×	田嶋美砂子	不可					不可
	KM-COM-613	実践国際コミュニケーションB	1	2Q	水	5	講義	×	田嶋美砂子	不可					不可
	KM-EDS-631	研究と教育—知の往還をめぐって—	2	後	水	5	講義	×	片口直樹・小林英美・中嶋哲也・増子和男・阿部信一郎	不可					不可
	KM-SHS-511	科学と倫理	2	前	集中		講義	×	湯元昇	不可					不可
	KM-FOF-521	学術情報リテラシー	1	前	集中		講義	×	羽瀨裕真	不可					不可
	KM-ENG-532	震ヶ浦環境科学概論	1	前	集中		講義	×	黒田久雄・吉田貢士・中里亮治・藤田昌史	不可					不可
	KM-ETH-511	原子科学と倫理	1	前	集中		講義	×	非常勤講師	不可					不可
	KM-PEA-511	食料の安定生産と農学	1	1Q	木	4	講義	×	北嶋康樹・井上栄一・中嶋雅己・久保山勉	不可					不可
	KM-BNS-511	バイオテクノロジーと社会	1	前	集中		講義	×	安西弘行・大島正弘・古谷綾子	不可					不可
	KM-ENC-512	地域サステナビリティ農学概論	1	後	集中		講義	×	小松崎将一・成澤才彦・金子信博	不可					不可
KM-HJF-511	環境情報センシング特論	1	3Q	水	2	講義	×	湊淳	不可					不可	
KM-BNS-511	知的所有権特論	1	後	集中		講義	×	梅比良正弘 他	不可					不可	

(※)印の科目は「サステナビリティ学プログラム」にも対応した科目

④サステイナビリティ学プログラム																
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	修了要件	専修免許区分					
											教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
											幼	小	中	高	養教	特別支援
基盤科目	K-INS-522-SEP	サステイナビリティ学最前線	2	前		集中	講義	×	田村誠 他	×	不可					不可
	KM-INS-511-SEP	地球環境システム論Ⅰ(※)	1	2Q	月	1	講義	×	横木裕宗・北和之	×	不可					不可
	KM-SED-511-SEP	地球環境システム論Ⅱ(※)	1	3Q	金	2	講義	×	山村靖夫・岡田誠	×	不可					不可
	KM-SED-511-SEP	持続社会システム論Ⅰ(※)	1	3Q	月	1	講義	×	中川光弘・増田敬祐・島田敏	×	不可					不可
	KM-MUL-511-SEP	持続社会システム論Ⅱ(※)	1	1Q	金	2	講義	×	田村誠・蓮井誠一郎	×	不可					不可
	KM-MUL-511-SEP	人間システム基礎論Ⅰ(※)	1	3Q	水	1	講義	×	伊藤哲司・塚原伸治・富江直子・寺地幹人	×	不可					不可
	KM-INS-531-SEP	人間システム基礎論Ⅱ(※)	1	前	月	4	講義	×	上地勝・関友作・阿部信一郎	×	不可					不可
演習科目	K-INS-523-SEP	国際実践教育演習	2	前		集中	演習	×	田村誠・伊藤哲司	×	不可					不可
	K-INS-523-SEP	国内実践教育演習	2	前		集中	演習	×	石島恵美子・田村誠・阿部信一郎	×	不可					不可
	K-INS-531-SEP	ファシリテーション能力開発演習Ⅰ	1	前		集中	演習	×	山岸裕	×	不可					不可
	K-INS-531-SEP	ファシリテーション能力開発演習Ⅱ	1	前		集中	演習	×	山岸裕	×	不可					不可
	K-INS-523-SEP	サステイナビリティ学インターンシップ	2			未定	演習	×	関係教員	×	不可					不可
教育学研究科専門科目	P-EDU-531-SEP	サステイナビリティ教育特論Ⅰ	1			休講	講義	×			不可					不可
	P-EDU-531-SEP	サステイナビリティ教育特論Ⅱ	1	前		集中	講義	×	郡司靖元 他		不可					不可
	P-EDU-531-SEP	サステイナビリティ教育演習Ⅰ	1			休講	演習	×			不可					不可
	P-EDU-533-SEP	サステイナビリティ教育演習Ⅱ	1			休講	演習	×			不可					不可
	P-EDU-533-SEP	サステイナビリティ教育演習Ⅲ	1			休講	演習	×			不可					不可
	P-EDU-511	地域教育資源フィールドスタディ(※)	2	前	水	4	講義	×	君塚淳一・小林英美・小泉晋弥・千葉真由美		(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-ENO-511-SEP	地域生態学特論	2	前	火	3	講義	×	阿部信一郎		不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-FOS-511-SEP	食物学特論	2	前	木	2	講義	○	西川陽子		不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
P-QTS-631-SEP	被服学特論	2	前	火	2	講義	○	木村美智子		不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可	
(※)印の科目は、大学院共通科目または研究科共通科目にも対応した科目																

⑤障害児教育専攻 障害児教育専修 【担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。】															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	
共通科目	P-EDU-531	特別支援教育総合研究	2	前	集中	講義	○	准教授 新井英靖(障害児教育学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応	
	P-EDU-511	障害児教育学特論Ⅰ	2	前	火	5	講義	○	教授 荒川智(障害児教育学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
障害児教育	P-EDU-631	障害児教育学演習Ⅰ	2	後	火	5	演習	○	教授 荒川智(障害児教育学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-511	障害児教育学特論Ⅱ	2	3Q	木	1-2	講義	○	准教授 新井英靖(障害児教育学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-631	障害児教育学演習Ⅱ	2	4Q	木	1-2	演習	○	准教授 新井英靖(障害児教育学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-511	障害児心理学特論Ⅰ	2	前	火	2	講義	○	准教授 細川美由紀(障害児心理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
障害児心理	P-EDU-631	障害児心理学演習Ⅰ	2	後	火	2	演習	○	准教授 細川美由紀(障害児心理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-511	障害児心理学特論Ⅱ	2	前	火	4	講義	○	特任教授 東條吉邦(障害児心理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-631	障害児心理学演習Ⅱ	2	後	火	4	演習	○	特任教授 東條吉邦(障害児心理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-511	障害児生理学特論Ⅰ	2	前	月	1	講義	○	教授 勝二博亮(障害児生理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
障害児生理	P-BRS-631	障害児生理学演習Ⅰ	2	後	金	3	演習	○	教授 勝二博亮(障害児生理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-511	障害児生理学特論Ⅱ	2	前	月	4	講義	○	講師 田原敬(障害児生理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-631	障害児生理学演習Ⅱ	2	後	月	2	演習	○	講師 田原敬(障害児生理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-531	特別支援教育課題発見演習Ⅰ(問題の発見・課題の整理)	2	前	木	3	演習	×	教授 荒川智(障害児教育学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
課題発見	P-BRS-531	特別支援教育課題発見演習Ⅱ(問題の発見・課題の整理)	2	前	木	3	演習	×	准教授 新井英靖(障害児教育学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-531	特別支援教育課題発見演習Ⅲ(問題の発見・課題の整理)	2	前	月	5	演習	×	准教授 細川美由紀(障害児心理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-531	特別支援教育課題発見演習Ⅳ(問題の発見・課題の整理)	2	休講			演習	×		不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-531	特別支援教育課題発見演習Ⅴ(問題の発見・課題の整理)	2	前	木	5	演習	×	講師 田原敬(障害児生理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-531	特別支援教育課題発見演習Ⅵ(問題の発見・課題の整理)	2	前	木	5	演習	×	教授 勝二博亮(障害児生理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-531	特別支援教育課題分析演習Ⅰ(課題解決のための実践・調査・実験様の計画)	2	後	火	3	演習	×	教授 荒川智(障害児教育学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-531	特別支援教育課題分析演習Ⅱ(課題解決のための実践・調査・実験様の計画)	2	後	月	4	演習	×	准教授 新井英靖(障害児教育学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
課題分析	P-BRS-531	特別支援教育課題分析演習Ⅲ(課題解決のための実践・調査・実験様の計画)	2	後	月	5	演習	×	准教授 細川美由紀(障害児心理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-531	特別支援教育課題分析演習Ⅳ(課題解決のための実践・調査・実験様の計画)	2	休講			演習	×		不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-531	特別支援教育課題分析演習Ⅴ(課題解決のための実践・調査・実験様の計画)	2	後	木	5	演習	×	講師 田原敬(障害児生理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-531	特別支援教育課題分析演習Ⅵ(課題解決のための実践・調査・実験様の計画)	2	後	木	5	演習	×	教授 勝二博亮(障害児生理学)	不可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	特別課題研究			4	通年			演習	指導教員	不可					不可

⑥教科教育専攻 国語教育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバ リングコー ド	授業科目	単 位	区 分	曜 日	講 時	授 業 形 態	単 位 の 累 加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育 に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-MUL-511	言語文化総合研究	2	前	月	4	講義	×	齋木・増子・川嶋・昌子・鈴木・宮崎	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-EDU-511	初等国語教育授業設計	2	前	木	3	講義	×	昌子・鈴木・増子・川嶋・齋木・宮崎	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	中等国語教育授業設計	2	後	木	4	講義	×	昌子・鈴木・増子・川嶋・齋木・宮崎	不可	不可	(教職)国語	(教職)国語	不可	不可
国語科教育	P-EDU-531	国語科教育学特論 I	2	前	木	2	講義	×	准教授 鈴木一史(国語科教育学)	不可	不可	(教職)国語	(教職)国語	不可	不可
	P-EDU-631	国語科教育学演習 I	2	後	木	2	演習	×	准教授 鈴木一史(国語科教育学)	不可	不可	(教職)国語	(教職)国語	不可	不可
	P-EDU-511	国語科教育学特論 II	2	前	月	2	講義	×	教授 昌子佳広(国語科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-631	国語科教育学演習 II	2	後	月	2	演習	×	教授 昌子佳広(国語科教育学)	不可	不可	(教職)国語	(教職)国語	不可	不可
国語学	P-LIN-511	古典語特論	2	前	火	5	講義	×	教授 川嶋秀之(国語学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-LIN-511	古典語演習	2	後	月	3	講義	×	教授 川嶋秀之(国語学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-LIN-511	現代語特論	2	前	木	4	講義	×	教授 川嶋秀之(国語学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-LIN-511	現代語演習	2	後	木	5	演習	×	教授 川嶋秀之(国語学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
国文学	P-LIT-511	近代文学特論	2	前	金	5	講義	×	准教授 宮崎尚子(国文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-LIT-631	現代文学研究 I	2	後	金	5	演習	×	准教授 宮崎尚子(国文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-LIT-631	現代文学研究 II	2	後	月	1	演習	×	准教授 宮崎尚子(国文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
漢文学	P-OHC-631	漢文学特論	2	前	火	2	講義	×	教授 増子和男(漢文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-OHC-631	漢文学研究	2	後	月	4	演習	×	教授 増子和男(漢文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
書道	P-EDU-531	書写書道教育研究	2	前	金	4	講義	×	教授 齋木久美(書写書道)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-631	書写書道教育演習	2	後	金	3	演習	×	教授 齋木久美(書写書道)	不可	不可	(教科)国語	不可	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可

④教科教育専攻 社会科教育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-INS-511	社会・文化総合研究Ⅰ	2		休講		講義	×	H30年度休講	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-INS-511	社会・文化総合研究Ⅱ	2	前	水	2	講義	×	中野・岩佐・木村(競)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	P-INS-511	社会・文化総合研究Ⅲ	2		休講		講義	×	H30年度休講	不可	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-INS-511	社会・文化総合研究Ⅳ	2	前	金	2	講義	×	教授 小野寺淳(人文地理学)	不可	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-531	社会科授業設計Ⅰ	1	4Q	金	2	演習	×	教授 村山朝子(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-EDU-511	社会科授業設計Ⅱ	1	3Q	火	4	演習	×	教授 木村勝彦(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
社会科教育	P-EDU-511	初等社会科教育特論Ⅰ	1	1Q	金	4	講義	×	教授 村山朝子(社会科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	初等社会科教育特論Ⅱ	1	1Q	月	3	講義	×	教授 木村勝彦(社会科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	中等社会科教育特論Ⅰ	1	2Q	金	4	講義	×	教授 村山朝子(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-EDU-511	中等社会科教育特論Ⅱ	1	2Q	月	3	講義	×	教授 木村勝彦(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
	P-EDU-631	社会科教育演習Ⅰ	2	後	水	2	演習	○	教授 村山朝子(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-EDU-631	社会科教育演習Ⅱ	2	後	月	3	演習	○	教授 木村勝彦(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
歴史学	P-HIS-511	日本史特論	2	前	火	3	講義	×	准教授 千葉真由美(日本史)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-HIS-631	日本史演習	2	後	火	3	演習	○	准教授 千葉真由美(日本史)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-HIS-511	西欧史特論	2	前	集中		講義	×	非常勤講師 藤崎 衛(西欧中世史)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-HIS-631	西欧史演習	2		休講		演習	○	H30年度休講	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
地理学	P-HUG-511	人文地理学特論	2	前	火	2	講義	×	教授 小野寺淳(人文地理学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-HUG-631	人文地理学演習	2	後	火	2	演習	○	教授 小野寺淳(人文地理学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-511	自然地理学特論	2	前	金	3	講義	×	特任教授 甲斐憲次(自然地理学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-631	自然地理学演習	2		休講		演習	○	H30年度休講	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-511	地誌学特論	2	前	月	4	講義	×	准教授 大島規江(地誌学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-631	地誌学演習	2	後	月	4	演習	○	准教授 大島規江(地誌学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
経済学	P-ECO-511	経済学特論	2	前	集中		講義	×	非常勤講師 山本尚史(経済学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
社会学	P-SOC-631	社会学特論	2	前	木	3	講義	×	教授 岩佐淳一(社会学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	P-SOC-631	社会学演習	2	後	木	3	演習	○	教授 岩佐淳一(社会学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
法学	P-LAW-511	憲法特論	2	前	木	4	講義	×	准教授 中野雅紀(憲法学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	P-LAW-631	憲法演習	2	後	木	4	演習	○	准教授 中野雅紀(憲法学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
哲学	P-ETH-511	倫理学特論	2		休講		講義	×	H30年度休講	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	P-ETH-631	倫理学演習	2		休講		演習	○	H30年度休講	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
特別課題研究			4		通年		演習		指導教員	不可					

※社会・文化総合研究Ⅰと社会・文化総合研究Ⅱ、社会・文化総合研究Ⅲと社会・文化総合研究Ⅳは隔年開講

⑩教科教育専攻 数学教育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]																
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分						
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目	
										幼	小	中	高	養教	特別支援	
共通科目	P-MAT-511	算数総合研究	2	前	月	1	講義	×	吉井・栗原・梅津・小口・松村	不可	(教科)対応	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-611	算数科教育授業設計	2	後	火	5	講義	×	梅津・小口・栗原	不可	(教科)対応	不可	不可	不可	不可	不可
数学科教育	P-EDU-511	数学教育学特論	2	前	木	3	講義	×	特任教授 根本博(数学教育学)	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可	不可
	P-EDU-611	数学教育学演習	2	休講			演習	○	H30年度休講	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可	不可
	P-EDU-511	算数教育学特論	2	前	木	4	講義	×	教授 小口祐一(数学教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-611	算数教育学演習	2	後	木	4	演習	○	教授 小口祐一(数学教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可	不可
代数学	P-ALG-511	代数学特論	2	前	木	5	講義	×	准教授 吉井豊(抽象代数学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可	不可
	P-ALG-611	代数学演習	2	後	木	5	演習	○	准教授 吉井豊(抽象代数学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可	不可
幾何学	P-GEM-511	幾何学特論	2	前	金	3	講義	×	准教授 栗原博之(微分幾何学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可	不可
	P-GEM-611	幾何学演習	2	後	金	3	演習	○	准教授 栗原博之(微分幾何学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可	不可
解析学	P-ANA-511	解析学特論	2	前	金	2	講義	×	教授 梅津健一郎(解析学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可	不可
	P-ANA-611	解析学演習	2	後	火	4	演習	○	教授 梅津健一郎(解析学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可	不可
応用数学	P-APM-511	応用数学特論	2	前	金	4	講義	×	准教授 松村初(離散数学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可	不可
	P-APM-611	応用数学演習	2	後	金	4	演習	○	准教授 松村初(離散数学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可	

⑨教科教育専攻 理科教育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-INS-513	初等自然科学総合研究	1	1Q	月	2	講義	×	阿部・矢島・永尾・松川・青島・栗田・伊藤・上栗	不可	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-531	初等理科授業設計	1	2Q	火	2	演習	×	准教授 宮本直樹(理科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-INS-513	中等自然科学総合研究	1	2Q	月	2	講義	×	阿部・矢島・永尾・松川・青島・栗田・伊藤・上栗	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-EDU-511	中等理科授業設計	1	後	水	2	演習	×	准教授 郡司晴元(理科教育学)	不可	不可	(教職)理科	(教職)理科	不可	不可
	P-EDU-511	初等理科内容特論	2	前	集中		講義	×	阿部・矢島・永尾・松川・青島・栗田・伊藤・上栗	不可	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
理科教育	P-EDU-511	初等理科教育学特論	1	1Q	水	2	講義	×	准教授 宮本直樹(理科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-531	初等理科教育学演習	1	4Q	金	2	演習	×	准教授 郡司晴元(理科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	中等理科教育学特論	1	2Q	水	2	講義	×	准教授 宮本直樹(理科教育学)	不可	不可	(教職)理科	(教職)理科	不可	不可
	P-EDU-531	中等理科教育学演習	1	3Q	金	2	演習	×	准教授 郡司晴元(理科教育学)	不可	不可	(教職)理科	(教職)理科	不可	不可
物理学	P-PHY-531	物理学特論	2	前	火	3	講義	×	准教授 永尾敬一(素粒子物理学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-EXP-521	物理学特別実験	2	前	火	1-2	実験	×	教授 矢島裕介(物性物理学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
化学	P-OHE-531	化学特論	2	前	火	3	講義	×	教授 松川覚(化学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-CHE-521	化学特別実験	2	後	火	1-2	実験	×	准教授 青島政之(化学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
生物学	P-BIO-511	生物学特論	2	後	木	1	講義	×	准教授 栗田孝晴(動物生態学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-BIO-521	生物学特別実験	2	前	木	1-2	実験	×	准教授 栗田孝晴(動物生態学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
地学	P-EAS-511	地学特論	2	前	木	3	講義	×	教授 伊藤孝(岩石鉱物学) 准教授 上栗伸一(地質学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-EAS-521	地学特別実験	2	後	金	4-5	実験	×	教授 伊藤孝(岩石鉱物学) 准教授 上栗伸一(地質学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
科学論	P-ENC-511-SEP	地域生態学特論	2	前	火	3	講義	×	教授 阿部信一郎(水域生態学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-ENC-531	地域生態学演習	2	後	木	2	演習	×	教授 阿部信一郎(水域生態学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可

⑩教科教育専攻 音楽教育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-ART-511	初等音楽文化総合研究	2	前	水	3	講義	×	神部・谷川・山口・田中(宏)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-511	初等音楽教育授業設計	2	後	水	3	講義	×	田中(健)・藤田	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
音楽科教育	P-ART-511	音楽科教育研究法	2	前	月	2	講義	○	教授 田中健次(音楽科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-611	音楽科教育特論Ⅰ	2	後	月	4	講義	○	教授 田中健次(音楽科教育学)	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
	P-ART-511	音楽科教育演習	2	前	木	5	演習	○	准教授 藤田文子(音楽科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-611	音楽科教育特論Ⅱ	2	後	金	3	講義	○	准教授 藤田文子(音楽科教育学)	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
器楽	P-ART-521	器楽研究Ⅰ	2	前	火	4	講義	○	准教授 田中宏明(器楽)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
	P-ART-621	器楽演習Ⅰ	2	後	火	4	演習	○	准教授 田中宏明(器楽)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
	P-ART-521	器楽研究Ⅱ	2	休講			講義	○	H30年度休講	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
声楽	P-ART-521	声楽研究	2	前	木	3	講義	○	教授 谷川佳幸(声楽)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
	P-ART-621	声楽演習	2	後	木	4	演習	○	教授 谷川佳幸(声楽)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
作曲・指揮法	P-ART-521	作曲・指揮法研究	2	前	火	2	講義	○	准教授 山口哲人(作曲・指揮)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
	P-ART-621	作曲・指揮法演習	2	後	月	5	演習	○	准教授 山口哲人(作曲・指揮)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
音楽学	P-ART-511	音楽学研究	2	前	金	5	講義	○	教授 神部智(音楽学)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
	P-ART-611	音楽学演習	2	後	木	5	演習	○	教授 神部智(音楽学)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					

①教科教育専攻 美術教育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-ART-531	美術文化総合研究	2	前	金	1	講義	×	甲斐・片口・小泉・向野・齋藤・島・島田	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	美術教育授業設計	2	後	金	1	演習	×	甲斐・片口・小泉・向野・齋藤・島・島田	不可	不可	(教職)美術	(教職)美術	不可	不可
美術教育	P-EDU-611	美術教育研究	2	前	木	4	講義	○	教授 向野康江(芸術教育思想史)	不可	不可	(教職)美術	(教職)美術	不可	不可
	P-EDU-631	美術教育演習	2	後	火	4	演習	○	特任教授 金子一夫(美術教育史)	不可	不可	(教職)美術	(教職)美術	不可	不可
	P-EDU-531	図画工作教育研究	2	前	火	4	講義	○	特任教授 金子一夫(美術教育史)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	図画工作教育演習	2	後	木	4	演習	○	教授 向野康江(芸術教育思想史)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
絵画	P-ART-521	絵画研究	2	前	月	4	演習	○	准教授 片口直樹(絵画)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
	P-ART-621	絵画演習	2	後	月	4	演習	○	准教授 片口直樹(絵画)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
彫刻	P-ART-521	彫刻研究	2	前	月	3	演習	○	教授 島剛(彫刻)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-621	彫刻演習	2	後	月	3	演習	○	教授 島剛(彫刻)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
デザイン	P-ART-531	デザイン研究 I	2	前	金	3	講義	○	教授 島田裕之(平面デザイン)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-531	デザイン演習 I	2	後	金	3	演習	○	教授 島田裕之(平面デザイン)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術・工芸	不可	不可
	P-ART-521	デザイン研究 II	2	前	火	2	講義	○	教授 齋藤芳徳(立体デザイン)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-621	デザイン演習 II	2	後	火	2	演習	○	教授 齋藤芳徳(立体デザイン)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術・工芸	不可	不可
工芸	P-ART-521	工芸・デザイン研究	2	前	水	3	演習	○	島田裕之・齋藤芳徳	不可	不可	(教科)美術	(教科)工芸	不可	不可
	P-ART-621	工芸・デザイン演習	2	後	水	3	演習	○	島田裕之・齋藤芳徳	不可	不可	(教科)美術	(教科)工芸	不可	不可
美術理論・美術史	P-ART-631	西洋美術史研究	2	前	木	5	演習	○	教授 甲斐教行(美術理論・美術史)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-611	日本美術史研究	2	前	水	2	講義	○	教授 小泉晋弥(美術理論・美術史)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
	P-ART-631	日本美術史演習	2	後	水	2	演習	○	教授 小泉晋弥(美術理論・美術史)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-631	造形芸術学	2	後	木	5	演習	○	教授 甲斐教行(美術理論・美術史)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
特別課題研究			4	通年		演習	指導教員		不可					不可	

⑩教科教育専攻 保健体育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-HSS-511	保健体育科学総合研究	2	後	火	5	講義	×	勝本・加藤・富樫・中嶋	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-EDU-511	体育授業設計	2	前	火	5	講義	×	大津・渡邊・上地	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
保健体育科教育	P-EDU-511	体育科教育学特論	2	前	金	2	講義	×	講師 大津展子(保健体育科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-611	体育科教育学演習	2	後	金	2	演習	○	吉野・大津	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	保健体育科教育学特論	2	前	金	4	講義	×	講師 大津展子(保健体育科教育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-EDU-611	保健体育科教育学演習	2	後	金	4	演習	○	吉野・大津	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
体育学	P-HSS-511	体育哲学特論	2	前	金	5	講義	×	教授 加藤敏弘(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	体育哲学演習	2	後	金	5	演習	○	教授 加藤敏弘(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-511	体育史特論	2	前	月	3	講義	×	准教授 中嶋哲也(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	体育史演習	2	後	月	3	演習	○	准教授 中嶋哲也(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
運動学	P-HSS-511	運動方法学特論	2	前	火	4	講義	×	教授 勝本真(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	運動方法学演習	2	後	火	4	演習	○	教授 勝本真(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-511	バイオメカニクス特論	2	前	木	3	講義	×	教授 富樫泰一(運動学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	バイオメカニクス演習	2	後	木	3	演習	○	教授 富樫泰一(運動学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-511	形態学特論	2	前	月	2	講義	×	准教授 渡邊将司(運動学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	形態学演習	2	後	月	2	演習	○	准教授 渡邊将司(運動学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
学校保健	P-SCH-611	学校保健特論	2	前	木	1	講義	×	教授 上地勝(学校保健)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-SCH-611	学校保健管理演習	2	後	木	1	演習	○	教授 上地勝(学校保健)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
特別課題研究			4	通年		演習	指導教員		不可					不可	

⑬教科教育専攻 技術教育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-SMI-511	技術と生活総合研究	2	前	木	1	講義	×	工藤・堤・佐々木・野崎・榊・臼坂	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-621	技術科授業設計	2	後	木	1	講義	×	工藤・佐々木・野崎・榊・臼坂	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
技術科教育	P-EDU-511	技術科教育特論	2	前	木	3	講義	×	教授 工藤雄司(技術科教育法)	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
	P-SMI-621	技術科教育演習	2	後	木	3	演習	○	教授 工藤雄司(技術科教育法)	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
電気	P-ECC-511	電気工学特論Ⅰ	2	前	木	2	講義	×	教授 榊守(電気工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-621	電気工学演習Ⅰ	2	後	木	2	演習	○	教授 榊守(電気工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-PIP-511	電気工学特論Ⅱ	2	前	火	2	講義	×	教授 佐々木忠之(電気工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-621	電気工学演習Ⅱ	2	後	金	2	演習	○	教授 佐々木忠之(電気工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
機械	P-DEE-521	機械工学特論	2	前	火	3	講義	×	特任教授 堤一郎(機械工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
金属	P-MEW-511	金属工学特論	2	前	火	4	講義	×	教授 野崎英明(金属工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-631	金属工学演習	2	後	火	4	演習	○	教授 野崎英明(金属工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
木材加工	P-WOW-511	木材加工学特論	2	前	木	4	講義	×	准教授 臼坂高司(木材加工)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-621	木材加工学演習	2	後	木	4	演習	○	准教授 臼坂高司(木材加工)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					

⑩教科教育専攻 家政教育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-HLS-511	初等生活科学総合研究	2	前	木	3	講義	×	石島・木村・乾・佐藤	不可	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-HEE-521	初等家庭科授業設計	2	後	火	3	講義	×	野中・西川・数井	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
家庭科教育	P-HEE-511	家庭科教育特論Ⅰ	2	前	水	1	講義	○	准教授 石島恵美子(家庭科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-HEE-631	家庭科教育演習Ⅰ	2	後	水	1	演習	○	准教授 石島恵美子(家庭科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-HEE-511	家庭科教育特論Ⅱ	2	前	金	4	講義	○	教授 野中美津枝(家庭科教育学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可
	P-HEE-631	家庭科教育演習Ⅱ	2	後	金	4	演習	○	教授 野中美津枝(家庭科教育学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可
食物学	P-FOS-511-SEP	食物学特論	2	前	木	2	講義	○	准教授 西川陽子(食物学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-FOS-621	食物学演習	2	後	木	2	演習	○	准教授 西川陽子(食物学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
被服学	P-CTS-631-SEP	被服学特論	2	前	火	2	講義	○	教授 木村美智子(被服学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-CTS-631	被服学演習	2	後	水	1	演習	○	教授 木村美智子(被服学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
住居学	P-HOS-511	住居学特論	2	前	火	4	講義	○	教授 乾康代(住居学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-HOS-631	住居学演習	2	後	火	4	演習	○	教授 乾康代(住居学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
保育学	P-CHO-511	児童学特論	2	前	木	4	講義	○	教授 数井みゆき(保育学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-CHO-631	児童学演習	2	後	火	2	演習	○	教授 数井みゆき(保育学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
家庭経営学	P-FRM-511	家族関係学特論	2	前	金	2	講義	○	准教授 佐藤裕紀子(家庭経営学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-FRM-621	家族関係学演習	2	後	火	2	演習	○	准教授 佐藤裕紀子(家庭経営学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					

⑮教科教育専攻 英語教育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	
共通科目	P-EDS-533	言語と文化総合研究	2	後	火	3	講義	×	君塚・小林(英)・安原	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-EDS-533	英語科授業設計	2	前	火	3	講義	×	猪井・齋藤・小林(翔)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
英語科教育	P-EDS-533	英語教育学特論Ⅰ	2	前	木	2	講義	○	猪井・小林(翔)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-EDS-533	英語教育学演習Ⅰ	2	後	水	2	演習	○	教授 猪井新一(英語教育学)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-EDS-532	英語教育学特論Ⅱ	2	前	金	3	講義	○	准教授 齋藤英敏(英語教育学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-EDS-532	英語教育学演習Ⅱ	2	後	金	2	演習	○	齋藤・小林(翔)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
英語学	P-LIN-533	英語学特論Ⅰ	2	前	火	4	講義	×	講師 安原正貴(英語学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-LIN-533	英語学演習Ⅰ	2	後	木	3	演習	○	講師 安原正貴(英語学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
英米文学	P-LIT-533	英米文学特論Ⅰ	2	前	月	3	講義	○	教授 君塚淳一(アメリカ文学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-LIT-533	英米文学演習Ⅰ	2	後	火	2	演習	○	教授 君塚淳一(アメリカ文学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-LIT-533	英米文学特論Ⅱ	2	前	月	2	講義	○	教授 小林英美(イギリス文学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-LIT-533	英米文学演習Ⅱ	2	後	月	2	演習	○	教授 小林英美(イギリス文学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
特別課題研究			4	通年		演習		指導教員	不可					不可	

⑩ 養護教育専攻 養護教育専修 [担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-SCH-511	養護学総合研究	2	前		集中	講義	×	瀧澤・斉藤・石原・松坂・廣原・青柳・古池	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
養護学	P-SNT-511	養護教諭論特論	2	前	木	3	講義	×	教授 斉藤ふくみ(養護学)	不可	不可	不可	不可	(養護)対応	不可
	P-SNT-621	養護教諭論演習	2	後	金	3	演習	○	教授 斉藤ふくみ(養護学)	不可	不可	不可	不可	(養護)対応	不可
	P-SCH-511	教育保健経営特論	2	前	火	4	講義	×	教授 瀧澤利行(公衆衛生学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-SCH-631	教育保健経営演習	2	後	金	5	演習	○	教授 瀧澤利行(公衆衛生学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
教育保健活動	P-BAN-511	学校救急看護学特論	2	前	水	2	講義	×	教授 廣原紀恵(看護学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-BAN-631	学校救急看護学演習	2	後	水	1	演習	○	教授 廣原紀恵(看護学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-BAM-511	学校安全特論	2	前	木	1	講義	×	教授 石原研治(学校保健)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-BAM-621	学校安全演習	2	後	木	1	演習	○	教授 石原研治(学校保健)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-SCH-511	ヘルスプロモーション論特論	2	前	火	2	講義	×	准教授 青柳直子(学校保健)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-SCH-621	ヘルスプロモーション論演習	2	後	水	2	演習	○	准教授 青柳直子(学校保健)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
教育生理学	P-CLM-511	教育保健医学特論	2	前	木	4	講義	×	教授 古池雄治(小児科学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-CLM-621	教育保健医学演習	2	後	金	1	演習	○	教授 古池雄治(小児科学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-HSS-511	健康生理学特論	2	前	月	2	講義	×	教授 松坂晃(運動生理学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-HSS-621	健康生理学演習	2	後	月	2	演習	○	教授 松坂晃(運動生理学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-CLM-511	学校疾病論特論	2	前	木	2	講義	×	非常勤講師 子川和宏(医学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-CLM-621	学校疾病論演習	2	後	木	2	演習	○	非常勤講師 子川和宏(医学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可

①学校臨床心理専攻 学校臨床心理専修 [担当教員欄() 書きは、当該教員の研究領域を示す。]															
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	
学校臨床共通	P-PSY-511	臨床心理学特論A *	2	前	木	5	講義	○	講師 大島聖美(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-511	臨床心理学特論B *	2	前	火	1	講義	○	講師 地井和也(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-511	臨床心理学面接特論A(心理支援に関する理論と実践) *	2	前	木	3	講義	○	教授 正保春彦(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-511	臨床心理学面接特論B *	2	前	木	4	講義	○	准教授 金丸隆太(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-521	臨床心理学査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践) *	2	前	集中		演習	○	金丸・大島	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-521	臨床心理学査定演習B *	2	前	集中		演習	○	大島・地井	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-521	臨床心理基礎実習A *	1	前	水	1・2	実習	○	正保・地井	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-521	臨床心理基礎実習B *	1	後	水	1・2	実習	○	正保・地井	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-621	臨床心理実習A(心理実践実習) *	1	前	集中		実習	○	正保・金丸・大島・地井	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-621	臨床心理実習B(心理実践実習) *	1	後	集中		実習	○	正保・金丸・大島・地井	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-621	臨床心理実習C(心理実践実習) *	1	前	木	1・2	実習	○	正保・金丸・大島・地井	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-621	臨床心理実習D(心理実践実習) *	1	後	木	1・2	実習	○	正保・金丸・大島・地井	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-621	臨床心理実習E *	1	前	集中		実習	○	正保・金丸・大島・地井	(教職)全専修免許状に対応	不可				
学校臨床応用	P-PSY-521	臨床心理研究法演習	2	後	火	3	演習	○	講師 地井和也(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-511	発達心理学特論	2	後	火	1	講義	○	講師 大島聖美(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-511	社会心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	後	集中		講義	○	非常勤講師	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-511	産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	後	火	2	講義	○	教授 正保春彦(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-511	地域支援心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	後	木	3	講義	○	講師 大島聖美(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-511	健康教育特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2	前	火	5	講義	○	正保・金丸・大島・地井	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-511	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と実践)	2	前	火	3	講義	○	准教授 布施泰子(精神医学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-511	障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	前	火	2	講義	○	教授 野口康彦(臨床心理学・家族心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-621	グループアプローチ特論 *	2	後	集中		講義	○	教授 正保春彦(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-611	投映法特論 *	2	後	集中		講義	○	講師 大島聖美(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
	P-PSY-621	箱庭療法特論 *	2	前	集中		講義	○	講師 地井和也(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可				
P-PSY-511	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	前	火	4	講義	○	准教授 金丸隆太(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応	不可					
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可	不可				

(注意) *印は学校臨床心理専修所属学生以外は受講不可

①共通科目(必修科目)[全コース共通]																
科目区分	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	開講時期	曜日	講時	授業形態	単位の累加	履修年次	担当教員	専修免許区分					
											教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
											幼	小	中	高	養教	
共通科目(必修科目)	P-EDU-531	教育課程編成の計画と実践	2	前	月	3	演習	○	1	佐藤環	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	子ども理解にもとづく学習指導	2	前	木	1	演習	○	1	生越・打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	授業研究の方法と実践	2	前	火	2	演習	○	1	杉本・小口	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-531	教育相談の課題と支援	2	後	金	2	演習	○	1	三輪・藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	特別支援教育の理論と実践	2	前	月	5	演習	○	1	新井・打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	学校マネジメント実践演習	2	後	木	3	演習	○	1	加藤崇英	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	学級経営実践演習	2	前	月	2	演習	○	1	藤井・渡部	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	教師のライフステージと資質向上	2	前	火	1	演習	○	1	小川哲哉	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	茨城の教育改革と開かれた学校づくり	2	前	火	4	演習	○	1	加藤・坂場・藤田・今泉	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	校内研修の企画・立案と実践	2	後	金	3	演習	○	1	打越・加藤・藤井・小川・照屋・坂場・藤田・五島・今泉	対応	対応	対応	対応	対応	不可
②学校運営コース																
必修科目	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅰ	1	前	木	5	演習	×	1	加藤・坂場・藤田・照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅱ	1	後	木	5	演習	×	1	加藤・坂場・藤田・照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅲ	1	前	木	5	演習	×	2	加藤・坂場・藤田・照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅳ	1	後	木	5	演習	×	2	加藤・照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-621	課題発見実習	2	前	集中		実習	×	1	加藤・坂場・藤田・照屋・小川・望月	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	学校運営開発実習Ⅰ	3	後	集中		実習	×	1	加藤・坂場・藤田・照屋	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	学校運営開発実習Ⅱ	5	通年	集中		実習	×	2	加藤・坂場・藤田・照屋	不可	不可	不可	不可	不可	不可
選択科目	P-EDU-631	教育政策の実施と評価	2	前	金	4	演習	○	1	照屋翔大	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育行財政と法規	2	後	火	4	演習	○	1	照屋翔大	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	スクール・リーダーシップとその実践	2	前	木	3	演習	○	1	加藤崇英	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校を基盤としたカリキュラム開発と実践	2	前	月	4	演習	○	1	五島・照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校危機管理理論と実践演習	2	後	月	2	演習	○	1	照屋翔大	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	地域教育経営と「開かれた学校づくり」演習	2	後	火	3	演習	○	1	望月厚志	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校における評価マネジメント実践演習	2	後	木	2	演習	○	1	加藤崇英	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営実践研究Ⅰ	1	通年	集中		演習	×	1	加藤・坂場・藤田・照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営実践研究Ⅱ	1	通年	集中		演習	×	2	加藤・坂場・藤田・照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
③教育方法開発コース																
必修科目	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅰ	1	前	木	5	演習	×	1	杉本・生越・青柳・打越・小口・鈴木	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅱ	1	後	木	5	演習	×	1	杉本・生越・青柳・打越・小口・鈴木	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅲ	1	前	木	5	演習	×	2	杉本・生越・青柳・打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅳ	1	後	木	5	演習	×	2	杉本・生越・青柳・打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-621	課題発見実習	2	前	集中		実習	×	1	杉本・生越・青柳・打越・佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	教育方法開発実習Ⅰ	3	後	集中		実習	×	1	杉本・生越・青柳・打越	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	教育方法開発実習Ⅱ	5	通年	集中		実習	×	2	杉本・生越・青柳・打越	不可	不可	不可	不可	不可	不可
選択科目	P-EDU-631	教材研究と授業設計Ⅰ	2	前	金	3	演習	○	1	鈴木・佐藤	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教材研究と授業設計Ⅱ	2	後	火	3	演習	○	1	小口・青柳	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	人間形成の現代的課題と学習指導	2	前	木	4	演習	○	1	生越・鈴木	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学習指導・授業づくりの課題と実践	2	後	金	4	演習	○	1	小林・村野井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	授業研究による授業改善	2	後	火	2	演習	○	1	打越・杉本	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育評価の方法	2	前	火	3	演習	○	1	杉本・小林	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	子ども理解と学習支援	2	後	木	4	演習	○	1	渡部・打越・三輪・藤井・杉本・青柳・生越・丸山	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発実践研究Ⅰ	1	通年	集中		演習	×	1	杉本・生越・青柳・打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発実践研究Ⅱ	1	通年	集中		演習	×	2	杉本・生越・青柳・打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可

④児童生徒支援コース																
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	履修年次	担当教員	専修免許区分					
											教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
											幼	小	中	高	養教	特別支援
必修科目	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅰ	1	前	木	5	演習	×	1	丸山・三輪・渡部・藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅱ	1	後	木	5	演習	×	1	丸山・三輪・渡部・藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅲ	1	前	木	5	演習	×	2	丸山・三輪・渡部・藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅳ	1	後	木	5	演習	×	2	丸山・三輪・渡部・藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-621	課題発見実習	2	前	集中		実習	×	1	丸山・三輪・渡部・藤井・村野井	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-PSY-621	児童生徒支援実習	3	後	集中		実習	×	1	丸山・三輪・渡部・藤井	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-PSY-621	学校適応アセスメント実習	3	前	集中		実習	×	2	丸山・三輪・渡部・藤井	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-PSY-621	学校適応支援実習	2	後	集中		実習	×	2	丸山・三輪・渡部・藤井	不可	不可	不可	不可	不可	不可
選択科目	P-PSY-631	学校不適応問題への理解と対応	2	後	月	4	演習	○	1	三輪・藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	教育カウンセリング実践と事例研究	2	後	月	3	演習	○	1	丸山・小林	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	子どもの発達と学習の過程	2	前	木	3	演習	○	1	村野井・打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	学級経営と個別指導の実践	2	前	月	4	演習	○	1	藤井・丸山	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	教育臨床問題と道徳	2	後	火	4	演習	○	1	青柳・打越	不可	対応	対応	不可	対応	不可
	P-PSY-631	学級集団づくりとソーシャルスキル教育の実践法	2	前	火	3	演習	○	1	渡部・藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	子ども理解と学習支援	2	後	木	4	演習	○	1	渡部・打越・三輪・藤井・杉本・青柳・生越・丸山	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	児童生徒支援実践研究Ⅰ	1	通年	集中		演習	×	1	丸山・三輪・渡部・藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	児童生徒支援実践研究Ⅱ	1	通年	集中		演習	×	2	丸山・三輪・渡部・藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	(注)															
授業科目一覧の専修区分に使用されている略字は以下を表す。																
幼・・・幼稚園教諭専修免許状																
小・・・小学校教諭専修免許状																
中・・・中学校教諭専修免許状																
教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業指導、英語)																
高・・・高等学校教諭専修免許状																
教科(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、工業、職業指導、英語)																
養護・・・養護教諭専修免許状																
特別支援・・・特別支援学校教諭専修免許状																

5 特別支援教育特別専攻科の教育内容と方法

以下は特別支援教育特別専攻科「履修要項」から引用した。

5-1 特別支援教育特別専攻科の概要

5-1-1 コース編成

特別支援教育特別専攻科は、特別支援学校教諭一種免許状取得コース及び特別支援学校教諭専修免許状取得コースからなる。

5-1-2 修了年限及び修了資格

修了年限は1年で、各コースの授業科目を履修基準に従って計 **34** 単位以上修得することによって修了資格を得る。

5-1-3 修了資格

(1) 修了の要件

修了に必要な修得単位数等が定められているので、履修基準にしたがって単位を修得することで修了の要件を満たすことができる。特に、必修単位および教員免許状を取得するのに必要な条件が満たされなければ、修了することができないので、細心の注意を払って履修計画を立てること。

(2) 単位の修得

単位は、授業（講義、演習等）を履修し、期末試験（及び追試験）のほか研究報告（レポート）、随時行う試験、出席及び学修の状況等により合格と判定された場合に修得できる。ただし、修了研究等の単位については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合に修得できる。

(3) 学位・教員免許状

修了に必要な授業科目等を履修し、修了に必要な単位を修得した者は、教育学部教育会議において修了が認定され、修了証書が授与される。また、特別支援学校教諭免許状は修了時に授与される。

教員免許状の取得に必要な要件については、「3. 特別支援学校教諭免許状の取得」を参照すること。

5-2 履修の方法

5-2-1 履修基準

(1) 特別支援学校教諭一種免許状取得コース

「4. 授業科目の概要（一種免コース）」の授業科目より、指定された必修科目を含めて計 34 単位以上修得する。

(2) 特別支援学校教諭専修免許状取得コース

「4. 授業科目の概要（専修免コース）」の授業科目より、指定された必修科目を含めて計 34 単位以上修得する。

5-2-2 単位制度

a. 1 単位の時間数

各授業科目は、45 時間の学修を必要とする内容（予習・復習などの自宅学習を含む）をもって 1 単位と定められている。授業は、講義・演習（1 時間の授業につき、2 時間の予習又は復習を必要とするもの）と実習等（2 時間の授業につき、1 時間の予習又は復習を必要とするもの）によって構成されている。

1 単位の時間数と学期の単位設定

授業の種類	1 単位時間数の内訳		週 1 講時	週 2 講時
	大学等での 学習	自宅学習 (予習・復習)		
講義・演習	1 5 時間	3 0 時間	2 単位	4 単位
実習等	3 0 時間	1 5 時間	1 単位	2 単位

なお、修了研究等の授業科目については、時間数ではなく学修の成果を評価して単位を授与することになっている。

b. 学期と時間割

前学期・後学期それぞれ 16 週（15 週＋期末試験）にわたって授業を実施するやり方（セメスター制）と、各学期を更に半分に分け、8 週で授業を完結するやり方（クォーター制）を併用して授業を開講する（学年暦参照）。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前学期						後学期					
前学期授業期間				学外等における 各種活動期間 (夏季休業)	後学期授業期間				学外等における 各種活動期間 (春季休業)		
第1クォーター 授業期間		第2クォーター 授業期間			第3クォーター 授業期間		第4クォーター 授業期間				

1 日の授業時間は、5 つの時間帯に分けられ、それぞれ 1 講時～5 講時と呼ばれる。

1 つの講時は単位計算上 2 時間と換算されるが、実際の時間は 90 分である（小・中・高

平成30年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

等学校の1時間が45分であるのと同様)。

c. 集中授業

学期中の平日に限らず、土・日・祭日や休業期間中を含めて、集中的に授業を行うものを集中授業と呼ぶ。校外での実習や本学には不在の特定分野の専門家を招いて授業を行う場合などに行われる。具体的な実施時期などは、各授業毎に掲示される。

5-2-3 評価基準

当該科目の修得内容から、下表の「評点の基準」に基づき、「区分」に示される評価とそれに対応する「評価点」が与えられる。「区分」における各評価は右側に示される「評価の内容」が達成されたことを示す。「評価」はA⁺、A、B、C、Dの評語をもって表す。評価は、C以上が合格で単位が与えられ、Dは不合格で単位は認められない。なお、授業の出席時数が、その授業の総授業時間数の3分の2に達しない者には、単位を与えない。

評価の基準

評価区分	評点	評価の内容
A ⁺	90点以上 100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学業成績を上げている。
A	80点以上 90点未満	到達目標を達成し、優れた学業成績を上げている。
B	70点以上 80点未満	到達目標と学業成果を概ね達成している。
C	60点以上 70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

注意事項

- ①「教務情報ポータルシステム」により登録されていない授業科目の単位は認められない。
- ②単位の累加が認められていない授業科目を複数年度にわたって2回以上履修しても、その単位は認められない。
- ③成績には、「A⁺」、「A」、「B」、「C」、「D」の評価のほか、「欠試」（所定の試験等を受けなかった場合）が記録される。
- ④一度、記録された成績は、原則として変更されない。取得した「**成績**」に記載された評価の内容などに疑問のある場合は、すみやかに教育学部学務グループあるいは当該授業の担当教員に申し出ること。
- ⑤「D」、「欠試」となった授業科目は、再び履修を申告できる。ただし、一度、単位を修得

した科目はその成績いかんにかかわらず、再履修することはできない(単位の累加が「可」になっている科目を除く)。

- ⑥専修免コース学生は、特別支援学校一種免許状の領域追加に必要な授業に限り、一種コースの授業を履修してもよい。

5-2-4 試験

前述したとおり、授業の出席時数がその授業の総授業時間数の3分の2に達しない場合は、たとえ試験を受けたとしても、単位は認定されない。また、試験を受ける際には、学生証を携帯しなければならない。

a. 期末試験

期末試験は、セメスター授業は16回目、クォーター授業は8回目に行う。期末試験の時間割は、原則的には授業時間割と同一であるが、諸事情により変更されることがある。詳しい時間割は期末試験開始の一週間前に掲示されるので注意すること。

b. 追試験

病気又はやむを得ない理由により定期試験を受験できなかった場合は、所定の願書に診断書その他証明書を添付のうえ、学部長に願い出て追試験の許可を得なければならない。この願い出の期間は、定期試験期間終了後一週間以内である。追試験の期日はその都度指示される。

5-2-5 修了研究

修了研究とは、各自テーマを設定して自ら行う研究活動のことをさす。通常の授業のように学修の時間は定められていないが、学修の成果が評価され、指導教員によって単位を授与することが適切であると認められた場合に単位が修得できる。

11月に指導教員を定め教室主任の承認を得て、「修了研究題目申告票」を教育学部学務グループに提出しなければならない。

研究の成果は、論文等によって示され、1月31日(提出期限が土・日曜日にあたる場合は次の休業日とする)までに教育学部学務グループで提出しなければならない。論文等は、「修了研究審査票」を添付し、教育学部学務グループに提出する。

5-2-6 教育実習

特別支援学校教諭免許状を取得するためには、教育実習を行わなければならない。教育実習は所定の科目の単位を修得した後、本学部附属特別支援学校で一定期間行われる(原則として2週間)。また、実習には実習校での実習の前後に学内で行われる事前・事後指導等が含まれる。

詳細は、「5. 教育実習」を参照すること。

5-3 特別支援学校教諭免許状の取得

5-3-1 特別支援学校教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種免許状を取得するには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し、次の表に示す「特別支援教育に関する科目」の単位を修得しなければならない。

特別支援学校教諭普通免許状（特別支援教育に関する科目）

特別支援教育に関する科目		最低修得単位			
		一種		二種	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2		2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	1	16	1	8
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2		1	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5		3	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3		3	
合計修得単位		26		16	

[備考] 特別専攻科で取得できる特別支援学校教諭免許状

特別支援学校教諭一種免許状を取得するには、基礎理論に関する科目（①）、特別支援教育領域に関する科目（②、③）、特別支援教育領域外に関する科目（④）、特別支援学校での教育実習（⑤）について、それぞれ所定の単位を修得しなければならない（「5. 授業科目時間割 一種免コース」の特支免許区分の丸番号を参照のこと）。

注意しなければならないのは特別支援教育領域と領域外との区別である。特別支援学校教諭免許状には、知的障害・肢体不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害の計5領域があるが、茨城大学特別支援教育特別専攻科で取得できるのは、知的障害・肢体不自由・病弱の3領域のみである。この3領域の科目から計16単位修得する必要がある。カリキュラム構造上特別専攻科の学生が取得する特別支援学校教諭一種免許状は、以下の4つのパターンである。

パターン1：知的障害領域(8)・肢体不自由領域(4)・病弱領域(4)

パターン2：知的障害領域(12)・肢体不自由領域(4)

パターン3：知的障害領域(12)・病弱領域(4)

パターン4：知的障害領域(16)

注) ()内の数字は免許法上で取得に必要な最低単位数を示す

なお、開講授業科目との関係で、原則としてパターン1で履修計画を立てること

では、領域以外の科目とは何か？

領域以外とは、前述の5領域の中で取得しなかった免許状の領域のことを指す。以下に、パターンごとに領域外のものを示す。

パターン1：視覚障害・聴覚障害

パターン2：病弱・視覚障害・聴覚障害領域

パターン3：肢体不自由・視覚障害・聴覚障害領域

パターン4：視覚障害・聴覚障害・病弱・肢体不自由領域

5-3-2 特別支援学校教諭専修免許状

特別支援学校教諭専修免許状を取得するには、特別支援学校教諭一種免許状を有し、次の表の中から24単位以上を修得しなければならない。

授 業 科 目	単 位
障 害 学 総 合 研 究	2
障 害 児 教 育 学 特 論 I ・ II	各 2
障 害 児 教 育 学 演 習 I ・ II	各 2
障 害 児 心 理 学 特 論 I ・ II	各 2
障 害 児 心 理 学 演 習 I ・ II	各 2
障 害 児 生 理 学 特 論 I ・ II	各 2
障 害 児 生 理 学 演 習 I ・ II	各 2
特 別 支 援 教 育 コ ー デ ィ ネ ー タ ー 特 論	2
言 語 障 害 教 育 特 論	2
情 緒 障 害 教 育 特 論	2
障 害 児 教 育 学 特 別 研 究 I	2
障 害 児 教 育 学 特 別 研 究 II	2
障 害 児 心 理 学 特 別 研 究 I	2
障 害 児 心 理 学 特 別 研 究 II	2
障 害 児 生 理 学 特 別 研 究 I	2
障 害 児 生 理 学 特 別 研 究 II	2

平成 29 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

5-4 授業科目の概要

5-4-1 特別支援学校教諭一種免許状取得コース

区 分	授 業 科 目	担 当 教 員	単 位	開講 週 時 区 分・ 開 数	講 時	必 修	特 支 許 可 区 分	形 態	備 考	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育原論	荒川智	2	前・2	月・5	必	①	講義		
	障害児教育演習Ⅰ	非常勤講師	2	後・2	月・4		①	演習		
	障害児教育演習Ⅱ	新井英靖	2	後・2	月・2		①	演習		
	特別支援教育基礎演習	勝二博亮	2	前・2	木・1		①	演習		
	障害者福祉論		2	休講			①	講義		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害児の心理	細川美由紀	2	前・2	月・4	必	②	講義	
		知的障害児の生理・病理	勝二博亮	2	前・2	火・5	必	②	講義	
		障害児心理演習Ⅰ	細川美由紀	2	後・2	月・4		②	演習	
		障害児心理演習Ⅱ	東條吉邦	2	後・2	火・5		②	演習	
		障害児生理演習Ⅰ	田原敬	2	後・2	月・1		②	演習	
		障害児生理演習Ⅱ	勝二博亮	2	後・2	木・4		②	演習	
		肢体不自由児の心理・生理・病理	岡澤慎一	2	前期	集中		②	講義	
		病弱児の心理・生理・病理	勝二博亮	2	前・2	火・4		②	講義	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害児の生理機能評価法	勝二博亮	1	4Q・2	金・5		②	講義	
		知的障害児の教育方法	新井英靖	2	1Q・4	火・1.2	必	③	講義	
		知的障害児教育実践論	関係教員	2	2Q・4	火・1.2	必	③	講義	
		障害児のアセスメント	細川美由紀	2	前・2	金・3		③	講義	
		肢体不自由児の教育方法	新井英靖	2	前・2	月・2		③	講義	
		病弱児の教育方法	新井英靖	2	前・2	月・3		③	講義	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	聴覚障害児の心理・生理・病理	田原敬	2	後・2	金・1	必	④	講義	
		感覚障害児の生理機能評価法	田原敬	1	3Q・2	金・5		④	講義	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	感覚障害児の教育	田原敬	2	前期	集中		④	講義	
		重度重複障害児教育論	新井英靖・勝二博亮	1	1Q・2	木・2	必	④	講義	重複
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	発達障害児教育概論	東條吉邦	1	1Q・2	木・3	必	④	講義	言語・情緒・LD・ADHD
		特別支援教育コーディネーター特論	大野真裕	2	後・2	月・3		④	講義	言語・情緒・LD・ADHD
		言語障害教育特論		2	休講			④	講義	重複・言語・情緒・LD・ADHD
		情緒障害教育特論	石田隆雄	2	後・2	金・2		④	講義	言語・情緒・LD・ADHD
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	障害児教育総論	荒川智	1	1Q・2	火・3		④	講義	
		特別支援教育実地研究		3			必	⑤		
	修了研究	全教員	4			必				

平成 29 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

5-4-2 特別支援学校教諭専修免許状取得コース

授 業 科 目	担 当 教 員	単 位	開 講 週 時 区 分 ・ 間 数	講 時	必 修	特 支 免 許 区 分	形 態
特別支援教育総合研究	新井英靖	2	前・2	集中			講義
障害児教育学特論Ⅰ (インクルーシブ教育の理論と実践)	荒川智	2	前・2	火・5			講義
障害児教育学特論Ⅱ (障害児の実態把握と指導計画)	新井英靖	2	3Q・4	木・1-2			講義
障害児教育学演習Ⅰ (特別支援教育の原理と地域・学校づくり)	荒川智	2	後・2	火・5			演習
障害児教育学演習Ⅱ (障害児の教材開発と授業づくり)	新井英靖	2	4Q・4	木・1-2			演習
障害児心理学特論Ⅰ (発達障害児の心理アセスメントと支援)	細川美由紀	2	前・2	火・2			講義
障害児心理学特論Ⅱ (発達支援の最新動向)	東條吉邦	2	前・2	火・4			講義
障害児心理学演習Ⅰ (知的障害児の心理アセスメントと支援)	細川美由紀	2	後・2	火・2			演習
障害児心理学演習Ⅱ (障害のメカニズムに関する最新動向)	東條吉邦	2	後・2	火・4			演習
障害児生理学特論Ⅰ (発達障害児の生理アセスメントと支援)	勝二博亮	2	前・2	月・1			講義
障害児生理学特論Ⅱ (自立活動の理論と実践(特別支援学級))	田原敬	2	前・2	月・4			講義
障害児生理学演習Ⅰ (知的障害児の生理アセスメントと支援)	勝二博亮	2	後・2	金・3			演習
障害児生理学演習Ⅱ (自立活動の理論と実践(特別支援学校))	田原敬	2	後・2	月・2			演習
特別支援教育コーディネーター特論	大野真裕	2	後・2	月・3			講義
言語障害教育特論		2	休講				講義
情緒障害教育特論	石田隆雄	2	後・2	金・2			講義
障害児教育学特別研究Ⅰ (特別支援教育課題発見ゼミ)	荒川智・新井英靖	2	前・2	木・3			演習
障害児教育学特別研究Ⅱ (特別支援教育課題分析ゼミ)	新井英靖・荒川智	2	後・2	月・4 火・3			演習
障害児心理学特別研究Ⅰ (特別支援教育課題発見ゼミⅡ)	細川美由紀	2	前・2	月・5			演習
障害児心理学特別研究Ⅱ (特別支援教育課題分析ゼミⅡ)	細川美由紀	2	後・2	月・5			演習
障害児生理学特別研究Ⅰ (特別支援教育課題発見ゼミⅢ)	田原敬・勝二博亮	2	前・2	木・5			演習
障害児生理学特別研究Ⅱ (特別支援教育課題分析ゼミⅢ)	勝二博亮・田原敬	2	後・2	木・5			演習
修了研究	全教員	4			必		

5-5 教育実習

5-5-1 教育実習とは

教育実習は、大学在学中に一定期間継続的に特別支援学校等での教育場面に触れることで、教師になるための知識や技能を身につけることを目的とする。具体的には、①教師や子どもが行う教育の実際を観察すること、②様々な教員としての職務に参加すること、③教材研究をして授業を実施すること、④指導計画を作成し授業以外の諸活動を行うことが含まれる。教育実習期間中には、以下の点をふまえて実習先の学校の教育活動に積極的に参加することが求められる。

- ① 大学での講義や、書物で学んだ教育理論の実際の教育場面への適用を試みる。
- ② 教育活動の実際に触れ、その全般について体験的に理解を深め、教育の本質を体得する。
- ③ 学生の立場で教員としての生活を疑似体験し、自己の教職適性を検証する。
- ④ 実際の教育実践の中で生身の教師・子どもと触れることによって、新たに教育理論を学ぶ意欲を喚起する。

5-5-2 実施時期および期間

9月～10月の間に2週間以上実施する（予定）。

5-5-3 事前指導および事後指導

教育実習の実施の前後に、事前指導および事後指導を受けなければならない。事前・事後指導を受けたものには1単位を授与する。また、特別支援学校の教育実習には、一定の実践経験を有することが望ましいので、教育実習の配当を4月～5月上旬に行い、配当学部の子どもの実態把握や事前・事後のさまざまな指導体験を行うものとする。詳しくは教育実習オリエンテーションの際に連絡する。

6 広報

6-1 情報・広報室の活動

6-1-1 学部ウェブサイトの更新等
年度更新

6-1-2 パンフレットの発行

『茨城大学教育学部 入学案内 2019』 A4版 30ページ

6-1-3 オープンキャンパスに関する事項

在学生による相談コーナーの開催

教員による相談コーナーの開催

平成 29 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

学生による模擬授業「教師の卵、授業に挑戦」の開催

6-2 進学説明会

実施日	主催・共催等	担当者
5月23日(水)	福島県立磐城高等学校	石原研治(養護教育)
5月29日(火)	(株)栄美通信	宮崎尚子(国語教育)
5月30日(水)	茨城県立藤代高等学校	宮崎尚子(国語教育)
6月13日(水)	山形県立長井高等学校	富樫泰一(人間環境)
6月22日(金)	茨城県立水海道第一高等学校	神部智(音楽教育)
7月2日(月)	茨城県立下館第一高等学校	富樫泰一(人間環境)
7月14日(土)	(株)フロムページ	小林英美(英語教育)
7月16日(月)	宇都宮大学	島田裕之(情報文化)
9月19日(水)	茨城県立古河第三高等学校	島田裕之(情報文化)
9月28日(金)	水戸葵陵高等学校	富樫泰一(人間環境)
11月6日(火)	茨城県立竹園高等学校	宮崎尚子(国語教育)